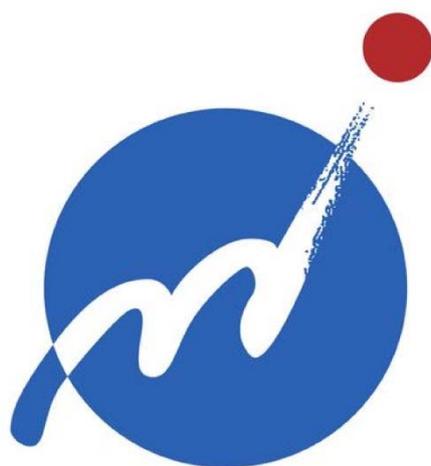


南種子町学校施設等長寿命化計画



令和2年9月

南 種 子 町

目 次

序章 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等

| | |
|---------------|---|
| 1. 背景と目的 | 1 |
| 2. 計画の位置づけ | 2 |
| 3. 計画期間 | 5 |
| 4. 計画における対象施設 | 5 |

第1章 学校施設等の目指すべき姿

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 学校施設等の今日的な課題 | 6 |
| (1) 安全・快適な学校施設の環境向上 | 6 |
| (2) 児童生徒の減少に伴う適正な学校の再編 | 6 |
| (3) 社会の変化に対応した教育機器・教材の拡充 | 6 |
| (4) 生活空間としての施設の充実 | 7 |
| (5) 地域のコミュニティ施設としての活用 | 7 |
| 2. 学校施設等のあり方 | 8 |

第2章 学校施設等の実態

| | |
|---------------------|----|
| 1. 学校施設等を取り巻く状況 | 10 |
| (1) 南種子町の概要 | 10 |
| (2) 人口・世帯数の推移 | 11 |
| (3) 年齢別人口の推移 | 12 |
| (4) 将来人口 | 13 |
| (5) 地区別人口・世帯数の推移 | 14 |
| (6) 財政状況 | 16 |
| 2. 運営状況・活用状況の把握 | 22 |
| (1) 公共施設全体の保有状況 | 22 |
| (2) 学校施設等の保有状況 | 23 |
| (3) 児童・生徒数及び学級数の変化 | 25 |
| (4) 職員数の推移 | 29 |
| (5) 学校施設等の配置状況 | 30 |
| (6) 学校の維持管理コスト | 32 |
| (7) 学校施設等の実態を踏まえた課題 | 36 |
| 3. 学校施設等の老朽化状況 | 38 |
| (1) 学校施設等の老朽化状況の把握 | 38 |
| (2) 学校施設等の老朽化所見 | 46 |

第3章 学校施設等整備の基本方針

| | |
|---------------|----|
| 1. 学校施設の規模 | 47 |
| 2. 改修等の基本的な方針 | 48 |
| (1) 長寿命化の方針 | 48 |
| (2) 予防保全の方針 | 51 |
| (3) 目標使用年数の設定 | 52 |
| (4) 改修周期の設定 | 53 |

第4章 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準

| | |
|----------------|----|
| 1. 改修等の整備水準 | 54 |
| 2. 維持管理の項目・手法等 | 56 |
| (1) 維持管理の必要性 | 56 |
| (2) 維持管理の項目 | 57 |
| (3) 点検・評価結果の蓄積 | 59 |

第5章 長寿命化の実施計画

| | |
|------------------|----|
| 1. 施設評価及び優先順位 | 60 |
| (1) 施設評価 | 60 |
| (2) 改修等の優先順位 | 60 |
| 2. ライフサイクルコストの算定 | 61 |
| 3. 事業計画策定 | 65 |
| (1) 今後10年間の事業計画 | 65 |
| (2) 事業推進のための財源 | 67 |

第6章 長寿命化計画の継続的運営方針

| | |
|------------------------|----|
| 1. 情報基盤の整備と活用 | 68 |
| (1) 施設カルテ及び建物目視調査票の作成 | 68 |
| (2) データベース及び簡易マニュアルの作成 | 68 |
| (3) データベースの活用 | 68 |
| 2. 推進体制等の整備 | 69 |
| 3. フォローアップ | 70 |



序章 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景と目的

本町の学校施設は、高度経済成長期を契機として昭和40年代から50年代に集中して整備され、長寿命化の検討となる築40年以上を経過する建物が全体の約4割を占めている状態です。

その中で、校舎、屋内運動場等の主要建物の合計37棟のうち、14棟が旧耐震基準である昭和56年以前に建設されたものであったため、これらを対象に耐震診断を行い、校舎は診断結果に基づいた耐震補強工事等を完了しました。

耐震補強を行った建物を含め、建築から長い年数が経過した建物や設備の老朽化により、今後、建替え又は大規模改修に多額の費用が必要になると考えられます。

しかしながら、厳しい財政状況の中、学校施設の整備を集中的に行うことは困難であり、財政運営に大きな影響を与えることから、計画的な施設整備を行う必要があります。

全国的に同様の傾向が見られる中、文部科学省は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」を公表し、単なる更新のための改修・改築ではなく、施設を長い期間、有効利用できる長寿命化改修への転換、計画的な維持管理に向けた中長期計画の策定・実施の考え方を示しています。

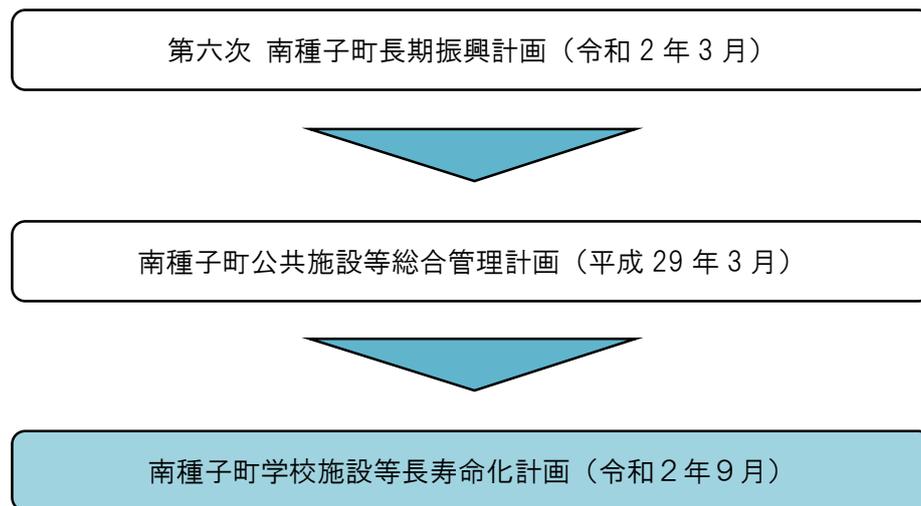
学校施設等長寿命化計画（以下、「本計画」という）は、以下の背景を踏まえ、中長期的な視点から学校施設として求められる機能や役割などを考慮しながら長寿命化改修、建替等の方向性や優先順位等を設定し、施設整備に要するライフサイクルコストの縮減、財政負担の平準化、児童生徒の安全性の確保や適正な教育環境の充実を図ることを目的として策定するものです。

* 学校施設長寿命化計画の背景

中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現しつつ、こうした学校施設に求められる機能を確保するため、域内の学校施設の老朽化等の状況を把握し、地域における学校施設の役割等を考慮した上で、中長期的な施設整備の具体的方針・計画を示すものである。

2. 計画の位置づけ

本計画は、以下の上位・関連計画を踏まえ、それらの内容との整合を図りながら、多様な機能や役割を充足しつつ、施設整備を計画的に行い、長寿命化を図ることを目的として策定します。次頁で上位計画である「第六次 南種子町長期振興計画」及び「公共施設等総合管理計画」について学校施設に関する内容を整理します。



□ 第六次 南種子町長期振興計画（令和2年3月策定）

【基本理念】

「人と自然が輝き 夢がふくらむ ふれあい元気タウン」
（自立・自興 参加と連帯によるまちづくり）

安心・安全 互いに支え合い，安心・安全な暮らしを充実します。
活 力 培った地域の活力から，更なる魅力を創造します。
共 生 人と地域が活躍する，共生・協働のまちづくりを進めます。
行財政 効果的・効率的な行財政運営を推進します。

【将来像】

みんなでつくろう
夢・希望・感動あふれるまち みなみたね

【政策展開の基本方針】

- 1 健やかに生き生きと暮らせるまちづくり（健康・福祉）
- 2 快適で魅力的な住み続けたいまちづくり（生活環境）
- 3 地域の豊かな個性で活力を生み出すまちづくり（産業振興）
- 4 安全性と利便性の質を高めるまちづくり（社会基盤）
- 5 次世代を担う人と文化を育むまちづくり（教育文化）
- 6 町民みんなで考え，行動するまちづくり（地域経営）

政策5 教育文化

| | | |
|-----|--|--|
| 施策1 | 夢や希望を実現し未来を担う南種子町の人づくり ～あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり～ | ①確かな学力の定着 ②生徒指導の充実 ③開かれた学校づくり ④教育環境の整備・充実 |
| 施策2 | 学び活かす生涯学習 | ①生涯学習機会の充実 ②社会教育団体の育成と支援 ③青少年の健全育成 ④社会教育施設の充実 |
| 施策3 | 地域に根ざした文化財の保存・活用と文化芸術の振興 | ①文化財の保存・活用 ②文化芸術の振興 |
| 施策4 | スポーツ活動を楽しむ環境整備 | ①生涯スポーツの推進 ②競技スポーツ振興 ③体育施設の充実 |

3 施策の方向性

(4)教育環境の整備・充実

- ◆ 安全・安心な教育環境を確保するため，施設の計画的な改修・改築・修繕を適宜進めていきます。
- ◆ 令和2年度以降に使用される教科書・教材等に合わせた教具・教材の整備やICT関連機器・設備等の充実を図ります。
- ◆ 統合型校務支援ソフトを導入し，教職員の職務の効率化を図ることで，教育の質の向上を目指します。
- ◆ 教職員が教育に安心して打ち込めるための教職員住宅の整備・充実を適宜行っていきます。

□ 南種子町公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月策定）

【公共施設等の現況】

- ◆ 本町保有施設数は 74 施設
- ◆ 70,232.89 m²の建物系公共施設を保有
- ◆ 学校教育系施設（30.0%）、産業系施設（16.4%）、公営住宅（14.9%）といった施設で保有面積が多い

【基本方針】

- 方針 1 公共施設の適正配置と施設総量の縮減を図る
 - ① 公共施設（建築物）の新規整備の抑制
 - ② 既存施設の見直しと複合化、縮減
- 方針 2 公共施設の計画的な予防保全等の実施により長寿命化を図る
 - ① 予防保全型の施設の維持管理への転換
- 方針 3 公共施設の効率的な管理運営を目指す
 - ① 維持管理コストの最適化

【目標等】

| | |
|-------------|--------------------------|
| 計画期間 | 2017 年度～2056 年度までの 40 年間 |
| 維持管理費用の削減目標 | 公共施設に関わる維持・更新費用を 20%圧縮 |

【学校教育系施設に関する整備方針】

荃南小学校、西野小学校はすでに耐用年数を超えており、耐用年数まで 10 年未満である学校も複数存在する。耐用年数に近づいた古い施設では、安全性や機能面の不足などの問題が顕在化しつつあり、更新に向けた検討を行う。2040 年には子どもの数が今の 3/4 になる見通し（人口ビジョン）を踏まえて、適正な施設規模を見据えたうえで、施設の複合化や再編の議論を慎重に進めていく。

比較的新しい中平小学校、大川小学校、南種子中学校に加え、島間小学校、長谷小学校については、予防保全型管理による長寿命化を図っていく。

学校給食センターは、老朽化しているため、将来的な児童生徒数の減少に直接関わる供給量に応じた適正な規模を見通したうえで、サービス全体の供給体制を含めた検討のうえで更新の検討を行うこととする。

3. 計画期間

本計画の計画期間は、南種子町公共施設等総合管理計画で設定されている 40 年間を見据えた上で、今後 10 年間の事業計画を策定するものとします。

ただし、法改正等の社会的要求水準の変化を受けて、状況が変化する場合があるため、5 年～10 年を目途に計画の見直しを行います。

4. 計画における対象施設

本計画における対象施設は、下表に示す小学校 8 校、中学校 1 校、給食共同調理場 1 施設とします。

表-1：学校施設一覧

| 区分 | 施設名 | 所在地 | 延床面積 (㎡) | 対象建物※ |
|---------|----------------|----------------|-------------|-------|
| 小学校 | 中平小学校 | 南種子町中之上2427番地 | 3,743 | 4 |
| | 荃南小学校 | 南種子町荃永655番地 | 984 | 3 |
| | 西野小学校 | 南種子町西之1675番地 | 2,045 | 5 |
| | 大川小学校 | 南種子町中之上3698番地 | 1,144 | 3 |
| | 島間小学校 | 南種子町島間3611番地 | 1,895 | 3 |
| | 平山小学校 | 南種子町平山1622番地 | 1,520 | 3 |
| | 花峰小学校 | 南種子町中之下1173番地 | 1,118 | 4 |
| | 長谷小学校 | 南種子町中之上1794番地2 | 1,544 | 4 |
| 中学校 | 南種子中学校 | 南種子町中之下1900番地 | 5,943 | 7 |
| 給食共同調理場 | 南種子町立学校給食共同調理場 | 南種子町中之下1937番地1 | 467 | 1 |

資料：令和1年度南種子町公立学校施設台帳
※延床面積200㎡以上（主施設は200㎡以下でも対象）



第1章 学校施設等の目指すべき姿

1. 学校施設等の今日的な課題

本町の教育行政において、人口減少や超高齢社会の到来、情報通信技術の発展、グローバル化の進展など、社会情勢が急激に変化する中、次のような多くの課題があります。

(1) 安全・快適な学校施設の環境向上

本町の学校施設の耐震化は完了していますが、建築年度が古く老朽化した校舎等が残されているため、修繕等を必要とする箇所が多くなってきているのが現状です。建物の改修を計画的に進め、児童・生徒が安全かつ快適に学ぶことができる教育環境の充実を図ることが必要です。

また、習熟度別指導や少人数指導、特別支援教育など、児童・生徒一人ひとりの教育的なニーズに応えることができる施設整備が求められています。

(2) 児童生徒の減少に伴う適正な学校の再編

本町の児童・生徒数は、人口減少化・少子化の一層の進行などにより年々減少しています。学校教育においては、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め、協力し合い、切磋琢磨することで一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが重要とされており、一定の集団規模が確保されていることが望ましいものと考えられています。一方で、小規模校としてのメリットもあり、学校は地域コミュニティの核としての役割や機能を持つなど、地域の実情により学校の在り方は異なることがあり、「適正な学校規模」を一概に判断することは難しい点もあります。

しかし、少子化が中長期的に継続すると見込まれている現状においては、学校の小規模化に伴う教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化することが懸念されています。

このことから、少子化に対応した活力ある学校づくりの方策を継続的に検討・実施していくことが求められており、小規模校のデメリットを克服しつつ、児童生徒にとって望ましい学校規模について、保護者や地域と一体となって検討していくことが必要です。

(3) 社会の変化に対応した教育機器・教材の拡充

グローバル化の進展などにより、社会全体が急速に変化していく中で、情報化社会に対応したデジタル教材の活用や情報教育を推進するためのICT環境の充実、社会状況の変化や多様な学習活動に対応した教材の整備等を計画的に行い、児童生徒の学習能力の向上のための教育環境の充実を図っていくことが必要です。

(4) 生活空間としての施設の充実

児童生徒が1日の大半の時間を過ごす学校施設は、教育の場であるのみならず、生活の場として、充実した学校生活を過ごすことができる豊かで潤いのある空間としていくことが重要です。そのためには、学習の場としての整備だけでなく、交流の場の確保など多様な空間を整備することが必要です。

さらに、安全に施設を利用できるバリアフリー化や、不審者などに対する防犯対策を進めるとともに、トイレの設備など衛生的な環境整備を図る必要があります。

(5) 地域のコミュニティ施設としての活用

小中学校は、学校と地域との連携による多様な交流の場として活用されています。また、災害時などの避難場所に指定されています。このように、地域のコミュニティ施設としての多様な機能に対応できる施設や設備の整備が必要です。

表 1-1：南種子町避難施設一覧（学校施設）

| 地区名 | 施設名 | 電話番号 | 収容人数 |
|-----|-----------|---------|------|
| 平山 | 平山小学校体育館 | 26-7001 | 200 |
| 荃永 | 旧荃南中学校体育館 | 26-7631 | 200 |
| 下中 | 花峰小学校体育館 | 26-6430 | 170 |
| 西之 | 西野小学校体育館 | 26-6255 | 180 |
| 西海 | 大川小学校体育館 | 26-0556 | 130 |
| 島間 | 島間小学校体育館 | 26-4317 | 200 |
| 長谷 | 長谷小学校体育館 | 26-0280 | 160 |
| 上中 | 中平小学校体育館 | 26-0291 | 200 |
| | 南種子中学校体育館 | 26-2355 | 350 |

資料：南種子町

2. 学校施設等のあり方

本計画の方針を定めるにあたり、次のような環境や空間等が整備された学校施設を目指します。

安 全 性

- 地震、台風、大雨等に強い学校施設
(非構造部材の耐震補強、照明器具等の落下防止措置)
- 防犯に対応した学校施設(防犯ブザーの設置や地域との連携)
- 安全で安心して生活できる環境(老朽化対策の推進、通学路の整備)

快 適 性

- 授業に集中でき、学習効率向上に資する快適な学習環境
(エアコンの設置、遮音・吸音性能への配慮)
- バリアフリーに配慮した環境(段差の解消、障がい者用トイレの設置等)
- 児童生徒の健康や衛生面に配慮した環境
(トイレの洋式化、手洗いの自動水洗化、適正な照度の確保等)
- 児童生徒の交流を促すなど、生活の場として快適に過ごすことができる環境(多目的室、ミーティング室、児童クラブなどの環境整備等)
- 教職員が快適に働ける環境(職員室の環境整備)
- 授業の充実に資する設備や機材等の整備(学校備品、教材備品の整備)
- 教職員等の事務の効率化を高められるICT環境(パソコンなどの整備)
- 省エネルギーに配慮した施設の整備(自然光の利用、特別教室の効率的な利用)

学習活動への適応性

- 個別指導や習熟度別指導など多様な学習形態を展開するための環境
(少人数教室、多目的室の環境整備等)
- 学習効果を高められる教材等の整備、情報教育に対応したICT環境
(教材備品、パソコンなどの整備)
- 児童生徒の自発的な学習や読書活動を促すための環境(特別教室、図書室などの整備)
- 社会性を身につけるための空間(多学年間の学習環境、遊具施設の整備)
- 特別支援教育に配慮した学校施設(特別支援教室の環境整備)
- 進路指導や相談等、児童生徒の支援・指導に取り組みやすい空間
(キャリア教育の推進、進路指導室や相談室の整備)
- 充実した運動ができる環境(屋内運動場、校庭の整備)

環境への適応性

- 環境を考慮した学校施設（太陽光発電、省エネルギー・省資源、自然共生、木材利用）

地域の拠点化

- 地域住民が健康づくりや学習拠点等に活用できる開かれた環境
（屋内運動場、校庭、特別教室などの開放）
- 児童クラブなど、放課後の児童の居場所がある施設（空き教室などの活用）
- 避難所としての機能を有する施設（トイレの洋式化、バリアフリー環境の整備）



第2章 学校施設等の実態

1. 学校施設等を取り巻く状況

(1) 南種子町の概要

本町は、大隅諸島の一つである種子島の南端に位置し、西之表市までは41km（車で1時間）、鹿児島市までは、西之表港から115km（高速船で1時間35分、カーフェリーで3時間30分）の距離にあります。空路は、種子島空港から鹿児島空港まで30分を要します。

地形は、起伏の多い丘陵地で中央台地は、海拔200m程度で極めてゆるい傾斜で田畑が多く広がっています。中央台地を中心にして、南海岸に大きな河川がそそぎ、河川流域の低地には沖積水田が開けています。また、西海岸には海岸線近くまで山地が迫っており、丘陵部分から中央にかけて畑地が開けています。

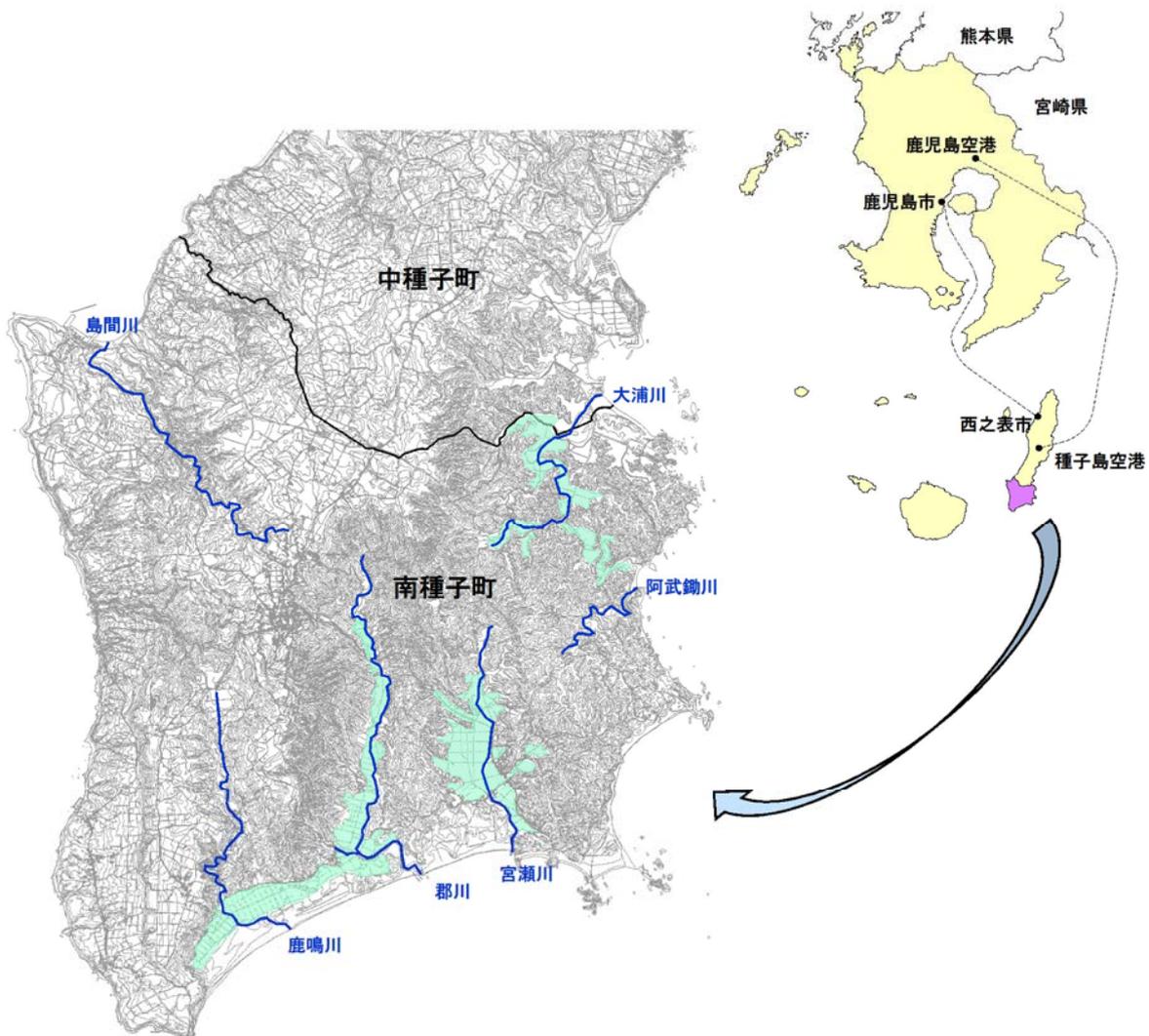


図2-1：本町の位置

(2) 人口・世帯数の推移

本町の人口は、昭和60年以降減少傾向にあります。平成27年の国勢調査時点で5,745人となっており、昭和60年から平成27年までの30年間で、約2,200人減少しています。

世帯数も減少傾向にあり、平成27年の国勢調査時点で2,727世帯となっており、30年間で約200世帯減少しています。

世帯当たり人員も、年々少なくなっており、平成27年の国勢調査では、1世帯当たり2.11人となっています。

表 2-1：人口・世帯数の推移

単位：世帯、人

| 南種子町 | 昭和60年 | 平成2年 | 平成7年 | 平成12年 | 平成17年 | 平成22年 | 平成27年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人口 | 7,976 | 7,672 | 7,422 | 7,154 | 6,751 | 6,218 | 5,745 |
| 世帯数 | 2,935 | 2,867 | 2,910 | 2,995 | 2,966 | 2,834 | 2,727 |
| 1世帯当人員 | 2.72 | 2.68 | 2.55 | 2.39 | 2.28 | 2.19 | 2.11 |

出典：各年国勢調査

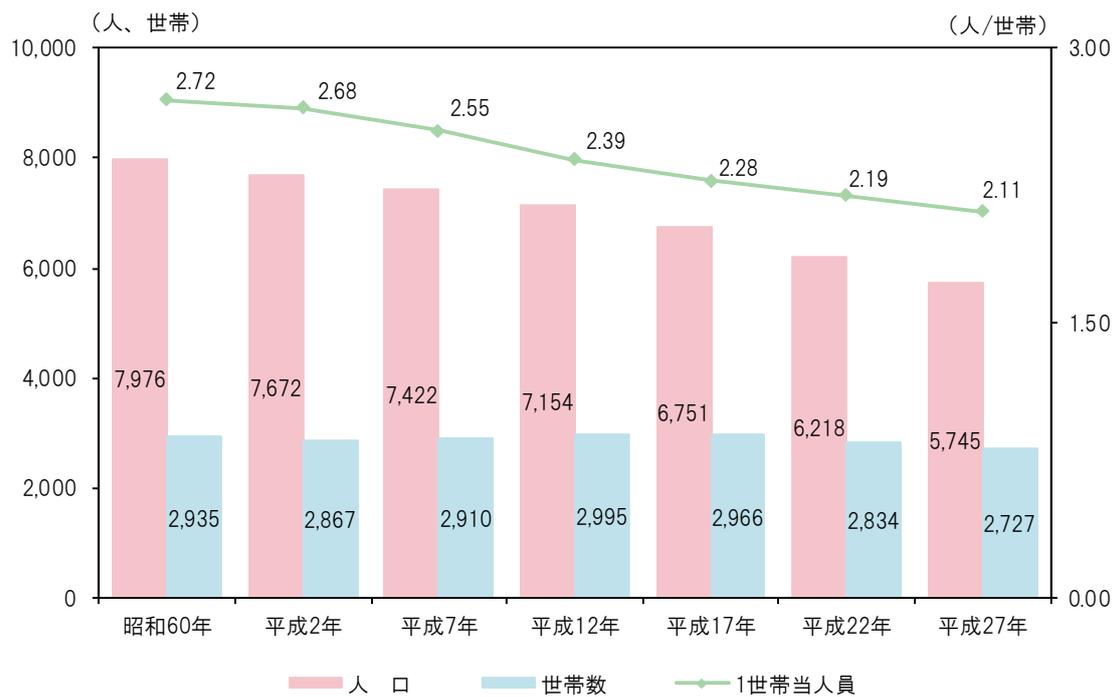


図 2-2：人口・世帯数の推移

(3) 年齢別人口の推移

年齢 3 区分別人口の推移をみると、15 歳未満人口は昭和 60 年の 1,820 人から平成 27 年には 766 人へと減少し、人口に占める比率も 1 割程度となっています。一方、65 歳以上人口は、昭和 60 年の 1,126 人から平成 27 年には 1,899 人へと増加し、3 割半ばの人口比率となっています。

年齢別人口割合の推移をみると、65 歳以上人口の割合は年々増加し、平成 7 年の時点で 15 歳未満人口比を上回っており、急速に少子高齢化が進行しています。

表 2-2：年齢別人口の推移

単位：人

| 南種子町 | 昭和60年 | 平成2年 | 平成7年 | 平成12年 | 平成17年 | 平成22年 | 平成27年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 15歳未満 | 1,820 | 1,671 | 1,457 | 1,250 | 1,018 | 859 | 766 |
| 15～64歳 | 5,030 | 4,759 | 4,405 | 4,089 | 3,778 | 3,451 | 3,074 |
| 65歳以上 | 1,126 | 1,241 | 1,560 | 1,815 | 1,955 | 1,908 | 1,899 |

出典：各年国勢調査

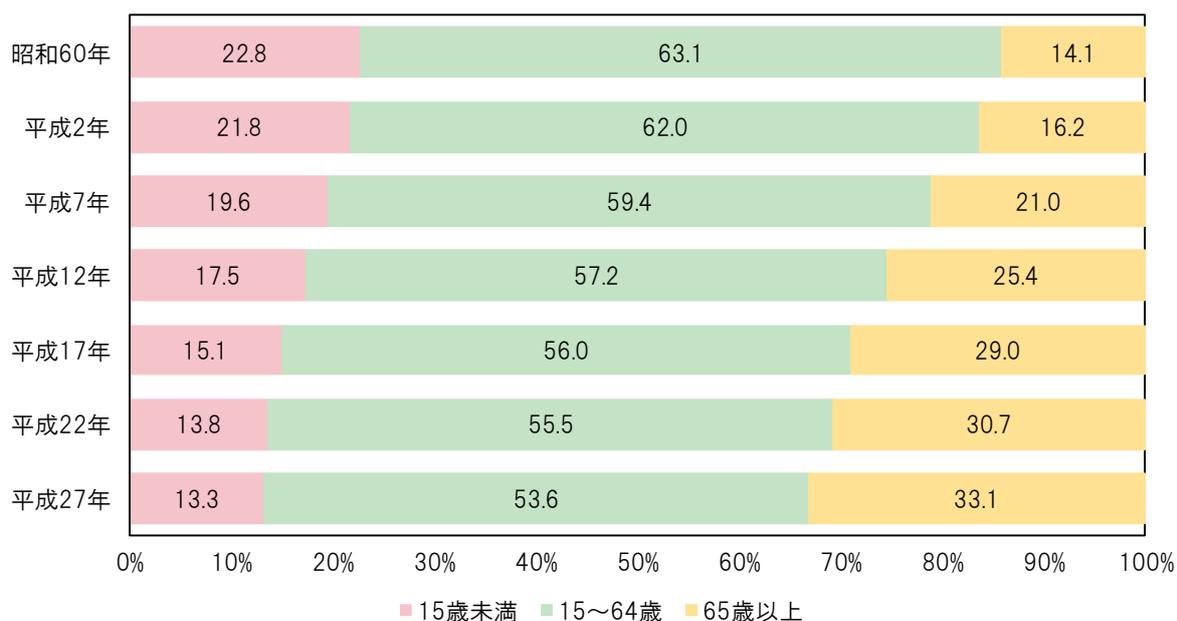


図 2-3：年齢別人口割合の推移

出典：各年国勢調査

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%とはならない。

(4) 将来人口

本町の将来の目標人口について、令和2年3月に策定された「南種子町人口ビジョン」では、以下のようになっています。

- (1) 合計特殊出生率を2040年（令和22年）までに2.3まで上昇させる。
- (2) 2045年（令和27年）の女性人口に占める20歳から39歳の割合を15%まで回復させる。
- (3) 2045年（令和27年）の男性人口に占める25歳から44歳までの割合を18%まで回復させる。

●将来人口の推計

2065年に3,064人の人口確保

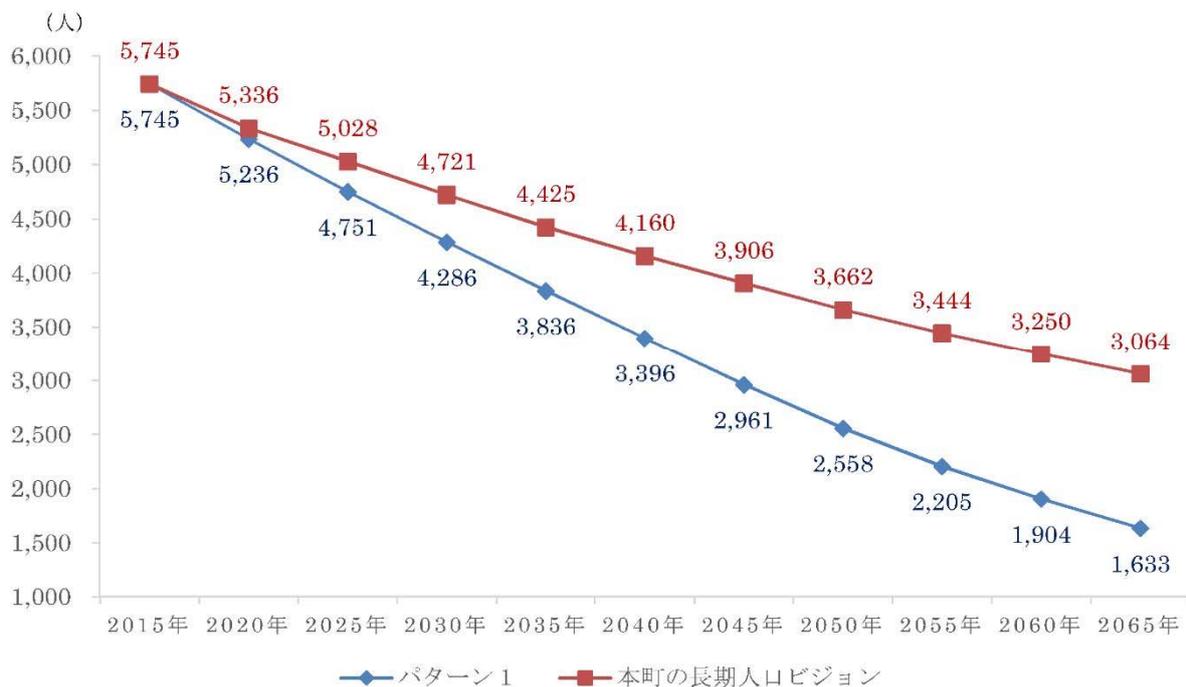


図 2-4：将来人口の推計

出典：南種子町人口ビジョン(R2.3)

(5) 地区別人口・世帯数の推移

本町の地区別に平成12年（2000年）から平成27年（2015年）までの人口の推移をみると、いずれの地区も減少傾向にあります。減少率は、全体で19.3%、最も大きいのは「平山地区」の31.9%となっています。

また、世帯数においては、地区により増加、減少の傾向は異なりますが、全体で見ると若干の減少傾向にあります。減少率は、全体で0.4%、最も大きいのは「平山地区」で14.9%となっています。

表 2-3：地区別人口・世帯数推移

単位：人、世帯、%

| 地区名 | 年度 | 平成12年 (2000) | 平成17年 (2005) | 平成22年 (2010) | 平成27年 (2015) | H27/H12 |
|------|-----|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------|
| | | | | | | |
| 上中地区 | 人口 | 2,949 | 2,851 | 2,757 | 2,658 | ▲ 291 |
| | | 41.3% | 42.3% | 43.9% | 46.1% | 90.1% |
| | 世帯数 | 1,225 | 1,280 | 1,282 | 1,315 | 90 |
| | | 41.0% | 41.8% | 42.4% | 44.2% | 107.3% |
| 釜永地区 | 人口 | 621 | 534 | 505 | 445 | ▲ 176 |
| | | 8.7% | 7.9% | 8.0% | 7.7% | 71.7% |
| | 世帯数 | 257 | 239 | 236 | 220 | ▲ 37 |
| | | 8.6% | 7.8% | 7.8% | 7.4% | 85.6% |
| 西之地区 | 人口 | 1,095 | 1,014 | 926 | 787 | ▲ 308 |
| | | 15.3% | 15.1% | 14.8% | 13.7% | 71.9% |
| | 世帯数 | 452 | 467 | 450 | 414 | ▲ 38 |
| | | 15.1% | 15.3% | 14.9% | 13.9% | 91.6% |
| 西海地区 | 人口 | 299 | 270 | 254 | 211 | ▲ 88 |
| | | 4.2% | 4.0% | 4.0% | 3.7% | 70.6% |
| | 世帯数 | 133 | 132 | 130 | 117 | ▲ 16 |
| | | 4.5% | 4.3% | 4.3% | 3.9% | 88.0% |
| 島間地区 | 人口 | 792 | 762 | 686 | 629 | ▲ 163 |
| | | 11.1% | 11.3% | 10.9% | 10.9% | 79.4% |
| | 世帯数 | 329 | 341 | 339 | 336 | 7 |
| | | 11.0% | 11.1% | 11.2% | 11.3% | 102.1% |
| 平山地区 | 人口 | 596 | 532 | 468 | 406 | ▲ 190 |
| | | 8.3% | 7.9% | 7.5% | 7.0% | 68.1% |
| | 世帯数 | 248 | 238 | 233 | 211 | ▲ 37 |
| | | 8.3% | 7.8% | 7.7% | 7.1% | 85.1% |
| 下中地区 | 人口 | 273 | 270 | 222 | 187 | ▲ 86 |
| | | 3.8% | 4.0% | 3.5% | 3.2% | 68.5% |
| | 世帯数 | 110 | 116 | 108 | 104 | ▲ 6 |
| | | 3.7% | 3.8% | 3.6% | 3.5% | 94.5% |
| 長谷地区 | 人口 | 517 | 503 | 457 | 442 | ▲ 75 |
| | | 7.2% | 7.5% | 7.3% | 7.7% | 85.5% |
| | 世帯数 | 231 | 248 | 247 | 257 | 26 |
| | | 7.7% | 8.1% | 8.2% | 8.6% | 111.3% |
| 合計 | 人口 | 7,142 | 6,736 | 6,275 | 5,765 | ▲ 1377 |
| | | 100% | 100% | 100% | 100% | 80.7% |
| | 世帯数 | 2,985 | 3,061 | 3,025 | 2,974 | ▲ 11 |
| | | 100% | 100% | 100% | 100% | 99.6% |

資料：南種子町

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

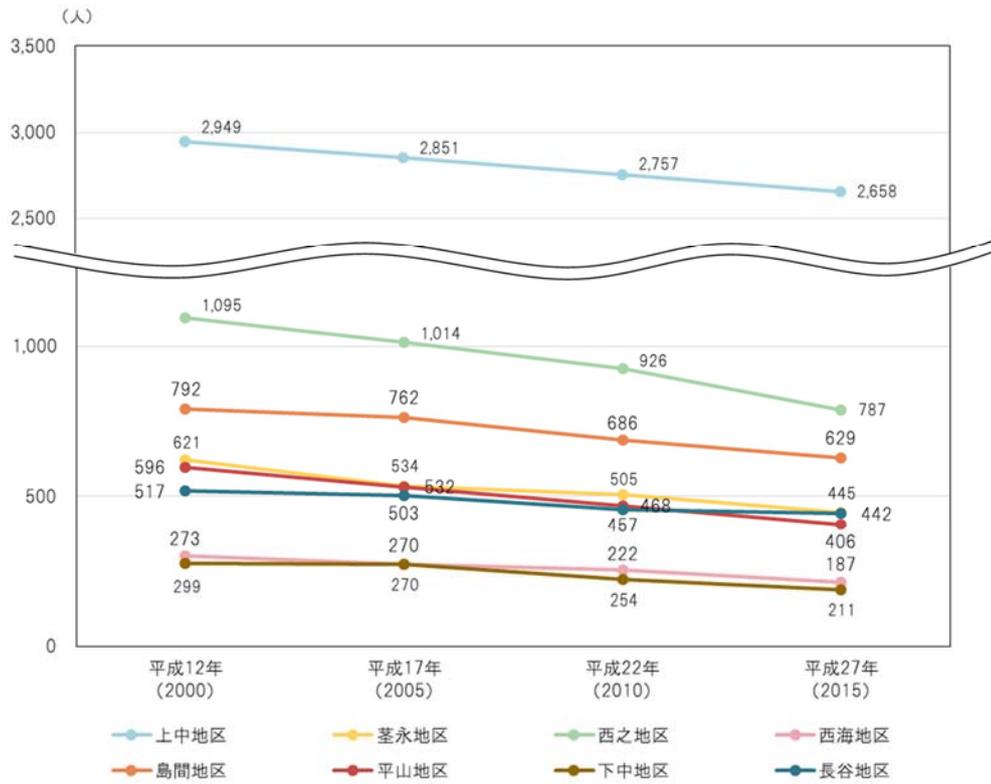


図 2-5：地区別人口の推移

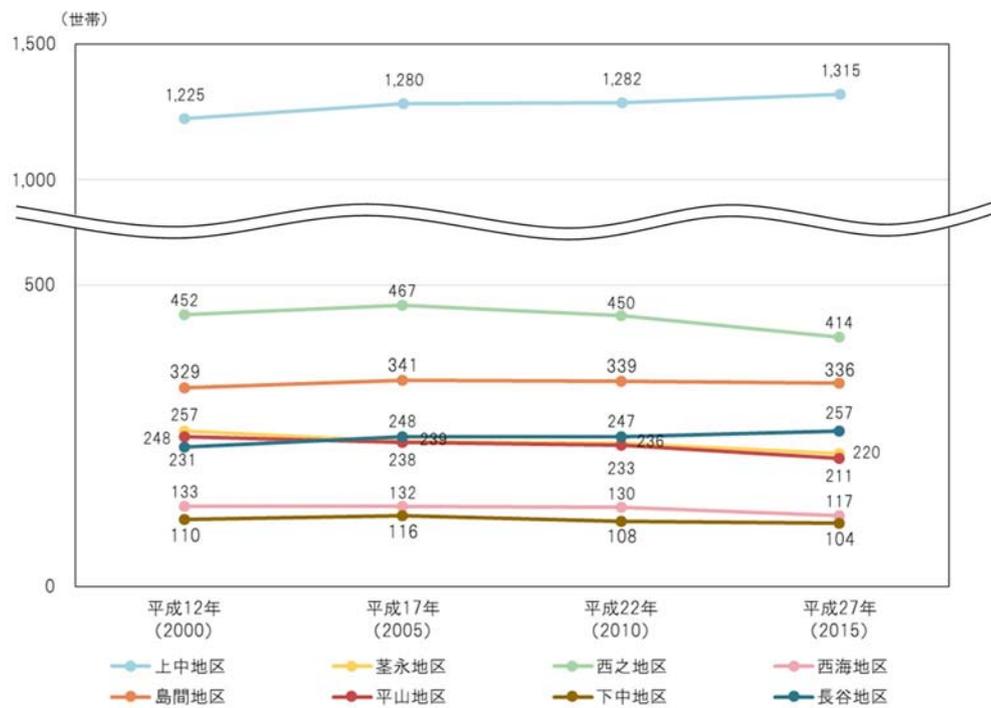


図 2-6：地区別世帯数の推移

資料：南種子町

(6) 財政状況

① 歳入（一般会計）の内訳

平成29年度決算の歳入額は、57億7,681万円であり、前年度と比較すると3億8,084万円増加しています。

自主財源では「地方税」が13.6%、依存財源では「地方交付税」が40.8%と最も多くなっています。

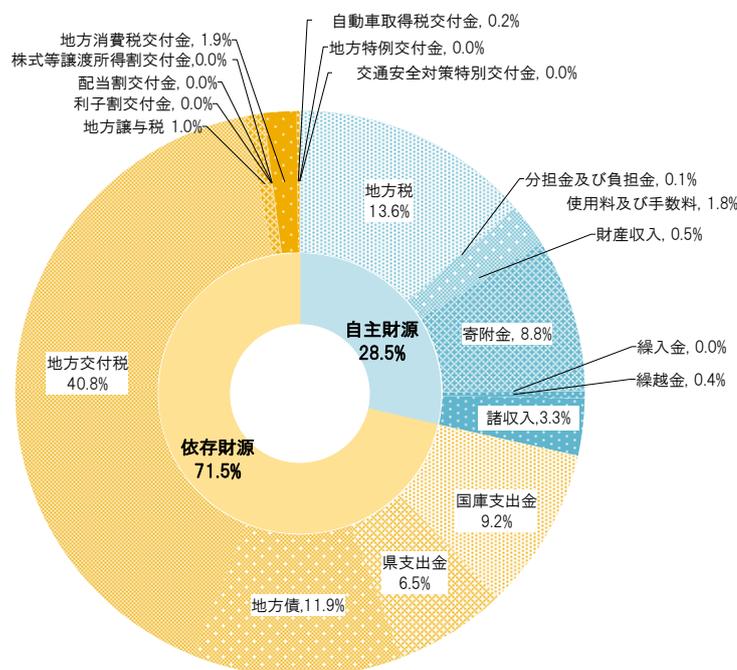


図 2-7：平成29年度 歳入の内訳

表 2-4：歳入（目的別）の内訳

単位：千円、%

| 区分 | 款 | 平成29年度 | | 平成28年度 | | 増減額 |
|-------------|----------|-----------|-----------|-----------|------|----------|
| | | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | |
| 自主財源 | 地方税 | 787,392 | 28.5 | 788,613 | 24.1 | ▲ 1,221 |
| | 分担金及び負担金 | 6,662 | | 3,737 | | 2,925 |
| | 使用料及び手数料 | 104,166 | | 97,586 | | 6,580 |
| | 財産収入 | 31,182 | | 26,302 | | 4,880 |
| | 寄附金 | 506,067 | | 202,244 | | 303,823 |
| | 繰入金 | 1,349 | | 2,121 | | ▲ 772 |
| | 繰越金 | 23,959 | | 34,542 | | ▲ 10,583 |
| | 諸収入 | 188,427 | | 143,420 | | 45,007 |
| | 依存財源 | 国庫支出金 | | 532,904 | | 71.5 |
| 県支出金 | | 372,994 | 468,519 | ▲ 95,525 | | |
| 地方債 | | 688,005 | 601,541 | 86,464 | | |
| 地方交付税 | | 2,355,017 | 2,339,856 | 15,161 | | |
| 地方譲与税 | | 56,382 | 56,696 | ▲ 314 | | |
| 利子割交付金 | | 926 | 376 | 550 | | |
| 配当割交付金 | | 1,122 | 932 | 190 | | |
| 株式等譲渡所得割交付金 | | 1,108 | 524 | 584 | | |
| 地方消費税交付金 | | 107,673 | 104,584 | 3,089 | | |
| 自動車取得税交付金 | | 9,713 | 6,930 | 2,783 | | |
| 地方特例交付金 | | 835 | 791 | 44 | | |
| 交通安全対策特別交付金 | | 931 | 1,049 | ▲ 118 | | |
| 合計 | | 5,776,814 | 100 | 5,395,966 | 100 | |

出典：総務省決算カード

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

平成19年度以降の歳入の推移をみると、「地方税」は7.7億円程度を保持しています。今後は人口減少が続き、特に生産年齢人口の割合が減少すると見込まれるため、「地方税」の減少が予想されます。

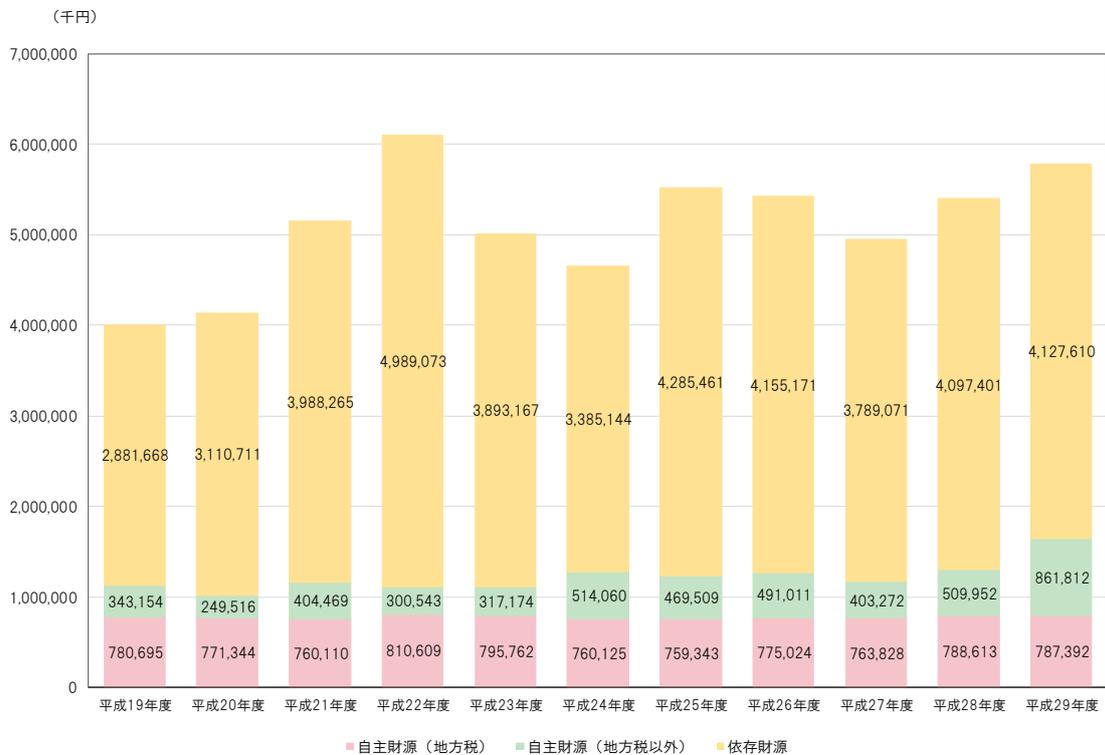


図 2-8：歳入（一般会計）の推移



図 2-9：歳入（一般会計）の割合

出典：総務省決算カード

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

② 歳出（一般会計）の内訳

平成29年度決算の歳出額は、57億3,086万円であり、前年度と比較すると4億485万円増加しています。

義務的経費では「人件費」が17.3%、一般行政経費では「物件費」が21.4%、その他経費では「繰出金」が7.8%と最も多くなっています。

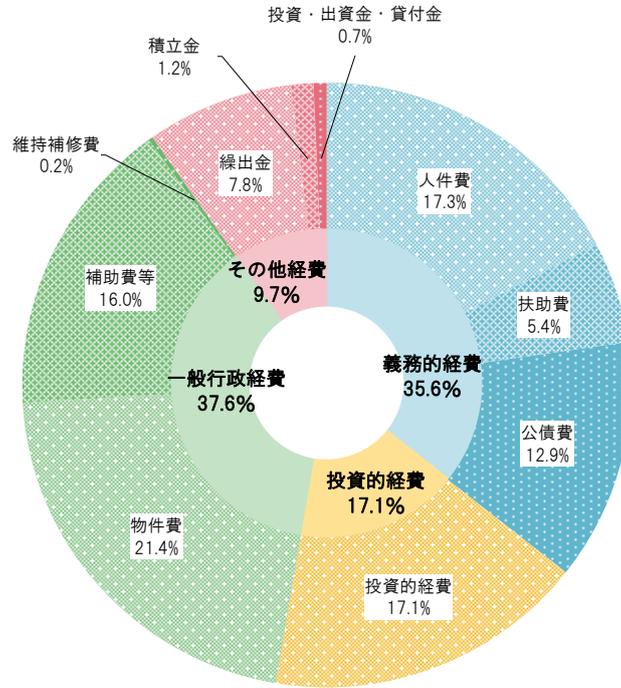


図 2-10：平成 29 年度 歳出（一般会計）の内訳

表 2-5：歳出（一般会計）の内訳

単位：千円、%

| 区分 | 款 | 平成29年度 | | 平成28年度 | | 増減額 |
|--------|------------|-----------|------|-----------|------|----------|
| | | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | |
| 義務的経費 | 人件費 | 990,186 | 35.6 | 982,513 | 39.0 | 7,673 |
| | 扶助費 | 311,432 | | 372,953 | | ▲ 61,521 |
| | 公債費 | 740,347 | | 720,197 | | 20,150 |
| 投資的経費 | 投資的経費 | 977,651 | 17.1 | 795,472 | 14.9 | 182,179 |
| 一般行政経費 | 物件費 | 1,225,019 | 37.6 | 1,009,784 | 37.0 | 215,235 |
| | 補助費等 | 916,821 | | 952,958 | | ▲ 36,137 |
| | 維持補修費 | 13,689 | | 7,715 | | 5,974 |
| その他経費 | 繰出金 | 447,505 | 9.7 | 351,944 | 9.1 | 95,561 |
| | 積立金 | 67,928 | | 91,421 | | ▲ 23,493 |
| | 投資・出資金・貸付金 | 40,282 | | 41,050 | | ▲ 768 |
| 合計 | | 5,730,860 | 100 | 5,326,007 | 100 | 404,853 |

出典：総務省決算カード

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

平成19年度以降の歳出の推移をみると、高齢化に伴い「扶助費」が年々増加していることがわかります。

今後も人口減少や更なる高齢化の進展に伴い、扶助費等の増加に加え、後期高齢者医療費や介護保険料等の負担が増大していくことが考えられます。

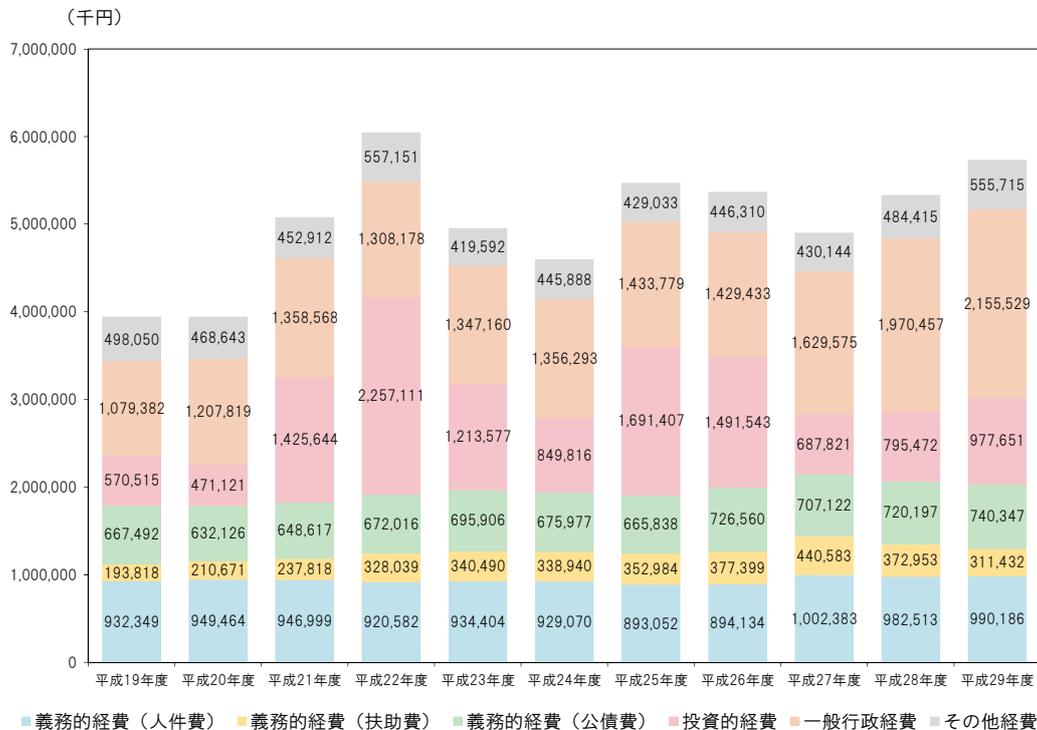


図 2-11：歳出（一般会計）の推移



図 2-12：歳出（一般会計）の割合

出典：総務省決算カード

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

③ 歳出（目的別）の内訳

歳出を目的別に見てみると、「総務費」が21.5%と最も多く、「教育費」に関しては全体の1割程度になります。

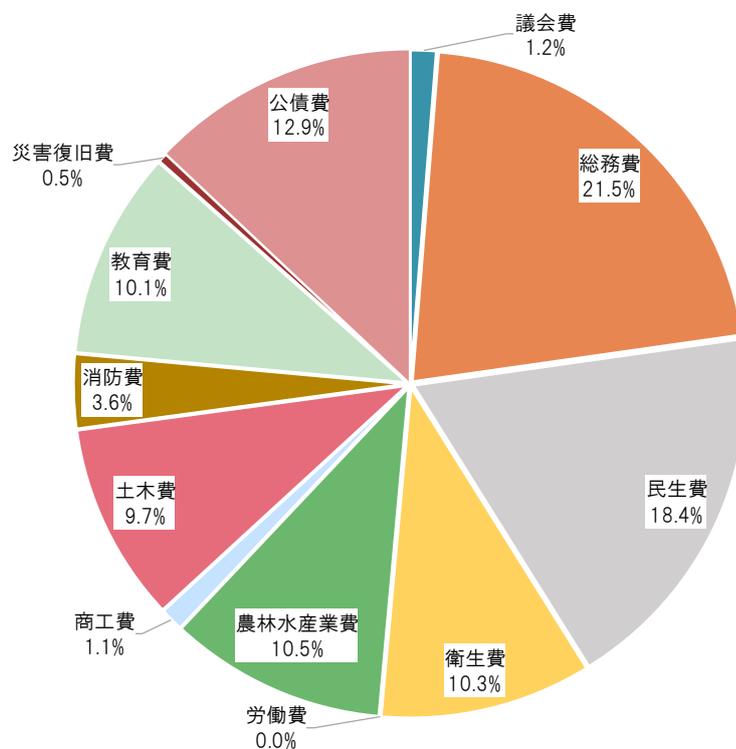


図 2-13：平成 29 年度 歳出（目的別）の内訳

表 2-6：歳出（目的別）の内訳

単位：千円、%

| 区分 | 平成29年度 | | 平成28年度 | | 増減額 |
|--------|-----------|------|-----------|------|-----------|
| | 決算額 | 構成比 | 決算額 | 構成比 | |
| 議会費 | 71,623 | 1.2 | 71,687 | 1.3 | ▲ 64 |
| 総務費 | 1,231,675 | 21.5 | 1,058,893 | 19.9 | 172,782 |
| 民生費 | 1,055,615 | 18.4 | 1,110,720 | 20.9 | ▲ 55,105 |
| 衛生費 | 588,568 | 10.3 | 539,777 | 10.1 | 48,791 |
| 労働費 | - | 0.0 | - | 0.0 | - |
| 農林水産業費 | 603,952 | 10.5 | 546,980 | 10.3 | 56,972 |
| 商工費 | 65,331 | 1.1 | 177,466 | 3.3 | ▲ 112,135 |
| 土木費 | 556,902 | 9.7 | 384,220 | 7.2 | 172,682 |
| 消防費 | 208,449 | 3.6 | 197,662 | 3.7 | 10,787 |
| 教育費 | 581,651 | 10.1 | 488,324 | 9.2 | 93,327 |
| 災害復旧費 | 26,747 | 0.5 | 30,081 | 0.6 | ▲ 3,334 |
| 公債費 | 740,347 | 12.9 | 720,197 | 13.5 | 20,150 |
| 合計 | 5,730,860 | 100 | 5,326,007 | 100 | 404,853 |

出典：総務省決算カード

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

平成19年度以降の歳出（目的別）の推移をみると、「教育費」は9.2%~19.9%の間で変動しています。また「公債費」については年々減少していることがわかります。

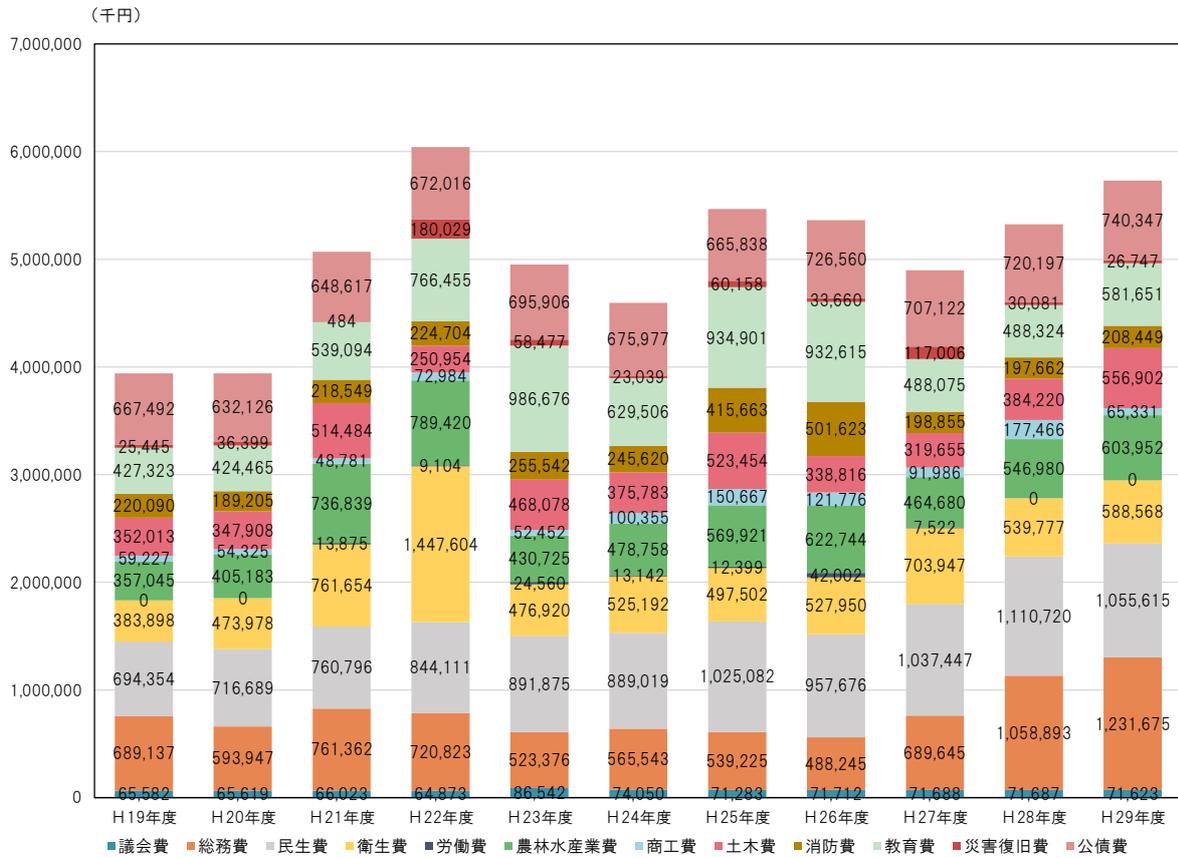


図 2-14：歳出（目的別）の推移

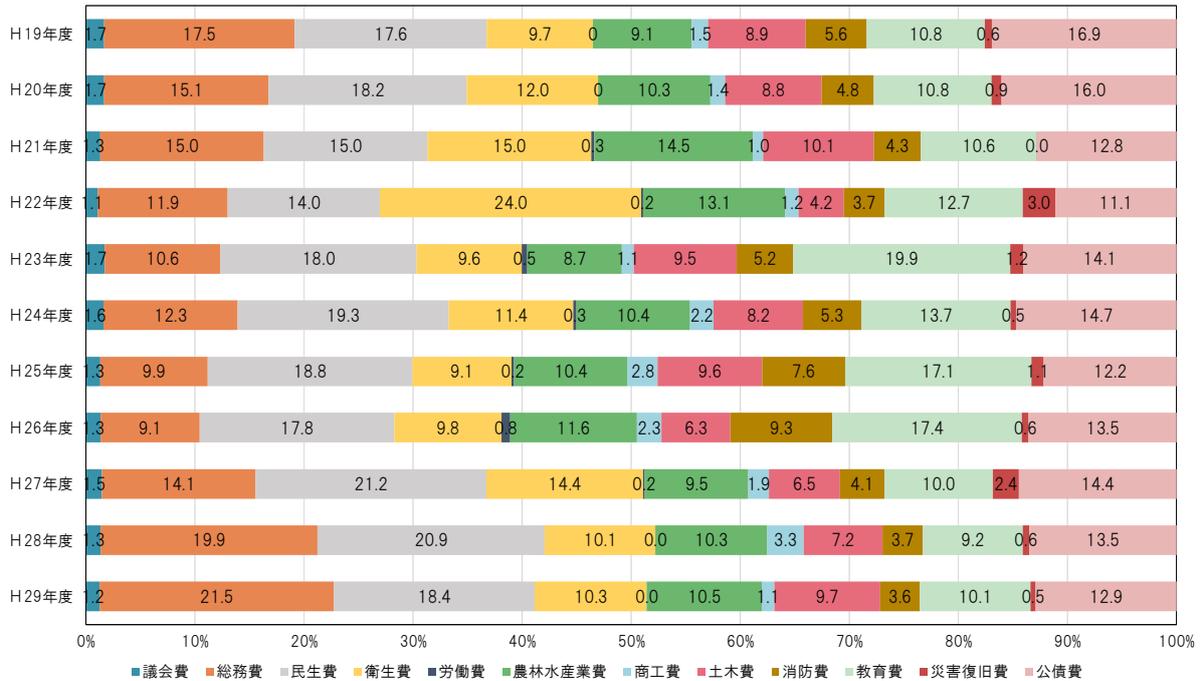


図 2-15：歳出（目的別）の割合

出典：総務省決算カード

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

2. 運営状況・活用状況の把握

(1) 公共施設全体の保有状況

本町の「公共施設等総合管理計画」では、建築系公共施設は全体で 74 施設、延床面積 70,233 ㎡となります。

用途別合計の延床面積が多い順に学校教育系施設、産業系施設、公営住宅となっています。学校教育系施設の延床面積は全体の 3 割を占めています。

表 2-7：公共施設の用途別施設数

| 施設分類 | 施設数 | 延床面積 | |
|------------------|-----|--------|--------|
| | | 面積(㎡) | 構成比 |
| 行政系施設 | 4 | 5,743 | 8.2% |
| 社会教育系施設 | 5 | 3,769 | 5.4% |
| 保健・福祉施設 | 4 | 2,707 | 3.9% |
| 市民文化系施設 | 3 | 4,789 | 6.8% |
| 学校教育系施設 | 10 | 21,099 | 30.0% |
| 子育て支援施設 | 2 | 1,032 | 1.5% |
| 公営住宅 | 20 | 10,475 | 14.9% |
| スポーツ・レクリエーション系施設 | 7 | 4,126 | 5.9% |
| 産業系施設 | 13 | 11,557 | 16.4% |
| 供給処理施設 | 3 | 3,324 | 4.7% |
| その他 | 3 | 1,612 | 2.3% |
| 合計 | 74 | 70,233 | 100.0% |

出典：南種子町公共施設等総合管理計画（平成29年3月）

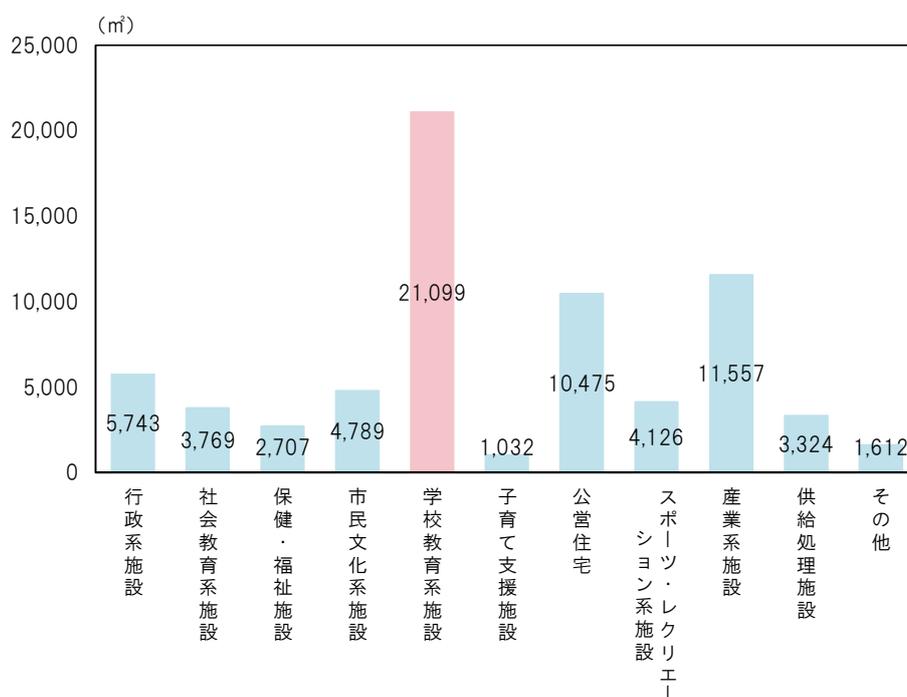


図 2-16：公共施設の用途別延床面積

(2) 学校施設等の保有状況

本町の小学校 8 校、中学校 1 校、給食共同調理場 1 施設の全 10 施設の建物のうち、延床面積 200 m²未満の部室、倉庫、トイレ等の小規模な建物を除いた一覧を下表に示します。

小学校・中学校のほとんどの校舎及び屋内運動場（体育館）は鉄筋コンクリート造（RC造）であり、耐震診断を行った建物で耐震性能が基準値以下の建物は全て耐震補強が完了しています。

表 2-8：対象施設一覧

単位：年，m²，室

| 学 校 名 | 開 校 年 度 | 建 物 名 称 | 棟 番 号 | 構 造 | 階 数 | 建 築 年 度 | 経 過 年 数 | 耐 震 基 準 | 校 舎 等 積 面 |
|--------------------|------------------|-----------|-----------|-----|-----|---------|---------|---------|-----------|
| 中平小学校 | 1879年 (明治12年) | 普通教室棟 | 1-1 | W造 | 2 | 2011 | 9 | | 2,332 |
| | | 管理教室棟 | 1-2 | W造 | 1 | 2011 | 9 | | 598 |
| | | 屋内運動場 | 14 | RC造 | 1 | 1974 | 46 | 旧 | 617 |
| | | 特別教室棟 | 27-1 | RC造 | 2 | 1994 | 26 | 新 | 196 |
| | | 小計 | | | | | - | | 3,743 |
| 荃南小学校 | 1878年 (明治11年) | 教室棟 | 1-1,1-2 | RC造 | 1 | 1956 | 64 | 旧 | 256 |
| | | 管理教室棟・事務室 | 3-1,3-2 | RC造 | 2 | 1971 | 49 | 旧 | 509 |
| | | 特別教室棟 | 7 | RC造 | 1 | 1975 | 45 | 旧 | 219 |
| | | 小計 | | | | | - | | 984 |
| 西野小学校 | 1878年 (明治11年) | 屋内運動場 | 7 | RC造 | 1 | 1977 | 43 | 旧 | 532 |
| | | 管理棟 | 22-1 | W造 | 1 | 2019 | 1 | | 457 |
| | | ホール棟 | 22-2 | RC造 | 1 | 2019 | 1 | 新 | 78 |
| | | 普通・特別教室棟 | 22-3 | W造 | 1 | 2019 | 1 | | 823 |
| | | 特別教室棟 | 22-4 | RC造 | 1 | 2019 | 1 | 新 | 155 |
| 小計 | | | | | - | | 2,045 | | |
| 大川小学校 | 1886年 (明治19年) | 特別教室棟 | 4 | RC造 | 1 | 1965 | 55 | 旧 | 208 |
| | | 屋内運動場 | 8 | RC造 | 1 | 1980 | 40 | 旧 | 392 |
| | | 管理教室棟 | 18 | RC造 | 2 | 1998 | 22 | 新 | 544 |
| | | 小計 | | | | | - | | 1,144 |
| 島間小学校 | 1879年 (明治12年) | 普通・特別教室棟 | 12 | RC造 | 2 | 1973 | 47 | 旧 | 668 |
| | | 屋内運動場 | 17 | RC造 | 1 | 1986 | 34 | 新 | 593 |
| | | 普通教室棟 | 23 | RC造 | 3 | 2000 | 20 | 新 | 634 |
| | | 小計 | | | | | - | | 1,895 |
| 平山小学校 | 1878年 (明治11年) | 管理・教室棟 | 4 | RC造 | 2 | 1968 | 52 | 旧 | 770 |
| | | 特別教室棟 | 7 | RC造 | 1 | 1974 | 46 | 旧 | 200 |
| | | 屋内運動場 | 10 | RC造 | 1 | 1984 | 36 | 新 | 550 |
| | | 小計 | | | | | - | | 1,520 |
| 花峰小学校 | 1879年 (明治12年) | 教室棟 | 5 | RC造 | 1 | 1962 | 58 | 旧 | 265 |
| | | 管理・特別教室棟 | 10 | RC造 | 1 | 1980 | 40 | 旧 | 300 |
| | | 屋内運動場 | 11-1,11-2 | RC造 | 1 | 1982 | 38 | 新 | 490 |
| | | 特別教室棟 | 15 | RC造 | 1 | 1989 | 31 | 新 | 63 |
| 小計 | | | | | - | | 1,118 | | |
| 長谷小学校 | 1947年 (昭和22年) | 管理・特別教室棟 | 11 | RC造 | 1 | 1980 | 40 | 旧 | 241 |
| | | 屋内運動場 | 14-1,14-2 | RC造 | 1 | 1983 | 37 | 新 | 490 |
| | | 普通・特別教室棟 | 17 | RC造 | 1 | 1988 | 32 | 新 | 673 |
| | | 特別教室棟 | 21 | RC造 | 1 | 1997 | 23 | 新 | 140 |
| 小計 | | | | | - | | 1,544 | | |
| 南種子中学校 | 1994年 (平成6年) | 管理棟及び教室棟 | 1-1 | RC造 | 2 | 1994 | 26 | 新 | 1,317 |
| | | 教室棟 | 1-2 | RC造 | 2 | 1994 | 26 | 新 | 1,516 |
| | | 特別教室棟 | 1-3 | RC造 | 2 | 1994 | 26 | 新 | 1,141 |
| | | 旧観測 | 1-4 | RC造 | 4 | 1994 | 26 | 新 | 25 |
| | | 校舎クラブハウス | 1-5 | RC造 | 1 | 1994 | 26 | 新 | 150 |
| | | 屋内運動場 | 2-1,2-2 | RC造 | 2 | 1994 | 26 | 新 | 1,182 |
| | | 部室・格技場 | 3-1,3-2 | RC造 | 1 | 1994 | 26 | 新 | 612 |
| | | 小計 | | | | | - | | 5,943 |
| 南種子町立 学校給食共同調理場 | | 給食センター | 1-1~1-5 | RC造 | 2 | 1979 | 41 | 旧 | 467 |
| 小計 | | | | | - | | 467 | | |

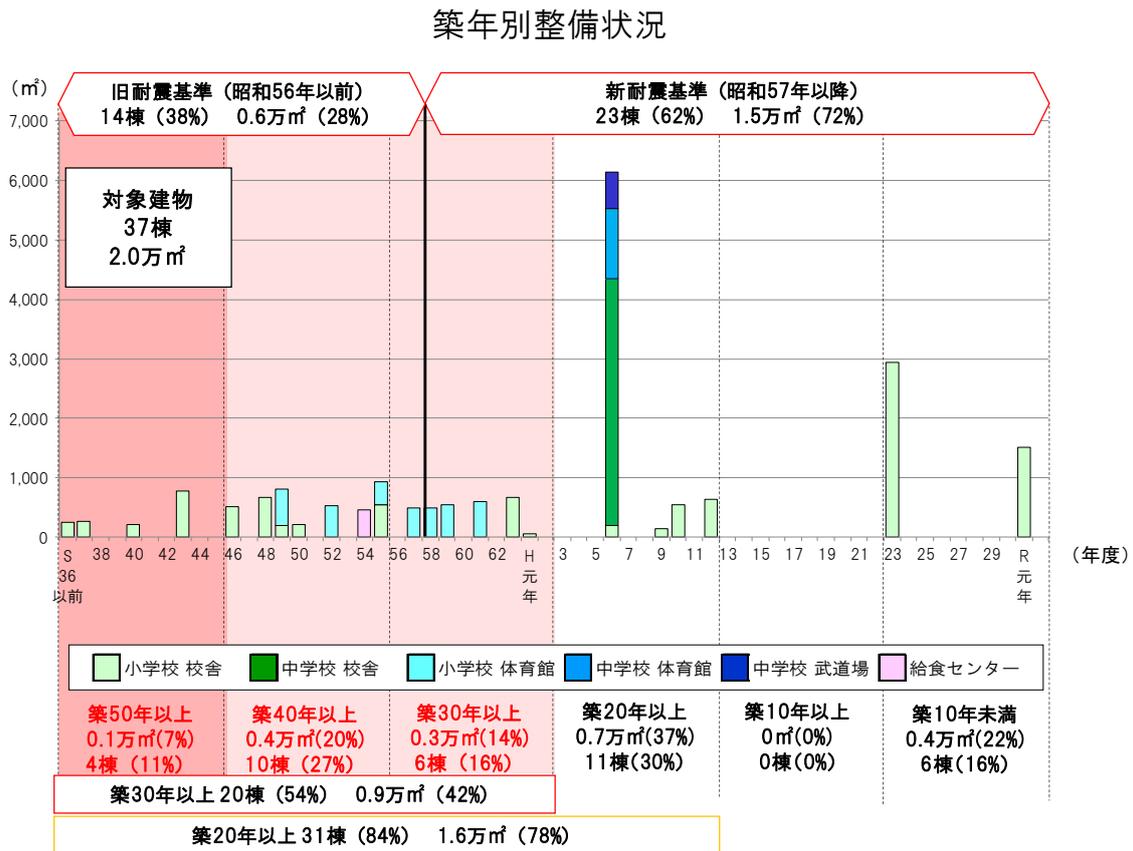
※経過年数は令和元年(2020年)時点

資料：公立学校施設台帳 南種子町

※原則として200 m²以下の建物は除くが、一部の主要建物は含むものとする。

学校施設の築年別整備状況をみると、旧耐震基準（昭和56年以前）によるものが14棟（38%）、床面積で0.6万㎡（28%）、新耐震基準（昭和57年以降）によるものが23棟（62%）、床面積で1.5万㎡（72%）となっており、旧耐震基準の建物が約4割を占めています。

経過年数では、築50年以上が0.1万㎡（7%）、築40年から49年までが0.4万㎡（20%）、築30年から39年までが0.3万㎡（14%）となっており、築30年以上を合わせると20棟（54%）、床面積0.9万㎡（42%）となっています。



※作図のプログラムにより、面積は万㎡、比率が整数になっています。

図 2-17：学校施設の築年別建物状況

(3) 児童・生徒数及び学級数の変化

① 児童・生徒数及び学級数の推移

町内の小学校 8 校の全児童数は、平成 23 年度以降は減少していましたが、平成 28 年度以降は徐々に増加し、令和元年度では 335 人（うち宇宙留学生 50 人）となっています。平成 22 年度と比較すると、宇宙留学生の受け入れを増加したものの 10.7%減少しています。児童数の変化の傾向は学校ごとに異なり、この 10 年間で大川小学校、花峰小学校、長谷小学校は増加し、中平小学校、荃南小学校、西野小学校、島間小学校、平山小学校では減少傾向にあります。中でも平山小学校では児童数が 33.3%減少しています。

なお、今後も中平小学校以外の小学校については、宇宙留学制度を継続し児童数を確保していく予定です。

表 2-9：児童数・学級数の推移

| 小学校 | | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2019年/2010年 | |
|-------|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-------------|--------|
| | | (H22) | (H23) | (H24) | (H25) | (H26) | (H27) | (H28) | (H29) | (H30) | (R01) | 全体 | 宇宙留学籍 |
| 中平小学校 | 児童数（うち宇宙留学） | 192 | 193 | 189 | 172 | 181 | 165 | 165 | 163 | 159 | 165 | 85.9% | |
| | 学級数（うち特別） | 8 (1) | 8 (1) | 7 (1) | 8 (2) | 9 (2) | 9 (2) | 8 (2) | 8 (2) | 8 (2) | 8 (2) | | 0 |
| 荃南小学校 | 児童数（うち宇宙留学） | 42 (8) | 43 (9) | 36 (8) | 30 (12) | 27 (7) | 28 (9) | 22 (6) | 27 (8) | 30 (7) | 33 (8) | 78.6% | 73.5% |
| | 学級数（うち特別） | 5 (0) | 5 (0) | 4 (0) | 4 (0) | 4 (0) | 5 (0) | 4 (0) | 4 (0) | 4 (0) | 4 (0) | -1 | |
| 西野小学校 | 児童数（うち宇宙留学） | 39 (2) | 41 (3) | 36 (2) | 36 (4) | 34 (6) | 25 (4) | 25 (4) | 24 (3) | 28 (6) | 35 (7) | 89.7% | 75.7% |
| | 学級数（うち特別） | 4 (0) | 5 (0) | 4 (0) | 4 (0) | 4 (0) | 4 (1) | 4 (1) | 5 (1) | 5 (1) | 5 (1) | 1 | |
| 大川小学校 | 児童数（うち宇宙留学） | 8 | 10 | 12 (4) | 15 (6) | 14 (6) | 13 (6) | 11 (6) | 13 (8) | 15 (7) | 13 (8) | 162.5% | 62.5% |
| | 学級数（うち特別） | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 0 | |
| 島間小学校 | 児童数（うち宇宙留学） | 42 (7) | 49 (7) | 44 (8) | 46 (10) | 42 (12) | 35 (10) | 30 (4) | 26 (4) | 27 (6) | 32 (9) | 76.2% | 65.7% |
| | 学級数（うち特別） | 5 (0) | 6 (0) | 5 (0) | 5 (0) | 5 (0) | 5 (0) | 4 (0) | 5 (1) | 5 (1) | 6 (2) | 1 | |
| 平山小学校 | 児童数（うち宇宙留学） | 21 (5) | 19 (4) | 20 (3) | 22 (4) | 22 (4) | 22 (4) | 18 (4) | 18 (4) | 18 (5) | 14 (6) | 66.7% | 50.0% |
| | 学級数（うち特別） | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 0 | |
| 花峰小学校 | 児童数（うち宇宙留学） | 12 (3) | 11 (4) | 12 (5) | 8 (4) | 10 (4) | 10 (6) | 9 (5) | 15 (9) | 14 (8) | 17 (8) | 141.7% | 100.0% |
| | 学級数（うち特別） | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 0 | |
| 長谷小学校 | 児童数（うち宇宙留学） | 19 (3) | 17 (2) | 15 (3) | 17 (3) | 17 (4) | 17 (2) | 19 (2) | 23 (4) | 28 (8) | 26 (4) | 136.8% | 129.4% |
| | 学級数（うち特別） | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 3 (0) | 4 (0) | 4 (0) | 4 (0) | 1 | |
| 小学校合計 | 児童数（うち宇宙留学） | 375 (28) | 383 (29) | 364 (33) | 346 (43) | 347 (43) | 315 (41) | 299 (31) | 309 (40) | 319 (47) | 335 (50) | 89.3% | 82.1% |
| | 学級数（うち特別） | 34 (1) | 36 (1) | 32 (1) | 33 (2) | 34 (2) | 35 (3) | 32 (3) | 35 (4) | 35 (4) | 36 (5) | 2 | |

単位：人、クラス

各年5月1日時点

資料：南種子町

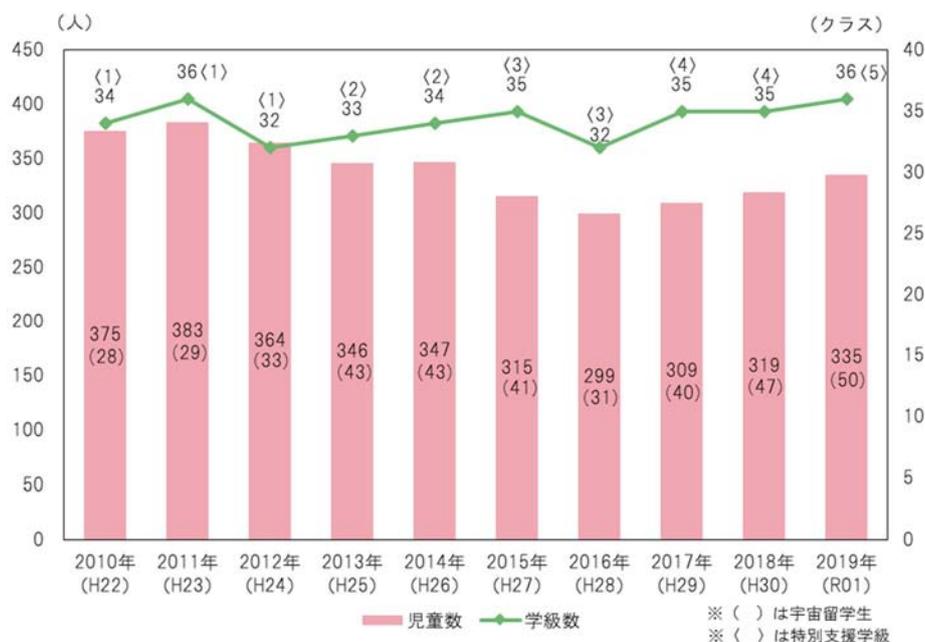


図 2-18：児童数・学級数の推移

南種子中学校の生徒数は、平成 22 年度以降、減少傾向にあり、令和元年度より南種子中学校においても宇宙留学制度を導入し、132 人（うち宇宙留学生 4 人）となっています。平成 22 年度と比較すると 35.0%減少（宇宙留学生の人数を抜くと 36.9%減少）しています。

なお、今後も宇宙留学制度を継続し生徒数を確保していく予定です。

表 2-10：生徒数・学級数の推移

| 中学校 | | 2010年 (H22) | 2011年 (H23) | 2012年 (H24) | 2013年 (H25) | 2014年 (H26) | 2015年 (H27) | 2016年 (H28) | 2017年 (H29) | 2018年 (H30) | 2019年 (R01) | 2019年/2010年 | |
|--------|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------|-------|
| | | 単位：人、クラス | | | | | | | | | | 全体 | 宇宙留学者 |
| 南種子中学校 | 生徒数（うち宇宙留学） | 203 | 178 | 173 | 172 | 163 | 162 | 144 | 158 | 133 | 132 (4) | 65.0% | 63.1% |
| | 学級数（うち特別） | 7 (1) | 7 (1) | 7 (1) | 7 (1) | 7 (1) | 6 (1) | 6 (1) | 8 (2) | 7 (2) | 7 (2) | 0 | |

各年5月1日時点

資料：南種子町



図 2-19：生徒数・学級数の推移

② 児童・生徒数の推計

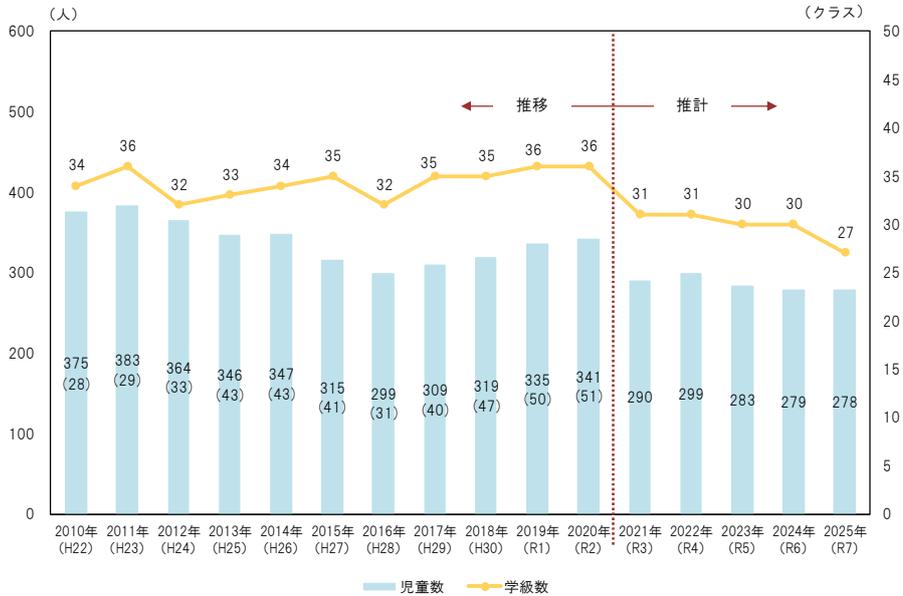
小学校の児童数の推計は、2025年度まで徐々に減少していくことが予測されます。

表 2-11：児童数の推計

| | | 令和2年5月1日現在 | | | | | |
|-------|-----|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 |
| 中平小学校 | 児童数 | 160 | 170 | 185 | 181 | 182 | 178 |
| | 学級数 | 8 | 8 | 8 | 7 | 7 | 7 |
| 荃南小学校 | 児童数 | 42 (15) | 23 | 22 | 20 | 19 | 20 |
| | 学級数 | 5 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 西野小学校 | 児童数 | 35 (5) | 27 | 23 | 19 | 15 | 15 |
| | 学級数 | 5 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 大川小学校 | 児童数 | 14 (8) | 6 | 7 | 7 | 5 | 4 |
| | 学級数 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 |
| 島間小学校 | 児童数 | 36 (5) | 26 | 26 | 27 | 26 | 27 |
| | 学級数 | 5 | 5 | 4 | 5 | 4 | 3 |
| 平山小学校 | 児童数 | 16 (6) | 11 | 11 | 8 | 11 | 13 |
| | 学級数 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 花峰小学校 | 児童数 | 11 (6) | 5 | 4 | 3 | 3 | 5 |
| | 学級数 | 3 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 |
| 長谷小学校 | 児童数 | 27 (6) | 22 | 21 | 18 | 18 | 16 |
| | 学級数 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 合計 | 児童数 | 341 (51) | 290 | 299 | 283 | 279 | 278 |
| | 学級数 | 36 | 31 | 31 | 30 | 30 | 27 |

※2020年の生徒数は宇宙留学生を含む。()内は宇宙留学生。
 ※2021年以降の生徒数は宇宙留学生を含まない。
 ※学級数は特別支援クラスを含む。

資料：南種子町



※2020年までの生徒数は宇宙留学生を含む。()内は宇宙留学生。
 ※2021年以降の生徒数は宇宙留学生を含まない。
 ※学級数は特別支援クラスを含む。

図 2-20：児童数の推計

中学校の生徒数の推計では、2025年度まで微増していくことが予測されます。

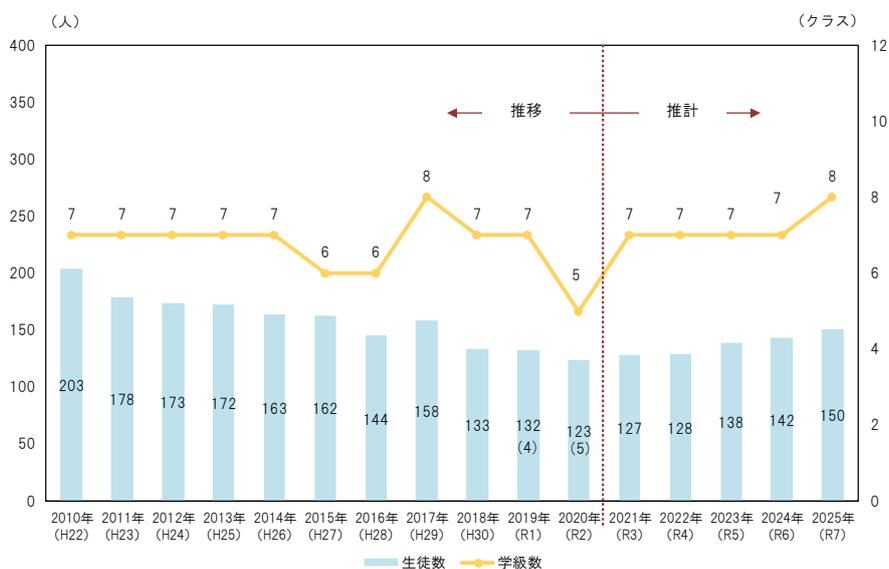
表 2-12：生徒数の推計

令和2年5月1日現在

| | | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 |
|--------|-----|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 南種子中学校 | 生徒数 | 123 (5) | 127 | 128 | 138 | 142 | 150 |
| | 学級数 | 5 | 7 | 7 | 7 | 7 | 8 |
| 合計 | 生徒数 | 123 (5) | 127 | 128 | 138 | 142 | 150 |
| | 学級数 | 5 | 7 | 7 | 7 | 7 | 8 |

※2020年の生徒数は宇宙留学生を含む。()内は宇宙留学生。
 ※2021年以降の生徒数は宇宙留学生を含まない。
 ※学級数は特別支援クラスを含む。

資料：南種子町



※2010年～2018年は宇宙留学生なし。
 ※2019年,2020年の生徒数は宇宙留学生を含む。()内は宇宙留学生。
 ※2021年以降の生徒数は宇宙留学生を含まない。
 ※学級数は特別支援クラスを含む。

図 2-21：生徒数の推計

(4) 職員数の推移

小中学校の職員数は、小学校はほぼ横ばいで推移し、中学校はわずかな減少傾向にあります。平成 22 年度と比較すると、小学校で 8%増加し、中学校で 10%減少しています。

表 2-13：小学校の職員数の推移

| | 2010年 (H22) | 2011年 (H23) | 2012年 (H24) | 2013年 (H25) | 2014年 (H26) | 2015年 (H27) | 2016年 (H28) | 2017年 (H29) | 2018年 (H30) | 2019年 (R01) | 2019年/ 2010年 |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 中平小学校 | 18 | 18 | 18 | 18 | 20 | 21 | 17 | 17 | 18 | 18 | 100% |
| 荃南小学校 | 11 | 11 | 10 | 10 | 10 | 11 | 10 | 10 | 10 | 10 | 91% |
| 西野小学校 | 9 | 10 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 10 | 10 | 11 | 122% |
| 大川小学校 | 8 | 8 | 8 | 9 | 8 | 8 | 8 | 9 | 8 | 9 | 113% |
| 島間小学校 | 11 | 12 | 11 | 11 | 11 | 11 | 10 | 10 | 10 | 13 | 118% |
| 平山小学校 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 100% |
| 花峰小学校 | 7 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 100% |
| 長谷小学校 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 9 | 9 | 10 | 10 | 10 | 125% |
| 合計 | 80 | 83 | 80 | 81 | 83 | 84 | 78 | 81 | 81 | 86 | 108% |

単位：人

資料：南種子町

表 2-14：中学校の職員数の推移

| | 2010年 (H22) | 2011年 (H23) | 2012年 (H24) | 2013年 (H25) | 2014年 (H26) | 2015年 (H27) | 2016年 (H28) | 2017年 (H29) | 2018年 (H30) | 2019年 (R01) | 2019年/ 2010年 |
|--------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 南種子中学校 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 18 | 20 | 19 | 18 | 90% |

単位：人

資料：南種子町

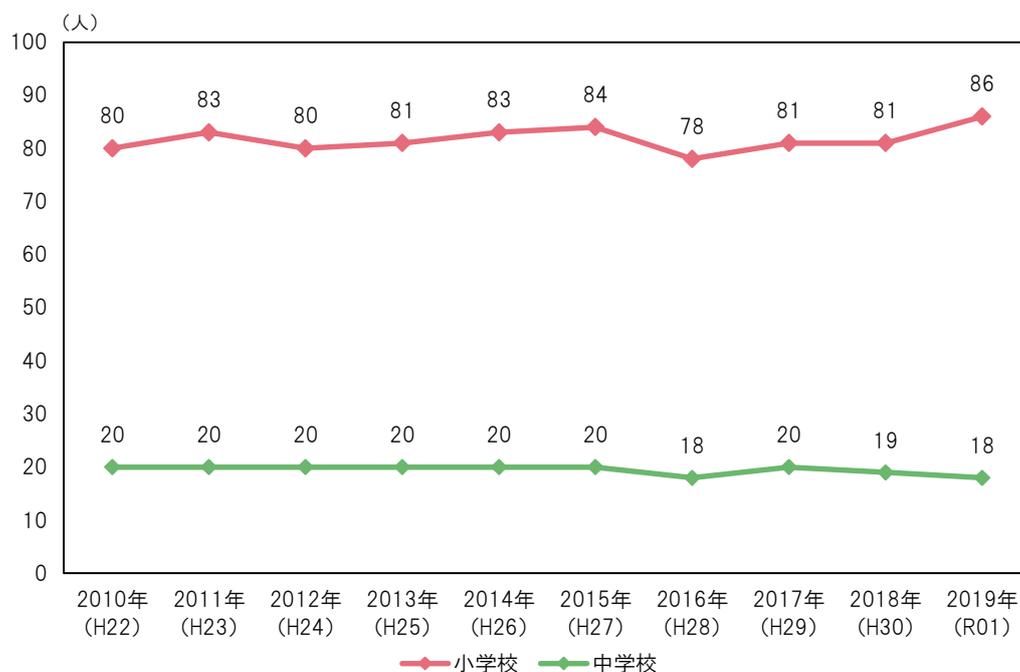


図 2-22：小中学校の職員数の推移

(5) 学校施設等の配置状況

本町の人口は、町の中心部である中平小学校区に集中しており、全人口の約50%を占めています。一方、茎南小学校区、大川小学校区、平山小学校区、花峰小学校区、長谷小学校区は10%を切っており、人口比率に偏りがある状況となっています。

表 2-15：地区別の学校施設配置状況

単位：人

| 地区 | 項目 | 人口 | 15歳未満 | 小学校区 | 児童数 | 中学校 | 生徒数 | | | | | |
|------|----|-------|-------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 上中地区 | 実数 | 2,674 | 426 | 中平小 | 165 | 南種子中 | 132 | | | | | |
| | 比率 | 46.0% | 57.1% | | 49.3% | | | | | | | |
| 茎永地区 | 実数 | 462 | 64 | 茎南小 | 33 | | | 南種子中 | 132 | | | |
| | 比率 | 7.9% | 8.6% | | 9.9% | | | | | | | |
| 西之地区 | 実数 | 813 | 67 | 西野小 | 35 | | 南種子中 | | | 132 | | |
| | 比率 | 14.0% | 9.0% | | 10.4% | | | | | | | |
| 西海地区 | 実数 | 142 | 12 | 大川小 | 13 | | | | 南種子中 | | 132 | |
| | 比率 | 2.4% | 1.6% | | 3.9% | | | | | | | |
| 島間地区 | 実数 | 641 | 77 | 島間小 | 32 | | | | | 南種子中 | | 100% |
| | 比率 | 11.0% | 10.3% | | 9.6% | | | | | | | |
| 平山地区 | 実数 | 417 | 37 | 平山小 | 14 | 南種子中 | | | | | 100% | |
| | 比率 | 7.2% | 5.0% | | 4.2% | | | | | | | |
| 下中地区 | 実数 | 198 | 15 | 花峰小 | 17 | | | 南種子中 | | | | 100% |
| | 比率 | 3.4% | 2.0% | | 5.1% | | | | | | | |
| 長谷地区 | 実数 | 470 | 48 | 長谷小 | 26 | | 南種子中 | | | | 100% | |
| | 比率 | 8.1% | 6.4% | | 7.8% | | | | | | | |
| 合計 | 実数 | 5,817 | 746 | 合計 | 335 | | | | 合計 | | | 132 |
| | 比率 | 100% | 100% | | 100% | | | | | | | 100% |

資料：人口は南種子町公共施設等総合管理計画、児童・生徒数は南種子町資料

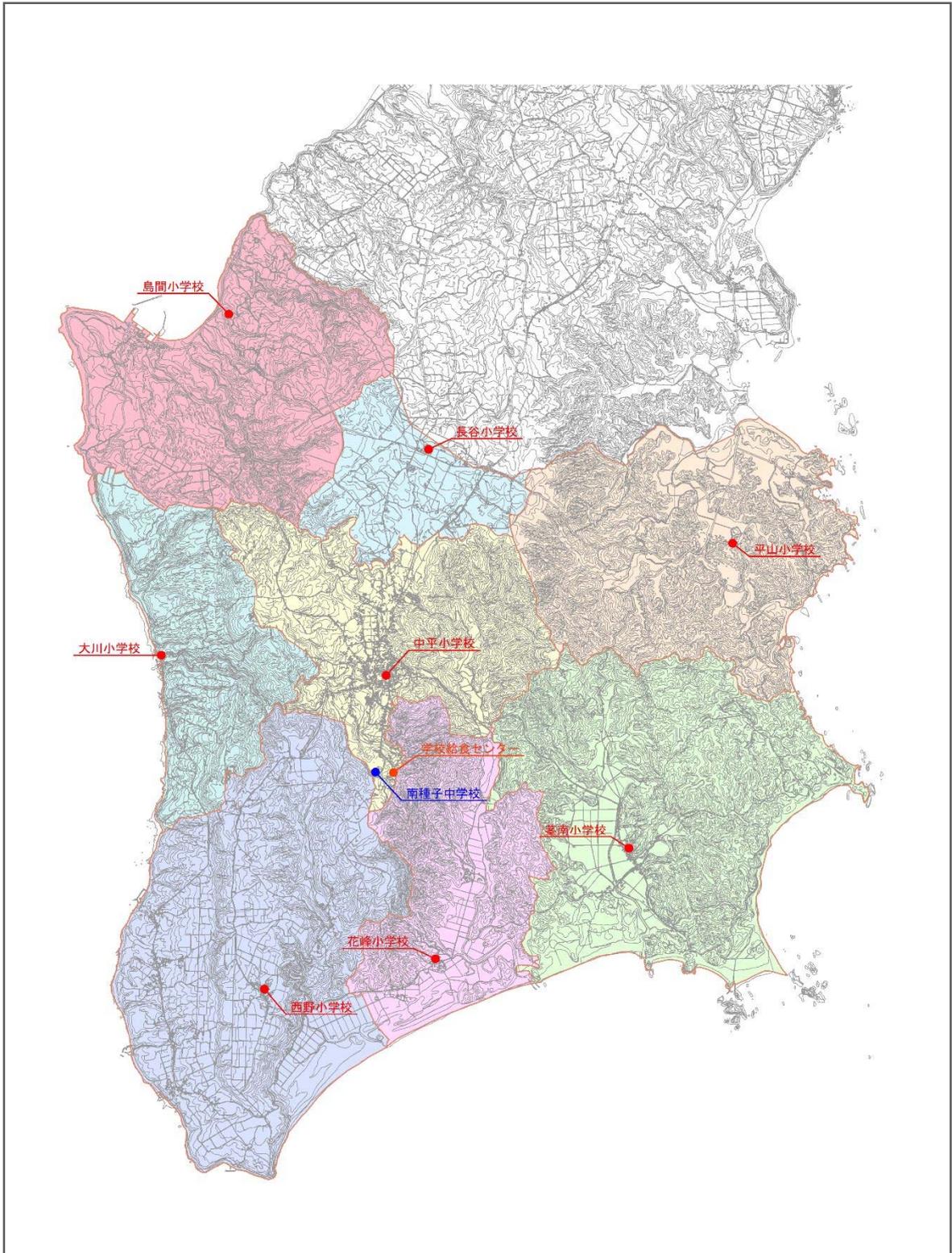


図 2-23 : 校区区分図

(6) 学校の維持管理コスト

① 管理費の推移

小中学校・給食共同調理場の管理費（光熱水費、維持修繕費、委託費）について、平成26年度から平成30年度までの5年間の年平均は、小学校21,265千円、中学校4,563千円、給食共同調理場3,378千円となっています。

管理費の内訳をみると、平成26年度から平成30年度までの5年間の年平均は、小学校は光熱水費9,557千円、維持修繕費848千円、委託費10,860千円、中学校では光熱水費2,999千円、維持修繕費176千円、委託費1,387千円、給食共同調理場は光熱水費2,497千円、維持修繕費359千円、委託費522千円となっています。

表 2-16：管理費の推移（小学校）

| | | 単位：千円 | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 施設名 | 内容 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 年平均 |
| 中平小学校 | 光熱水費 | 2,296 | 2,559 | 2,381 | 2,666 | 2,844 | 2,549 |
| | 維持修繕費 | 72 | 43 | 49 | 244 | 119 | 105 |
| | 委託費 | 0 | 0 | 73 | 118 | 127 | 64 |
| | 小計 | 2,368 | 2,602 | 2,503 | 3,028 | 3,090 | 2,718 |
| 荃南小学校 | 光熱水費 | 898 | 859 | 901 | 958 | 977 | 919 |
| | 維持修繕費 | 122 | 0 | 7 | 99 | 77 | 61 |
| | 委託費 | 0 | 45 | 62 | 530 | 0 | 127 |
| | 小計 | 1,020 | 904 | 970 | 1,587 | 1,054 | 1,107 |
| 西野小学校 | 光熱水費 | 927 | 966 | 972 | 1,117 | 1,085 | 1,013 |
| | 維持修繕費 | 262 | 0 | 9 | 21 | 170 | 92 |
| | 委託費 | 0 | 0 | 7,344 | 35,390 | 6,505 | 9,848 |
| | 小計 | 1,189 | 966 | 8,325 | 36,528 | 7,760 | 10,954 |
| 大川小学校 | 光熱水費 | 863 | 965 | 895 | 906 | 973 | 920 |
| | 維持修繕費 | 54 | 0 | 55 | 127 | 168 | 81 |
| | 委託費 | 413 | 0 | 1,693 | 73 | 17 | 439 |
| | 小計 | 1,330 | 965 | 2,643 | 1,106 | 1,158 | 1,440 |
| 島間小学校 | 光熱水費 | 981 | 1,011 | 1,044 | 1,093 | 1,126 | 1,051 |
| | 維持修繕費 | 48 | 49 | 181 | 290 | 60 | 126 |
| | 委託費 | 0 | 0 | 73 | 73 | 0 | 29 |
| | 小計 | 1,029 | 1,060 | 1,298 | 1,456 | 1,186 | 1,206 |
| 平山小学校 | 光熱水費 | 850 | 974 | 967 | 1,051 | 983 | 965 |
| | 維持修繕費 | 0 | 299 | 0 | 280 | 71 | 130 |
| | 委託費 | 43 | 0 | 62 | 472 | 0 | 115 |
| | 小計 | 893 | 1,273 | 1,029 | 1,803 | 1,054 | 1,210 |
| 花峰小学校 | 光熱水費 | 900 | 954 | 982 | 1,109 | 1,103 | 1,010 |
| | 維持修繕費 | 162 | 0 | 0 | 329 | 21 | 102 |
| | 委託費 | 0 | 0 | 645 | 73 | 17 | 147 |
| | 小計 | 1,062 | 954 | 1,627 | 1,511 | 1,141 | 1,259 |
| 長谷小学校 | 光熱水費 | 1,120 | 1,261 | 1,105 | 1,103 | 1,060 | 1,130 |
| | 維持修繕費 | 162 | 134 | 86 | 340 | 28 | 150 |
| | 委託費 | 0 | 0 | 380 | 73 | 0 | 91 |
| | 小計 | 1,282 | 1,395 | 1,571 | 1,516 | 1,088 | 1,370 |
| 合計 | 光熱水費 | 8,835 | 9,549 | 9,247 | 10,003 | 10,151 | 9,557 |
| | 維持修繕費 | 882 | 525 | 387 | 1,730 | 714 | 848 |
| | 委託費 | 456 | 45 | 10,332 | 36,802 | 6,666 | 10,860 |
| | 計 | 10,173 | 10,119 | 19,966 | 48,535 | 17,531 | 21,265 |

資料：南種子町

表 2-17：管理費の推移（中学校）

| 施設名 | 内容 | 単位：千円 | | | | | 年平均 |
|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| 南種子中学校 | 光熱水費 | 3,507 | 3,040 | 2,795 | 2,950 | 2,705 | 2,999 |
| | 維持修繕費 | 357 | 116 | 72 | 297 | 40 | 176 |
| | 委託費 | 0 | 0 | 1,902 | 3,487 | 1,545 | 1,387 |
| | 小計 | 3,864 | 3,156 | 4,769 | 6,734 | 4,290 | 4,563 |
| 合計 | 光熱水費 | 3,507 | 3,040 | 2,795 | 2,950 | 2,705 | 2,999 |
| | 維持修繕費 | 357 | 116 | 72 | 297 | 40 | 176 |
| | 委託費 | 0 | 0 | 1,902 | 3,487 | 1,545 | 1,387 |
| | 計 | 3,864 | 3,156 | 4,769 | 6,734 | 4,290 | 4,563 |

資料：南種子町

表 2-18：管理費の推移（給食共同調理場）

| 施設名 | 内容 | 単位：千円 | | | | | 年平均 |
|------------------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| 南種子町立 学校給食 共同調理場 | 光熱水費 | 2,533 | 2,309 | 2,323 | 2,620 | 2,700 | 2,497 |
| | 維持修繕費 | 266 | 476 | 307 | 439 | 309 | 359 |
| | 委託費 | 306 | 306 | 1,386 | 306 | 306 | 522 |
| | 小計 | 3,105 | 3,091 | 4,016 | 3,365 | 3,315 | 3,378 |
| 合計 | 光熱水費 | 2,533 | 2,309 | 2,323 | 2,620 | 2,700 | 2,497 |
| | 維持修繕費 | 266 | 476 | 307 | 439 | 309 | 359 |
| | 委託費 | 306 | 306 | 1,386 | 306 | 306 | 522 |
| | 計 | 3,105 | 3,091 | 4,016 | 3,365 | 3,315 | 3,378 |

資料：南種子町

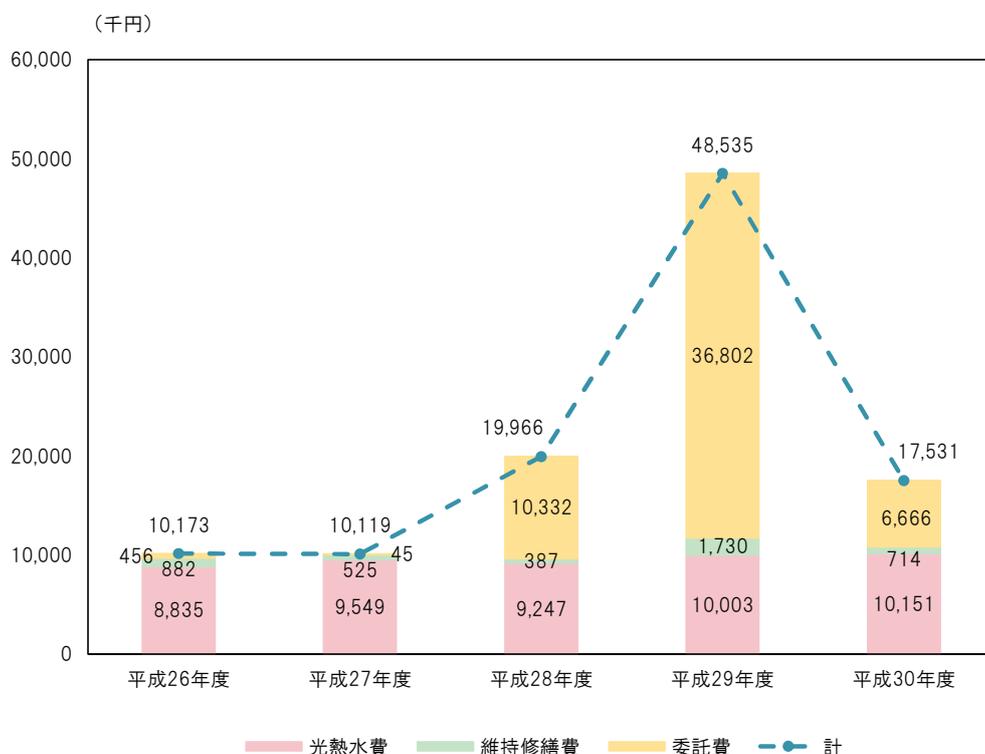


図 2-24：管理費の推移（小学校）

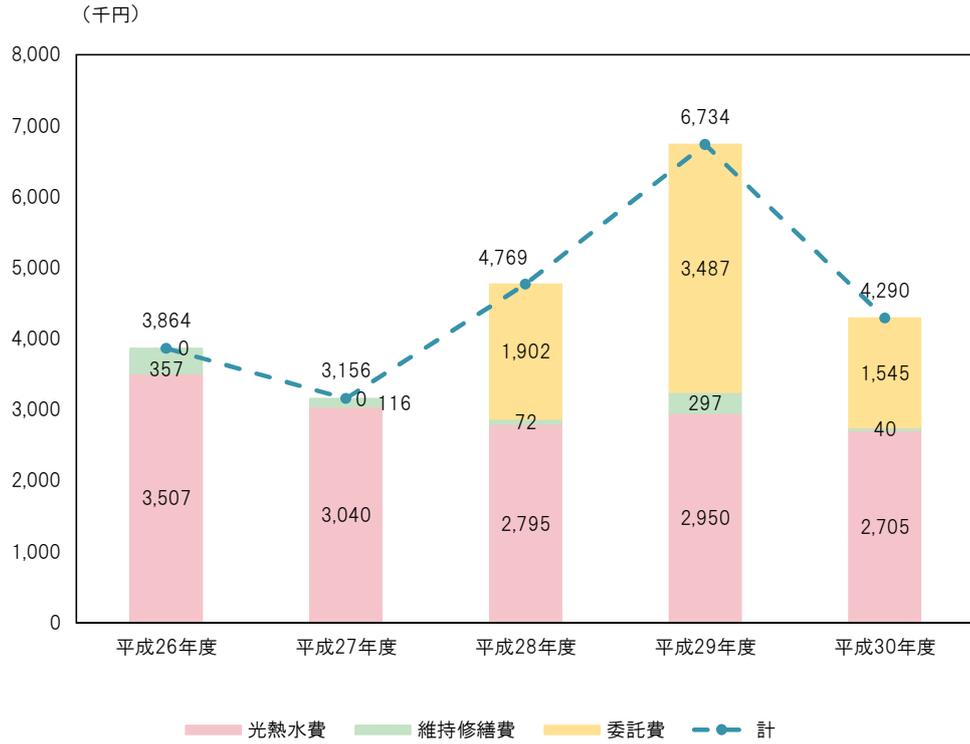


図 2-25：管理費の推移（中学校）

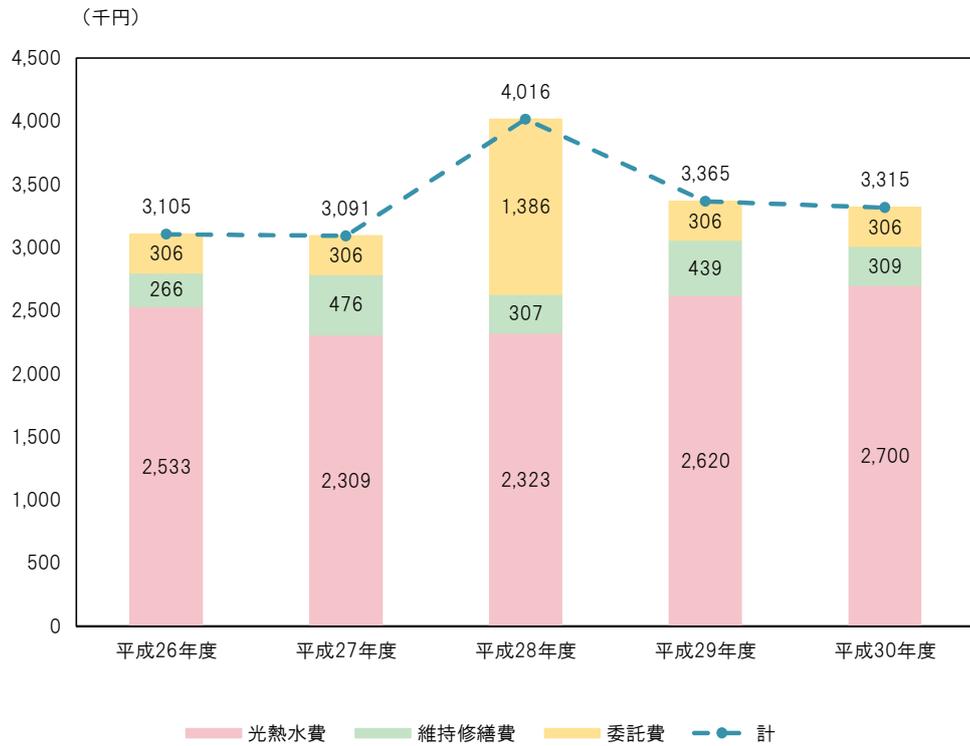


図 2-26：管理費の推移（給食共同調理場）

② 改修に係る工事費の推移

対象施設の改修に係る工事費について、平成26年度から平成30年度までの年平均は31,262千円となります。年度別でみると、平成29年度が最も高くなっています。

表 2-19：学校改修に係る工事費の推移

| | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平均 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 小学校 | 24,180 | 27,889 | 20,766 | 33,083 | 19,753 | 25,134 |
| 中学校 | 3,538 | 5,258 | 5,370 | 5,531 | 5,740 | 5,087 |
| 給食共同調理場 | 781 | 692 | 1,641 | 1,206 | 884 | 1,041 |
| 合計 | 28,499 | 33,839 | 27,777 | 39,820 | 26,377 | 31,262 |

単位：千円

資料：南種子町

③ 維持管理コストの推移（管理費＋工事費）

対象施設の維持管理コスト（管理費＋工事費）を年度別でみると、平成29年度が98,454千円で最も高くなっています。

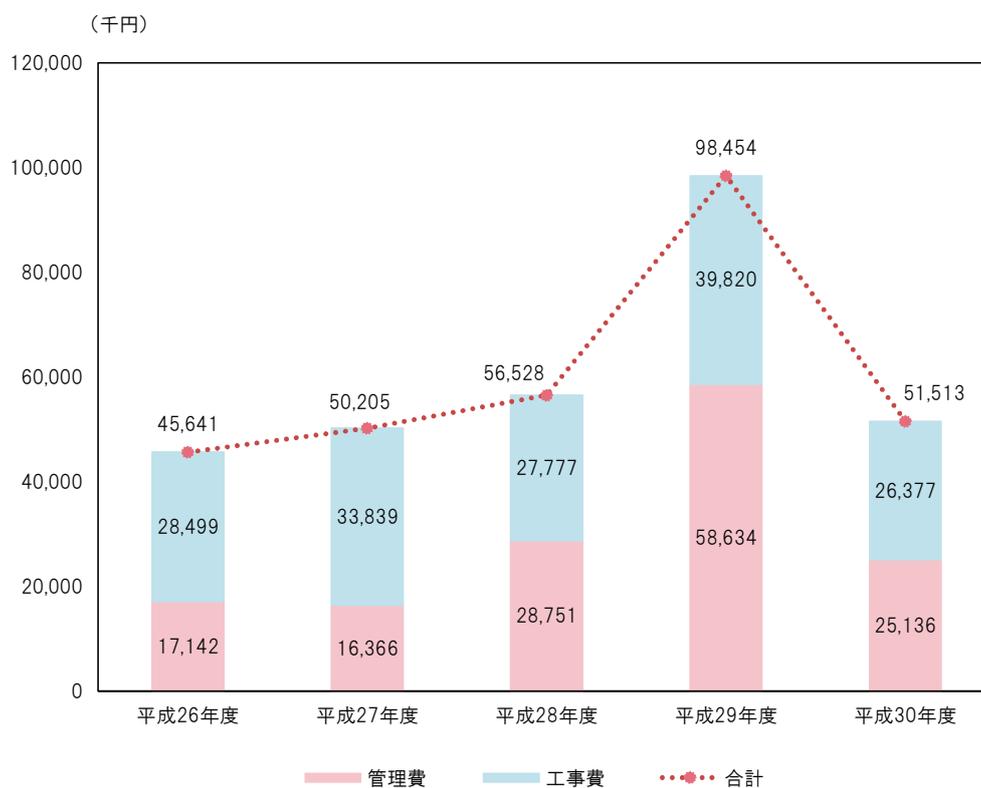


図 2-27：維持管理コストの推移

(7) 学校施設等の実態を踏まえた課題

本町には、小学校 8 校、中学校 1 校ありますが、人口減少や少子高齢化の影響により、15 歳未満の人口が年々減少してきており、児童数・生徒数も減少しています。

これまでに述べたように、本町の学校施設は、築 30 年以上の建物が全体の約半分を占めています。建物の構造の多くは、鉄筋コンクリート造（RC 造）で建てられ、耐震診断結果に基づいて耐震補強・大規模改修工事等を実施してきました。しかしながら、建築から長い年数が経過して建物の老朽化が進んでいるとともに設備の不具合もあり、近い将来に建替を含めた対策が必要となっています。

また、少子化の進展により、児童・生徒数の減少や学校の小規模校化が進んできており、今後も更なる人口減少や少子化が予測されていることを踏まえると、学校規模の適正化について検討が必要になってきます。

さらに、教育内容や教育方法等の多様化、防災機能整備、バリアフリー化、環境への配慮など学校施設に求められる時代のニーズに対応するための対策が課題となっています。

① 厳しい財政状況を勘案した学校施設等の長期保全への取り組み

平成 29 年度の一般会計の決算における自主財源の割合は、歳入総額の 28.5% となっており、将来的な人口減少に伴い、地方税も減少することが予測されます。一方、歳出においては、扶助費が増加する傾向を踏まえると、財政状況がますます厳しくなっていくこととなります。

本町の建築系公共施設は、74 施設、総延床面積 70,233 m²を保有している中で、小中学校、給食共同調理場を合わせた学校施設の延床面積は全体の約 30%を占めています（資料：公共施設等総合管理計画）。これらの学校施設等は近い将来、改築や大規模改修を行う必要があり、町の財政の大きな負担になることが考えられます。

このため、学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、長期的な予算配分を確立していくことが必要です。

② 学校施設等の維持・改修など総合的な対応

学校施設の 54%が築 30 年以上と老朽化が進んでいる中で、建設当時に比べ大きく変化している多様な学習内容に応じた高機能かつ多機能な施設環境の必要性が高まっています。また、防災対策、バリアフリー対策、トイレの洋式化等の学習・生活空間としての安全性や快適性の向上を図るほか、環境負荷の低減対策等の様々な配慮が必要となっています。

施設の改修にあたっては、建築時の状態に戻すのではなく、その機能や性能を現在の学校に求められている水準まで引き上げる必要があります。その際には、安全・安心な施設環境の確保、教育環境の質的向上、地域コミュニティの拠点形成を目指して再生を行うことが重要です。

③ 小中学校の規模・配置の適正化の検討

児童・生徒数の減少に伴い、将来を見据えた小・中学校の規模や配置の適正化が課題となっています。その検討にあたっては、児童・生徒にとって望ましい教育環境はどうあるべきかという観点に立ち、保護者や地域住民等の理解や協力を得ながら進めていくことが必要です。

表 2-20：学校規模の分類

| | 過小規模校 | 小規模校 | 適正規模校 | 大規模校 | 過大規模校 |
|-----|-------|--------|---------|---------|--------|
| 小学校 | 5学級以下 | 6～11学級 | 12～18学級 | 19～30学級 | 31学級以上 |
| 中学校 | 2学級以下 | 3～11学級 | | | |

資料：学校教育法施行規則

3.学校施設等の老朽化状況

(1) 学校施設等の老朽化状況の把握

① 老朽化状況の評価

施設の健全性・劣化状況を把握し評価するために、学校施設台帳、耐震診断結果を踏まえ、さらに屋上・外壁等の実態を把握するため、学校施設等 10 施設の主要建物 37 棟を対象にした目視による現地調査を行いました。

以下に示す劣化状況調査票を基に、各項目について劣化状況の確認と劣化具合の写真を撮影し、「屋根・屋上」、「外壁」に区分して評価を行いました。また、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」は経過年数により評価を行い、それらを基に総合的に施設の健全度として点数化を行いました。

【劣化状況調査票】

| | | | | | | | |
|------|------|----------------|-----|------|---------|----|---|
| 通し番号 | | | 学校名 | 学校番号 | 調査日 | | |
| 建物名 | | | | | 記入者 | | |
| 棟番号 | | | | 建築年度 | 年度(年度) | | |
| 構造種別 | 延床面積 | m ² | 階数 | 地上 | 階 | 地下 | 階 |

| 部位 | 仕様 (該当する項目にチェック) | 工事履歴(部位の更新) | | 劣化状況 (複数回答可) | | 箇所数 | 特記事項 | 評価 |
|---|---|---------------|------------------------|--|------|-----|------|----|
| | | 年度 | 工事内容 | | | | | |
| 1 屋根 屋上 | <input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 () | | | <input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフトンを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある | | | | |
| 2 外壁 | <input type="checkbox"/> 塗仕上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 () <input type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス | | | <input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽 <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある | | | | |
| 3. 内部 | 内部劣化箇所② | | | 内部劣化箇所③ | | | | |
| 部位 | 修繕・点検項目 | 改修・点検年度 | 特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項) | | | | 評価 | |
| 4 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等 | <input type="checkbox"/> 老朽改修 <input type="checkbox"/> エコ改修 <input type="checkbox"/> トイレ改修 <input type="checkbox"/> 法令適合 <input type="checkbox"/> 校内LAN <input type="checkbox"/> 空調設置 <input type="checkbox"/> 障害児等対策 <input type="checkbox"/> 防犯対策 <input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策 <input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策 <input type="checkbox"/> その他、内部改修工事 | | | | | | | |
| 5 電気設備 | <input type="checkbox"/> 分電盤改修 <input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事 <input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検 <input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事 | | | | | | | |
| 6 機械設備 | <input type="checkbox"/> 給水配管改修 <input type="checkbox"/> 排水配管改修 <input type="checkbox"/> 消防設備の点検 <input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事 | | | | | | | |
| 7 設備情報 | トイレのドライ化 木質化 | 太陽光発電 屋上緑化 | エレベーター 多目的トイレ | 点字ブロック 手すり | スロープ | | | |

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

| | |
|--|----------|
| | 健全度 |
| | 0 / 100点 |

【評価指標】

表 2-21：目視による評価
(屋根・屋上・外壁)

| 評価 | 基準 |
|----|------------------------------|
| A | おおむね良好 |
| B | 部分的に劣化 (安全上・機能上：問題なし) |
| C | 広範囲に劣化 (安全上・機能上：不具合発生の兆し) |
| D | 早急に対応する必要がある |

良好
↑
劣化

表 2-22：経過年数による評価
(内部仕上、電気設備、機械設備)

| 評価 | 基準 |
|----|-------------------------|
| A | 20年未満 |
| B | 20～40年 |
| C | 40年以上 |
| D | 経過年数に関わらず 著しい劣化事象がある |

良好
↑
劣化

【健全度の算定】

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。部位のコスト配分を下表のように定め、健全度を100点満点で算定します。

表 2-23：部位の評価点

| 評価 | 評価点 |
|----|-----|
| A | 100 |
| B | 75 |
| C | 40 |
| D | 10 |

表 2-24：部位のコスト配分

| 部位 | コスト配分 |
|-------|-------|
| 屋根・屋上 | 5.1 |
| 外壁 | 17.2 |
| 内部仕上 | 22.4 |
| 電気設備 | 8.0 |
| 機械設備 | 7.3 |
| 合計 | 60.0 |

□ 計算例：総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷ 60（コスト配分合計）

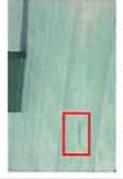
表 2-25：計算例

| 部位 | 評価 | → | 評価点例 | × | コスト配分 | = | 配分評価点 |
|-------|----|---|------|---|-------|---|-------|
| 屋根・屋上 | C | → | 40 | × | 5.1 | = | 204 |
| 外壁 | D | → | 10 | × | 17.2 | = | 172 |
| 内部仕上 | B | → | 75 | × | 22.4 | = | 1,680 |
| 電気設備 | A | → | 100 | × | 8.0 | = | 800 |
| 機械設備 | C | → | 40 | × | 7.3 | = | 292 |
| 計 | | | | | | | 3,148 |
| | | | | | | | ÷60 |
| 健全度 | | | | | | | 52 |

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

【評価基準：屋根・屋上】

| 仕様 | 評価 | | | |
|--------------------|--|---|---|--|
| | A | B | C | D |
| アスファルト 保護防水 |  良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある。 |  広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、雑草、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。 |  広範囲に、損傷、幅広いひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。 |
| アスファルト 露出防水 |  良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的に、ふくれ、しわ、変質(腐耗)、排水不良がある。 |  広範囲に、ひび割れ、変質(腐耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。 |  広範囲に、破断、損傷、幅広いひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。 |
| シート 防水 |  良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的に、ふくれ、しわ、変質(腐耗)、排水不良がある。 |  広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(腐耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。 |  広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。 |
| 塗膜防水 |  良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的にふくれ、しわ、変質(スポンジ状)、排水不良がある。 |  広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(腐耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。 |  広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。 |
| 金属板 (長尺、折板、平葺き) |  良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、変質、葺物のさびがある。 |  広範囲に、塗装のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、取付金物のさび、部分的な腐食・損傷があり、最上階天井に漏水痕がある。 |  広範囲に、さび、はがれ、腐食、取付金物の損傷があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。 |

目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。 良好 劣化

《解説》

- 《点検項目》
 - ✓ 最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と思われるシミやカビがないか。
 - ✓ 防水面において、膨れ・割れ・破れ・穴開きなどがないか。
 - ✓ 金属屋根においては、錆・損傷・腐食などがないか。
 - ✓ 上記のような劣化現象の箇所数を記入。
- 《点検の留意点》
 - ✓ ルーフドレーン（屋上排水口）や排水溝は、緩い勾配がつけられている屋上で、最も低い部分で、土砂などが溜まりやすくなっており、ここが詰まると屋上に水溜りができてしまい、劣化が進み、漏水が発生する恐れがある。
 - ✓ 目視だけでなく歩行により、浮きや水ぶくれ等がないか確認する。
 - ✓ バラベット立上り部分の防水端部で、割れ等が無いか確認する。
 - ✓ 屋内運動場の屋根は、容易に登れない場合は隣接する校舎の屋上等から観察する。
 - ✓ 1箇所劣化現象だけでなく、全体の経年状況等を踏まえる。
 - ✓ 現状のまま放置すると、他の場所でも同じように劣化が進行する可能性がある場合は評価を1段階引き下げる。
 - ✓ 現状として、降雨時に複数箇所雨漏りしている場合をD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。ただし、屋上防水は改修済みでも、天井ボードは既存のままとなっている学校が多く、見極める必要がある。

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

【評価基準：外壁】

劣化

良好

目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。

《解説》

- 《点検項目》
- ✓ 外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。
 - ✓ 外壁の室内側において、雨漏りと思われ、シメ垂れや塗装の剥がれがないか。
 - また、降雨時や翌日に床面に水漏りができてないか。
 - ✓ 外装材（モルタル・タイル・吹き付け材などの仕上げ材）の亀裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損などがないか。
 - ✓ 建具枠、扉番などの腐食、変形、ぐらつきなどがないか。
 - ✓ 窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剥れなどがないか。
 - ✓ 上記のような劣化現象の箇所数を記入。

《点検の留意点》

- ✓ 目視によって外壁の状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。
- ✓ 外壁のタイル、モルタルなどに剥落やふくれ、浮きを発見した場合は、直ちに、周囲に立ち入りできないよう措置を行う。また、部分的に打診による浮きの確認をすることが望ましい。
- ✓ スチールサッシは、錆の影響による開閉不良・鍵の破損等について確認する必要がある。
- ✓ 現状として降雨時に複数箇所雨漏りしている場合をD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。
- ✓ 鉄筋の露出は、概ね5箇所以上をD評価とする。

出典：半枝施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

| 仕様 | 評価 | A | B | C | D |
|--------------|-------------------------------|---|---|--|---|
| 塗り仕上げ | 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的に、ひび割れ・変質・浮き・さび・汁がある。 |  部分的に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび・汁・シーリング材のひび割れがある。 |  広範囲に、ひび割れ・亀甲状のひび割れ・変質・浮き・剥がれ・さび・汁があり、小規模な漏水がある。 |  広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。 |
| タイル張り 石張り | 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび・汁・シーリング材のひび割れがある。 |  部分的に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび・汁・シーリング材のひび割れがある。 |  広範囲に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび・汁・シーリング材のひび割れがあり、小規模な漏水がある。 |  広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。 |
| 金属系 パネル | 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的に、さび・変質・シーリング材のひび割れがある。 |  部分的に、さび・変質・シーリング材のひび割れ・取付金物のさびがある。 |  広範囲に、さび・変質・シーリング材のひび割れ・取付金物のさびがある。 |  広範囲に、さび・腐食・ぐらつき・取付金物の腐食があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。 |
| セメント系 パネル | 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的に、ひび割れ・変質・火傷・シーリング材のひび割れがある。 |  部分的に、ひび割れ・変質・シーリング材のひび割れ・取付金物のさびがある。 |  広範囲に、ひび割れ・変質・シーリング材のひび割れ・取付金物のさびがある。 |  火傷・ぐらつき・取付金物の腐食・シーリング材の欠落があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。 |
| 窓 (サッシ) | 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内) |  部分的に、変形・変質・シーリング材の硬化。 |  部分的に、変形・変質・シーリング材の硬化・ひび割れが見られる。 |  広範囲に、変形・変質・さび・シーリング材の硬化・ひび割れが見られる。 |  全体的に腐食・損傷・開閉不良があり、漏水がある。 |

【評価基準：内部仕上、電気設備、機械設備】

| | | | |
|--|---|--|--|
| <p>部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。</p> <p>《解説》</p> <p>内部仕上と設備は修繕・改修や点検の履歴を基に、経過年数により4段階で評価することを基本とする。ただし、現地目視により、右頁にあるような事象があれば、それらも加味して総合的に評価すること。</p> <p>対象となる部位、及びC/D評価に該当する事象例を右表に示す。</p> <p>《点検項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 内部においては、床・壁・天井のコンクリートの亀裂やボード類の浮きや損傷などがないか。 ✓ 天井ボードの落下や床シートの剥がれなどにより安全性が損なわれているところがないか。 ✓ 設備機器においては、機器や架台に錆・損傷・腐食などがないか。 ✓ 設備機器に漏水・漏油などがないか。 ✓ 給水設備においては、使用水に赤水や異臭がないか。 ✓ 機器から異音はしていないか。 ✓ 保守点検や消防の査察などで是正措置等の指摘がないか。 <p>《点検の留意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 目視によって状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。 ✓ 受変電設備等の高圧機器は、フェンスの外から目視により確認する。 ✓ 施設管理者からのヒアリングも有効。 ✓ 目視で評価する場合、複数台あるうち、1台の機器の劣化事象だけで判断するのではなく、設備全体として評価する。 | <p>内部仕上</p> <p>● 床、壁、天井</p> <p>● 内部開口部(扉、窓、防火戸)</p> <p>● 室内表示、手すり、固定家具など</p> <p>● 照明器具、衛生器具、冷暖房器具</p> | <p>該当する部位</p> <p>● 建物内の分電盤・配線・配管(電灯・コンセント設備)</p> <p>受変電設備、自家発電設備、幹線設備は、学校施設の共用設備のため対象外とする。</p> | <p>CまたはDの事象(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内部仕上げと設備機器について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年数を基準とし、経過年数で評価する。(対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> ・特定の教室のみの改修 ・天井張替え、壁の塗り替え、照明器具交換など、部位、機器のみの改修工事 ● 広範囲(25%以上の面積)または随所(5か所以上)に劣化事象がみられる場合は、評価を1段階下げることを目安とする。 <p>天井材の落下・剥がれ</p> <p>床のひび割れ</p> <p>床仕上げの剥がれ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年数を基準とし、経過年数で評価する。(対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備の更新 ・防災設備、放送設備など、単独設備の更新 (評価例) <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚室やコンピュータ室などの改修(整備)はしているが、他の部分は40年以上経過している場合は、C評価 <p>● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年数を基準とし、経過年数で評価する。(対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> ・部分的な修繕等 (評価例) <ul style="list-style-type: none"> ・給水配管の更新済みで、排水配管は40年以上経過している場合は、C評価 ・給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、D評価 </p> <p>建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・排気配管</p> <p>受水槽、高置水槽、浄化槽、各種ポンプ、屋外配管は、共用設備のため対象外とする。</p> <p>機械設備</p> |
|--|---|--|--|

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

② 老朽化状況の実態

現地の目視調査を踏まえた劣化状況による建物の健全度について、評価結果を以下に示します。

表 2-26：建物健全度評価結果（1）

| 建物基本情報 | | | | | | | | | | 構造躯体の健全性 | | | | 劣化状況評価 | | | | 備考 | | | | | | |
|--------|--------|-------|----------|------|----------|------|------|----|----|-----------------------|------|-----|-----|--------|----------|----------|--------------------------|--------------|-------|----|------|------|------|-------------|
| 通し番号 | 学校調査番号 | 施設名 | 建物名 | 棟番号 | 固定資産台帳番号 | 用途区分 | | 構造 | 階数 | 延床面積(m ²) | 建築年度 | | 築年数 | 耐震安全性 | 基準診断補強年度 | 調査年度(N年) | 圧縮強度(N/mm ²) | 長寿命化判定試験上の区分 | 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上 | 電気設備 | 機械設備 | 健全度(100点満点) |
| | | | | | | 学校種別 | 建物用途 | | | | 西暦 | 和暦 | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 1534 | 中平小学校 | 普通教室棟 | 1-1 | | 小学校 | 教室 | W | 2 | 2,332 | 2011 | H23 | 9 | 新 | - | - | - | 長寿命 | A | A | A | A | A | 100 |
| 2 | 1534 | 中平小学校 | 管理教室棟 | 1-2 | | 小学校 | 教室 | W | 1 | 598 | 2011 | H23 | 9 | 新 | - | - | - | 長寿命 | A | A | A | A | A | 100 |
| 3 | 1534 | 中平小学校 | 屋内運動場 | 14 | | 小学校 | 体育館 | RC | 1 | 617 | 1974 | S49 | 46 | 旧 | 済 | H20 | 25.9 | 長寿命 | A | B | C | C | - | 57 |
| 4 | 1534 | 中平小学校 | 特別教室棟 | 27-1 | | 小学校 | 教室 | RC | 2 | 196 | 1994 | H6 | 26 | 新 | - | - | - | 長寿命 | A | B | B | B | B | 77 |
| 5 | 1535 | 荖南小学校 | 教室棟・倉庫 | 1 | | 小学校 | 教室 | RC | 1 | 256 | 1956 | S31 | 64 | 旧 | 済 | H20 | 27.2 | 長寿命 | C | C | C | C | D | 36 |
| 6 | 1535 | 荖南小学校 | 管理教室棟 | 3 | | 小学校 | 教室 | RC | 2 | 509 | 1971 | S46 | 49 | 旧 | 済 | H20 | 22.3 | 長寿命 | C | C | C | C | D | 36 |
| 7 | 1535 | 荖南小学校 | 特別教室棟 | 7 | | 小学校 | 教室 | RC | 1 | 219 | 1975 | S50 | 45 | 旧 | 済 | H20 | 23.2 | 長寿命 | C | C | C | C | D | 36 |
| 8 | 1536 | 西野小学校 | 屋内運動場 | 7 | | 小学校 | 体育館 | RC | 1 | 532 | 1977 | S52 | 43 | 旧 | 済 | H20 | 25.8 | 長寿命 | A | A | A | A | A | 65 |
| 9 | 1536 | 西野小学校 | 管理棟 | 22-1 | | 小学校 | 教室 | W | 1 | 457 | 2019 | R1 | 1 | 新 | - | - | - | 長寿命 | A | A | A | A | A | 100 |
| 10 | 1536 | 西野小学校 | 不-1棟 | 22-2 | | 小学校 | 教室 | RC | 1 | 78 | 2019 | R1 | 1 | 新 | - | - | - | 長寿命 | A | A | A | A | A | 100 |
| 11 | 1536 | 西野小学校 | 普通・特別教室棟 | 22-3 | | 小学校 | 教室 | W | 1 | 823 | 2019 | R1 | 1 | 新 | - | - | - | 長寿命 | A | A | A | A | A | 100 |
| 12 | 1536 | 西野小学校 | 特別教室棟 | 22-4 | | 小学校 | 教室 | RC | 1 | 159 | 2019 | R1 | 1 | 新 | - | - | - | 長寿命 | A | A | A | A | A | 100 |
| 13 | 1537 | 大川小学校 | 特別教室棟 | 4 | | 小学校 | 教室 | RC | 1 | 208 | 1965 | S40 | 55 | 旧 | 済 | H20 | 20.8 | 長寿命 | C | C | C | C | D | 36 |
| 14 | 1537 | 大川小学校 | 屋内運動場 | 8 | | 小学校 | 体育館 | RC | 1 | 392 | 1980 | S55 | 40 | 旧 | 済 | H20 | 22 | 長寿命 | C | C | C | C | - | 40 |
| 15 | 1537 | 大川小学校 | 管理教室棟 | 18 | | 小学校 | 教室 | RC | 2 | 544 | 1998 | H10 | 22 | 新 | - | - | - | 長寿命 | A | B | B | B | B | 77 |
| 16 | 1538 | 島間小学校 | 普通・特別教室棟 | 12 | | 小学校 | 教室 | RC | 2 | 665 | 1973 | S48 | 47 | 旧 | 済 | H20 | 23.4 | 長寿命 | C | B | C | C | D | 46 |
| 17 | 1538 | 島間小学校 | 屋内運動場 | 17 | | 小学校 | 体育館 | RC | 1 | 593 | 1986 | S61 | 34 | 新 | - | - | - | 長寿命 | C | C | B | B | B | 62 |
| 18 | 1538 | 島間小学校 | 普通教室棟 | 23 | | 小学校 | 教室 | RC | 3 | 634 | 2000 | H12 | 20 | 新 | - | - | - | 長寿命 | C | C | B | B | B | 62 |
| 19 | 1539 | 平山小学校 | 管理・教室棟 | 4 | | 小学校 | 教室 | RC | 2 | 770 | 1968 | S43 | 52 | 旧 | 済 | H20 | 23.9 | 長寿命 | B | C | C | C | D | 49 |
| 20 | 1539 | 平山小学校 | 特別教室棟 | 7 | | 小学校 | 教室 | RC | 1 | 200 | 1974 | S49 | 46 | 旧 | - | - | - | 長寿命 | B | C | C | C | D | 49 |
| 21 | 1539 | 平山小学校 | 屋内運動場 | 10 | | 小学校 | 体育館 | RC | 1 | 550 | 1984 | S59 | 36 | 新 | - | - | - | 長寿命 | C | C | B | B | B | 62 |
| 22 | 1540 | 花崎小学校 | 教室棟 | 5 | | 小学校 | 教室 | RC | 1 | 265 | 1962 | S37 | 58 | 旧 | 済 | H20 | 17.3 | 長寿命 | C | C | C | C | D | 36 |
| 23 | 1540 | 花崎小学校 | 管理・特別教室棟 | 10 | | 小学校 | 教室 | RC | 1 | 300 | 1980 | S55 | 40 | 旧 | 済 | H20 | 26.7 | 長寿命 | A | C | C | C | D | 41 |
| 24 | 1540 | 花崎小学校 | 屋内運動場 | 11 | | 小学校 | 体育館 | RC | 1 | 490 | 1982 | S57 | 38 | 新 | - | - | - | 長寿命 | C | B | B | B | - | 72 |
| 25 | 1540 | 花崎小学校 | 特別教室棟 | 15 | | 小学校 | 教室 | RC | 1 | 63 | 1989 | H元 | 31 | 新 | - | - | - | 長寿命 | B | B | B | B | B | 75 |
| 26 | 1541 | 長谷小学校 | 管理・特別教室棟 | 11 | | 小学校 | 教室 | RC | 1 | 241 | 1980 | S55 | 40 | 旧 | 済 | H20 | 21 | 長寿命 | B | C | C | C | D | 49 |
| 27 | 1541 | 長谷小学校 | 屋内運動場 | 14 | | 小学校 | 体育館 | RC | 1 | 490 | 1983 | S58 | 37 | 新 | - | - | - | 長寿命 | C | C | B | B | B | 62 |
| 28 | 1541 | 長谷小学校 | 普通・特別教室棟 | 17 | | 小学校 | 教室 | RC | 1 | 673 | 1988 | S63 | 32 | 新 | - | - | - | 長寿命 | B | B | B | B | B | 75 |
| 29 | 1541 | 長谷小学校 | 特別教室棟 | 21 | | 小学校 | 教室 | RC | 1 | 140 | 1997 | H9 | 23 | 新 | - | - | - | 長寿命 | B | A | B | B | B | 82 |

建物情報一覧表

2020 基準

A:概ね良好 B:部分的に劣化 C:広範囲に劣化 D:緊急に対応する必要がある

表 2-26 : 建物健全度評価結果 (2)

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
 B : 部分的に劣化 D : 早急に対処する必要がある

2020 基準

■ : 築50年以上 □ : 築30年以上 基準

建物情報一覧表

| 通し 番号 | 学校 調査 番号 | 施設名 | 建物名 | 棟 番号 | 固定 資産 台帳 番号 | 用途区分 | | 構造 | 階数 | 延床 面積 (㎡) | 建築年度 | | 築年数 | 構造体の健全性 | | | | 劣化状況評価 | | | | 備考 | | |
|----------|----------------|----------------|----------------|---------|----------------------|--------|--------|----|----|-----------------|------|-----|-----|---------|-------|--------|-----------|--------|------------------|------------------|------------------|----|---------------------|--|
| | | | | | | 学校種別 | 建物用途 | | | | 西暦 | 和暦 | | 耐震安全性 | 長期安全性 | 長期寿命判定 | 屋根・ 屋上 | 外 壁 | 内 部 仕 上 | 電 気 設 備 | 機 械 設 備 | | 健全度 (100点 満点) | |
| 30 | 4914 | 南種子中学校 | 管理棟及び教室棟 | 1-1 | | 中学校 | 教室 | RC | 2 | 1,317 | 1994 | H6 | 26 | 新 | - | - | 長期寿命 | A | B | B | B | 77 | | |
| 31 | 4914 | 南種子中学校 | 教室棟 | 1-2 | | 中学校 | 教室 | RC | 2 | 1,516 | 1994 | H6 | 26 | 新 | - | - | 長期寿命 | A | B | B | B | 77 | | |
| 32 | 4914 | 南種子中学校 | 特別教室棟 | 1-3 | | 中学校 | 教室 | RC | 2 | 1,141 | 1994 | H6 | 26 | 新 | - | - | 長期寿命 | A | B | B | B | 77 | | |
| 33 | 4914 | 南種子中学校 | 旧観測 | 1-4 | | 中学校 | 教室 | RC | 4 | 25 | 1994 | H6 | 26 | 新 | - | - | 長期寿命 | B | B | B | B | 75 | | |
| 34 | 4914 | 南種子中学校 | 教室クラブハウス | 1-5 | | 中学校 | 教室 | RC | 1 | 150 | 1994 | H6 | 26 | 新 | - | - | 長期寿命 | A | B | B | B | 77 | | |
| 35 | 4914 | 南種子中学校 | 屋内運動場・屋体クラブハウス | 2 | | 中学校 | 体育館 | RC | 2 | 1,182 | 1994 | H6 | 26 | 新 | - | - | 長期寿命 | C | C | B | B | 60 | | |
| 36 | 4914 | 南種子中学校 | 教室・格技場 | 3 | | 中学校 | 武道場 | RC | 1 | 612 | 1994 | H6 | 26 | 新 | - | - | 長期寿命 | C | B | B | B | 72 | | |
| 37 | K050 | 南種子町立学校給食共同調理場 | 給食センター | 1 | | 給食センター | 給食センター | RC | 2 | 487 | 1979 | S54 | 41 | 旧 | - | - | 異調査 | B | C | C | C | D | 39 | |

小学校の対象建物、全 29 棟（校舎：22 棟，体育館：7 棟）のうち、校舎の健全度の平均値は 67 点、体育館の平均値は 60 点になります。校舎については健全度 50 点未満の建物は 8 棟となります。

中学校では全 7 棟（校舎：5 棟，体育館：1 棟，武道場：1 棟）の平均値は 74 点となり、健全度 50 点未満の建物はありません。

給食共同調理場は 39 点となり、健全度が 50 点未満となっています。

建築年と健全度の関係を見ると、1980 年（昭和 55 年）を境に、古くなるほど健全度が低くなっていき、新しくなるにつれて高くなっています。

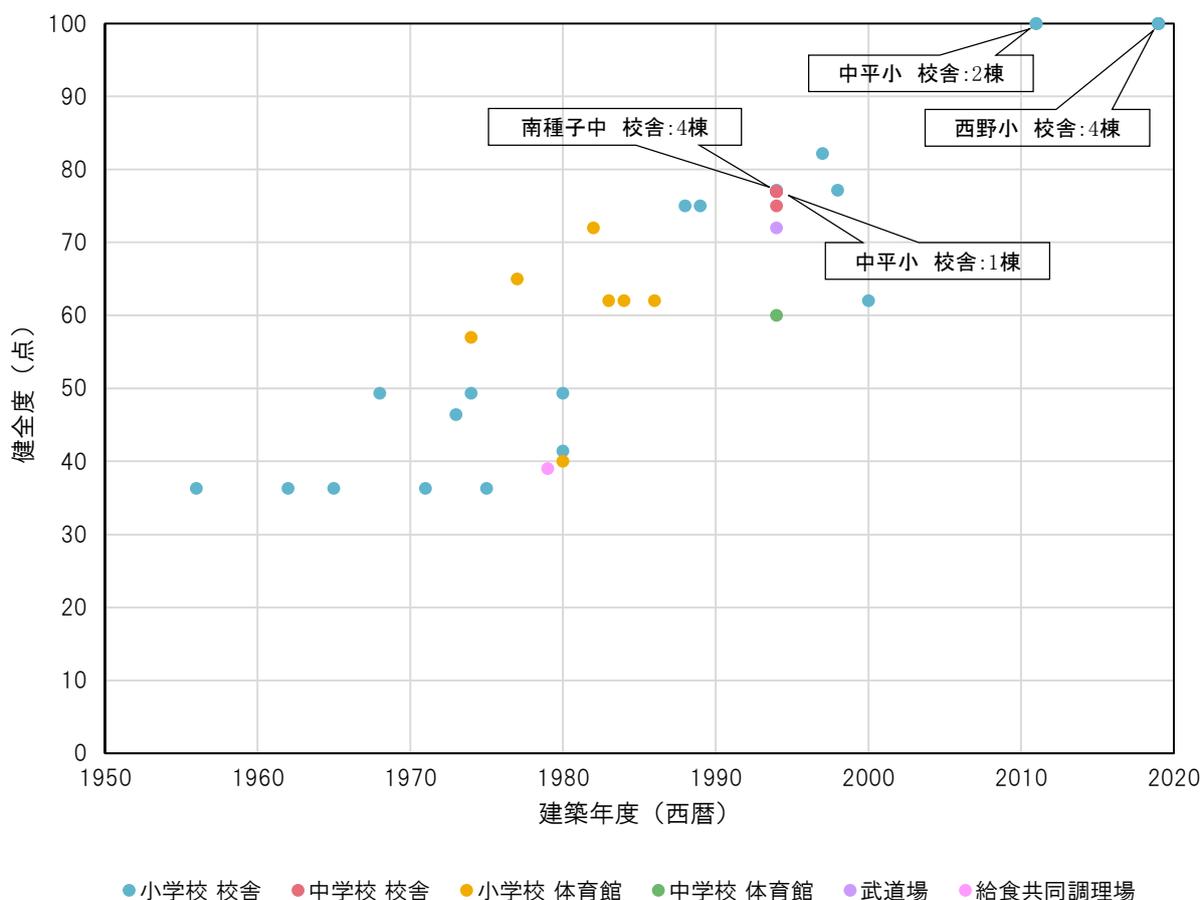


図 2-28：建築年と健全度の相関

(2) 学校施設等の老朽化所見

現地調査の結果、学校施設等の建物は以下のような老朽化状況がみられます。

① 小学校 校舎

全 22 棟のうち、建築後 40 年を経過した建物が約 4 割（健全度：50 点未満）を占め、これらについては、外壁等の補修工事等を実施することにより劣化の進行を低減させている状態です。また、築 40 年未満の建物は健全度 50 点以上であり、最も健全度の低い建物は島間小学校の棟番号 23（健全度：62 点）となっており、比較的良好な状態です。

② 中学校 校舎

南種子中学校の校舎は、全て平成 6 年（1994 年）に建築された築 30 年未満（健全度：75 点以上）の建物であるため、比較的良好な状態です。

③ 小学校 体育館

体育館のすべてが建築後 30 年を経過（全 7 棟のうち、2 棟は築 40 年以上）しており、外壁等の補修工事を実施していますが、屋根・屋上、外壁共に劣化が徐々に進行しています。

④ 中学校 体育館

南種子中学校の体育館は、平成 6 年（1994 年）に建築された築 30 年未満（健全度：60 点）の建物ですが、校舎と比較して屋根・屋上、外壁共に劣化が徐々に進行しています。

⑤ 中学校 武道場

南種子中学校の武道場は、平成 6 年（1994 年）に建築された築 30 年未満（健全度：72 点）の建物ですが、屋根・屋上の劣化が徐々に進行しているものの、同年に建築された中学校の体育館と比べて比較的良好な状態です。

⑥ 給食共同調理場

学校給食センターは築 40 年以上（健全度：39 点）を経過しており、屋根・屋上を除いた外壁や内部仕上げ、電気設備、機械設備に劣化が多くみられます。



第3章 学校施設等整備の基本方針

1. 学校施設の規模

本町の学校施設は、小学校のうち過小規模校7校、小規模校1校であり、中学校は小規模校に分類されます。児童・生徒数は引き続き減少傾向にあり、学校の小規模化がさらに進むことが予測されます。

表 3-1：学校別の児童数・生徒数、学級数（令和2年5月1日現在）

単位：人、クラス

| 小学校 | 中平小学校 | 荃南小学校 | 西野小学校 | 大川小学校 |
|-----------|--------|---------|--------|--------|
| 児童数(宇宙留学) | 160 | 42 (15) | 35 (5) | 14 (8) |
| 学級数(特別支援) | 8 (2) | 5 | 5 (2) | 3 |
| 小学校 | 島間小学校 | 平山小学校 | 花峰小学校 | 長谷小学校 |
| 児童数(宇宙留学) | 36 (5) | 16 (6) | 11 (6) | 27 (6) |
| 学級数(特別支援) | 5 (1) | 3 | 3 | 4 |

資料：南種子町

単位：人、クラス

| 中学校 | 南種子中学校 |
|-----------|---------|
| 生徒数(宇宙留学) | 123 (5) |
| 学級数(特別支援) | 5 (1) |

資料：南種子町

表 3-2：学校別の学級数による分類

| | 過小規模校 5学級以下 | 小規模校 6～11学級 | 適正規模校 12～18学級 | 大規模校 19～30学級 | 過大規模校 31学級以上 |
|-----|---|----------------|------------------|-----------------|-----------------|
| 小学校 | 荃南小学校 西野小学校 大川小学校 島間小学校 平山小学校 花峰小学校 長谷小学校 | 中平小学校 | — | — | — |
| | 過小規模校 2学級以下 | 小規模校 3～11学級 | 適正規模校 12～18学級 | 大規模校 19～30学級 | 過大規模校 31学級以上 |
| 中学校 | — | 南種子中学校 | — | — | — |

2. 改修等の基本的な方針

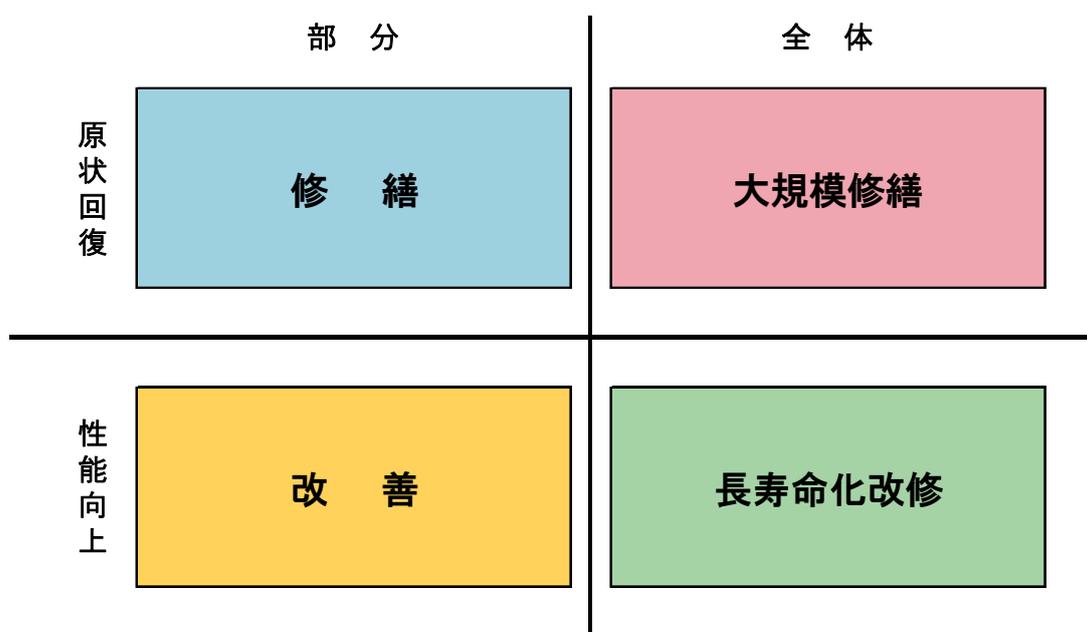
本町の学校施設等や設備の老朽化、不具合などの実態を踏まえ、「学校施設等の目指すべき姿」を持続的に実現していくための基本方針を次のように設定します。

(1) 長寿命化の方針

本町の学校施設等を整備していくにあたり、建物の老朽化に伴う維持管理コストが課題となります。本計画を策定するには、財政面を考慮した上での中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減、予算の平準化を実現するための対策が重要になっています。それには、建物を将来にわたって長く使い続けるために耐用年数を延ばすことを目的とした長寿命化改修があります。

一般に改修と言っても内容は様々であり、対象は部分なのか全体なのか、また改修内容は元に戻すだけなのか、機能や性能を上げるものなのかで4つの概念に整理されます。

「長寿命化改修」は建物全体を改修し、併せて性能向上を伴うものとなります。



出典：学校施設の長寿命化改修の手引き（文部科学省）

ただし、中には次のような長寿命化に適さない施設もあります。

- 劣化が激しく、改修に多額の費用がかかるため、改築した方が経済的に望ましい施設
- 改築までの期間が短く、長寿命化改修を行うと維持に係る費用が高くなる施設
- コンクリート強度が著しく低い施設（おおむね 13.5N/mm²以下）
- 校地環境または周辺環境の安全性が欠如している施設
- 学校の適正配置など地域の実情により改築せざるを得ない施設

長寿命化改修では、基本的に建物の耐久性向上、建物の性能や機能を向上させるために工事をを行います。内容として以下のようなものが挙げられます。

表 3-3：長寿命化改修工事の内容例

| | | |
|-------|-----------------------|-----------------------------|
| 耐久性向上 | 構造躯体の経年劣化を回復するもの | |
| | 耐久性に優れた仕上材へ取り替えるもの | |
| | コンクリートの中酸化対策や鉄筋の腐食対策等 | |
| | 劣化に強い塗装・防水材等の使用 | |
| | 維持管理や設備更新の容易性を確保するもの | |
| | 水道、電気、ガス等のライフラインの更新 | |
| 性能向上 | 安全・安心な施設環境を確保するもの | ◇ 耐震対策（非構造部材を含む） |
| | | ◇ 防災機能の強化 |
| | | ◇ 事故防止・防犯対策 など |
| | 教育環境の質的向上を図るもの | ◇ 近年の多様な学習内容・学習形態への対応 |
| | | ◇ 今後の学校教育や情報化の進展に対応可能な柔軟な計画 |
| | | ◇ 省エネルギー化・再生可能エネルギーの活用 |
| | | ◇ バリアフリー化 |
| | | ◇ 木材の活用 など |
| | 地域コミュニティの拠点形成を図るもの | ◇ 防災機能の強化 |
| | | ◇ バリアフリー化 |
| | | ◇ 地域住民の利用を考慮した教室等の配置の変更 など |
| | | |

出典：学校施設の長寿命化改修の手引き（文部科学省）

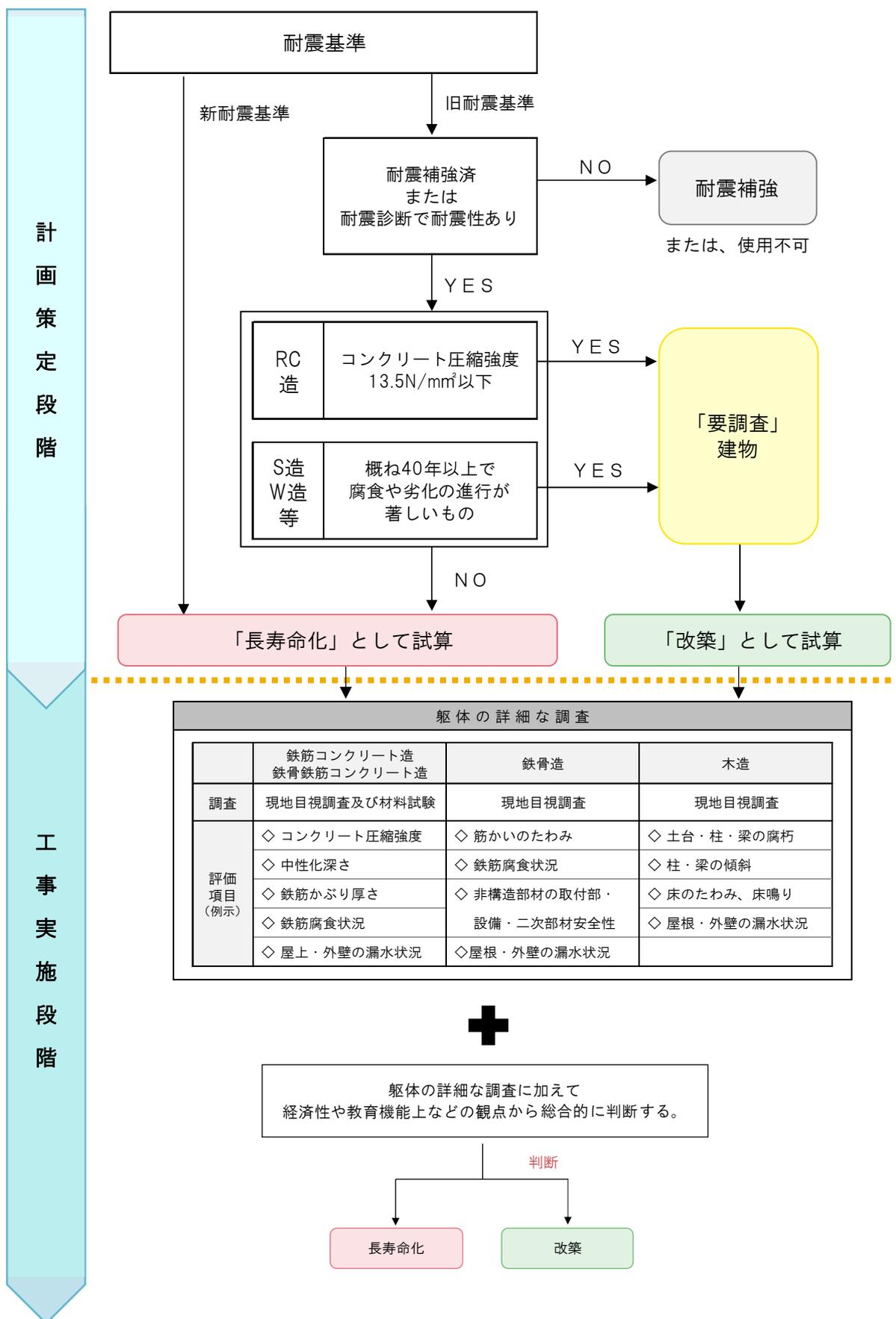
さらに、改築と長寿命化改修には、それぞれ次のようなメリットとデメリットがあります。長寿命化改修の方が費用を大幅に縮減しつつ、改築と同等の効果が期待でき、費用対効果は非常に大きくなります。

表 3-4：改築と長寿命化改修のメリット・デメリット

| | メリット | デメリット |
|--------|---|--|
| 改築 | ◇ 設計や施工上の制約が少ない。 （高層化や地下階の拡大が容易に可能、設計や施工は比較的容易、耐震基準、法規などについては最新のものに対応は容易。） | ◆ 廃棄物が大量に発生する。 ◆ 既存建物の解体と廃棄に費用と時間がかかる。 ◆ 工事に時間と費用がかかる。 |
| 長寿命化改修 | ◇ 工期の短縮、工事費の縮減ができる。 ◇ 廃棄物が少ない。 | ◆ 設計及び施工上の制約が多い。 （柱・耐力壁などの既存躯体を利用するため、間取りの変更に制約が生じる場合がある。計画には十分な検討が必要。） |

出典：学校施設の長寿命化改修の手引き（文部科学省）

◇ 長寿命化の判定フロー



出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

(2) 予防保全の方針

施設をできる限り長く使用するため、適切な維持管理を行っていくことが重要であり、そのための整備方法として「事後保全」と「予防保全」の2つがあります。

「事後保全」は老朽化による劣化・破損等の大規模な不具合が生じた後に修繕等を行うもので、従来の施設管理の多くで行われていました。一方、「予防保全」は、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施することで機能・性能の保持・回復を図り、これにより突発的な事故が減少し、多額の費用の発生を抑えることができます。また、「予防保全」では、計画的な修繕を行うことで、施設に不具合が生じる前にメンテナンスを施し、従来の「事後保全」での整備と比較して施設を長く使用することができます。したがって、学校施設等の整備は、今後「事後保全」から「予防保全」への転換を図る必要があります。

表 3-5：学校施設等の保全

| | |
|---------|---|
| 保 全 | 建物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性質や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断・改修等がある。 |
| 事 後 保 全 | 老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う事後的な保全のこと。 |
| 予 防 保 全 | 損傷が軽微である早期段階から、機能・性能の保持・回復を図るために修繕等を行う予防的な保全のこと。なお、あらかじめ周期を決めて計画的に修繕等を行う保全のことを「計画保全」という。 |

(3) 目標使用年数の設定

学校施設等の鉄筋コンクリート造建物の法定耐用年数は47年となっていますが、これは税務上、減価償却を算定するために設定されたものです。構造物としての物理的な耐用年数はこれよりも長くなっています。社団法人日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」では、建築物全体の望ましい目標使用年数として、鉄筋コンクリート造の学校の場合、普通品質で50～80年、高品質では80～100年とされています。

これを踏まえ、学校施設等の目標使用年数は、公共建築物長寿命化指針で示される70～80年を基本として設定します。なお、各施設の建築時期は、財政負担の関係上、学校施設全体の事業量について平準化を図る必要があるため、目標使用年数70～80年から若干前後させる設定も必要となる場合があります。

また、鉄骨造建物については、技術的な耐用年数の目安は特にありませんが、鉄骨構造における防錆やボルトの締め付け力が維持される限り使用可能であると想定し、鉄筋コンクリート造建物と同等の年数とします。

表 3-6：建物用途・構造に応じた望ましい目標耐用年数の級

| 用途 | 構造種別 | 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 | | 鉄骨造 | | | ブロック造 れんが造 | 木造 |
|-----------|------|--------------------------|--------------|------------|--------------|-------|---------------|-------|
| | | 高品質 の場合 | 普通の 品質の場合 | 重量鉄骨 | | 軽量鉄骨 | | |
| | | | | 高品質 の場合 | 普通の 品質の場合 | | | |
| 学校・官庁 | | Y100以上 | Y60以上 | Y100以上 | Y60以上 | Y40以上 | Y60以上 | Y60以上 |
| 住宅・事務所・病院 | | Y100以上 | Y60以上 | Y100以上 | Y60以上 | Y40以上 | Y60以上 | Y40以上 |
| 店舗・旅館・ホテル | | Y100以上 | Y60以上 | Y100以上 | Y60以上 | Y40以上 | Y60以上 | Y40以上 |
| 工場 | | Y40以上 | Y25以上 | Y40以上 | Y25以上 | Y25以上 | Y25以上 | Y25以上 |

表 3-7：級に応じた目標耐用年数の区分

| | 目標耐用年 | | |
|------|-------|----------|------|
| | 代表値 | 範囲 | 下限 |
| Y150 | 150年 | 120～200年 | 120年 |
| Y100 | 100年 | 80～100年 | 80年 |
| Y60 | 60年 | 50～80年 | 50年 |
| Y40 | 40年 | 30～50年 | 30年 |
| Y25 | 25年 | 20～30年 | 20年 |

出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

(4) 改修周期の設定

学校施設等整備の方針を、改築が中心の整備から長寿命化を図る方向へと転換し、あらかじめ設定した目標使用年数まで使用することを目標に、適切な時期に改修を行います。

今までの改築中心では、劣化や破損等の大規模な不具合が生じた際に改修（事後保全的な改修）を行い、目標とする使用年数で改築します。一方、長寿命化では、築20年経過後に原状回復のための改修（予防保全的な改修）を行い、目標使用年数の中間期（概ね40年後）に長寿命化改修を実施し、その後、改築までの期間に再度原状回復のための改修を行うことになります。

このように定期的に必要な改修を行うことで経年による劣化状況の回復だけでなく、学校施設等の機能・性能の低下を長期間放置することなく、社会的に必要とされる多様な学習形態の水準まで引き上げることができるようになります。

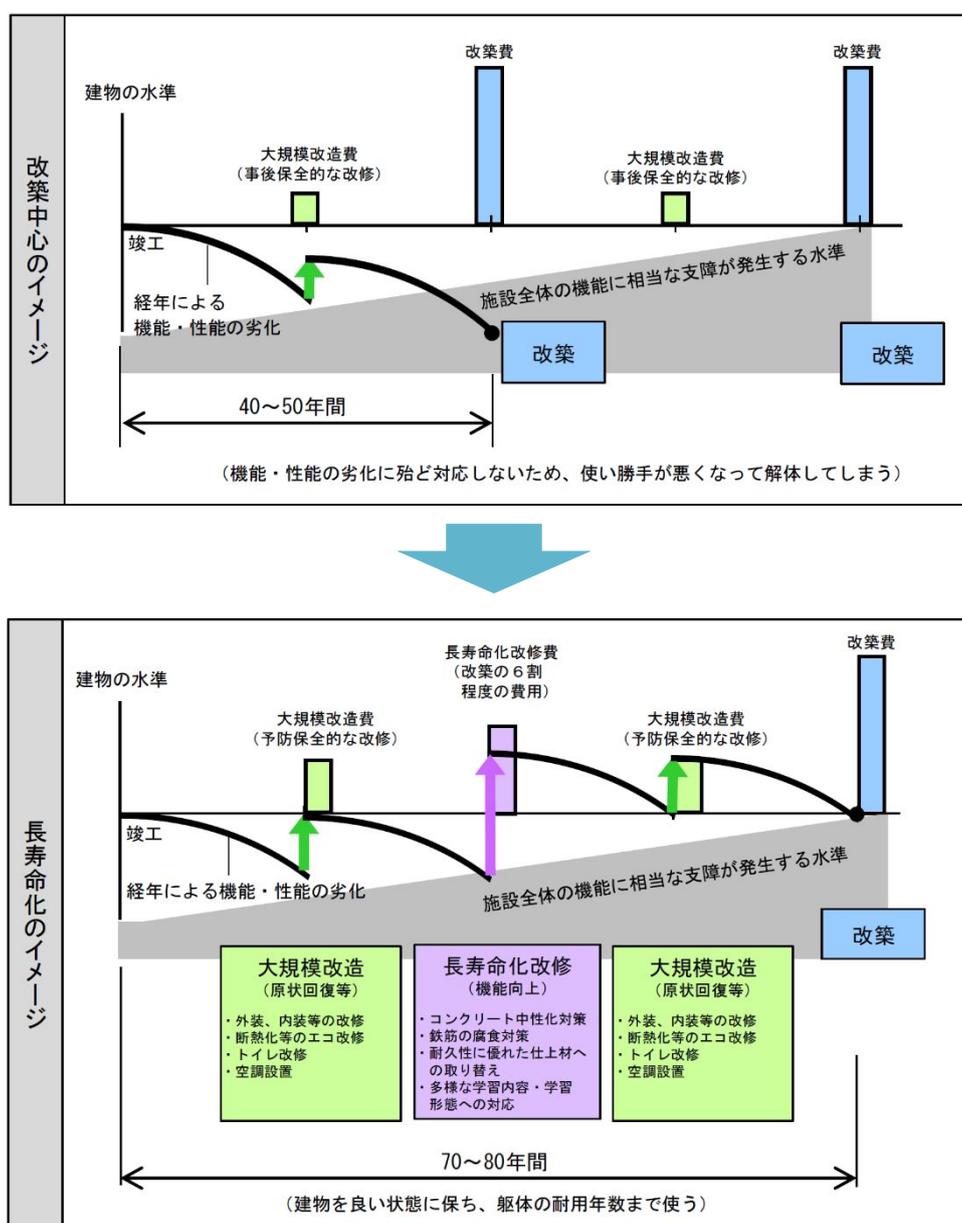


図 3-1：改築中心から長寿命化への転換イメージ

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）



第4章 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準

1. 改修等の整備水準

長寿命化改修にあたっては、単に建築時の状態に戻すのではなく、「安全面・耐用性」「機能性・快適性」「環境面」を確保するための改修を行います。

「安全性・耐用性」「機能性・快適性」の改修では、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高め、維持管理コストの縮減、計画的な支出による財政の平準化を図ります。また、「環境面」の改修では多様な学習形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的な要請に応じるための改修を行います。

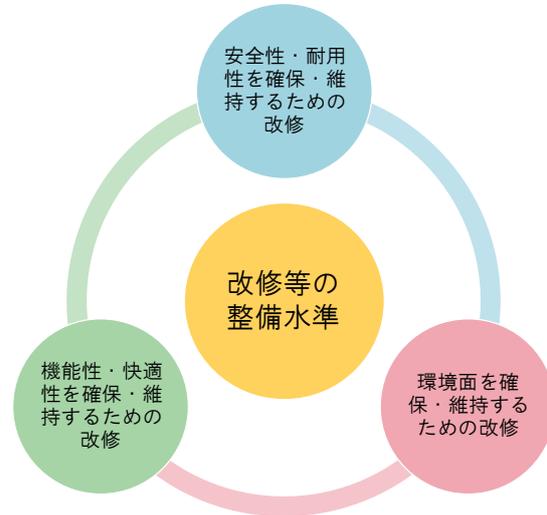


図 4-1：整備水準の考え方

表 4-1：改修工事等における整備内容例

| 項目 | 整備内容 |
|--|--|
| 安全性・耐用性を確保・維持するための改修 構造体の長寿命化や内外装仕上等の改修、設備更新や必要な防災・防犯機能の付加等 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 外装（屋上防水、外壁仕上材、躯体のクラック、鉄筋、浮き補修等） ◇ 屋上・屋根（防水改修等） ◇ 内装（床、壁、天井、間仕切り等） ◇ 非構造部材の耐震対策 ◇ 防災機能 ◇ 防犯対策・事故防止対策 |
| 機能性・快適性を確保・維持するための改修 機能性や快適性等、学校生活の場として必要な環境の確保・維持や必要な社会ニーズに応じた機能付加等 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 受変電、照明設備等更新 ◇ 設備（空調、給排水等） ◇ ICT 設備 ◇ バリアフリー対応（段差の解消等） ◇ トイレ改修（洋式化、乾式化） |
| 環境面を確保・維持するための改修 断熱や遮音等による環境面の向上や省エネ化によるコスト削減等 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 断熱性能の向上（壁、開口部等） ◇ 遮音性能の向上（壁、開口部等） ◇ 設備の高効率化（LED 化、エアコン設置等） |

長寿命化改修では、整備水準を高めるほどコストは高くなりますが、建物性能の向上により建物寿命が延びたり、設備機能の向上により光熱水費の縮減につながります。

以下に示す整備水準において、Aレベルは省エネ型で整備水準が最も高く、Cレベルは従来の整備水準にほぼ相当します。

整備水準のBレベルを基本レベルとして設定しますが、現在の仕様、建物の劣化状況、改修内容等により整備水準を柔軟に変更します。また、ライフサイクルにおけるコストの試算を行い、予算の見通しを踏まえた整備水準の設定を行います。

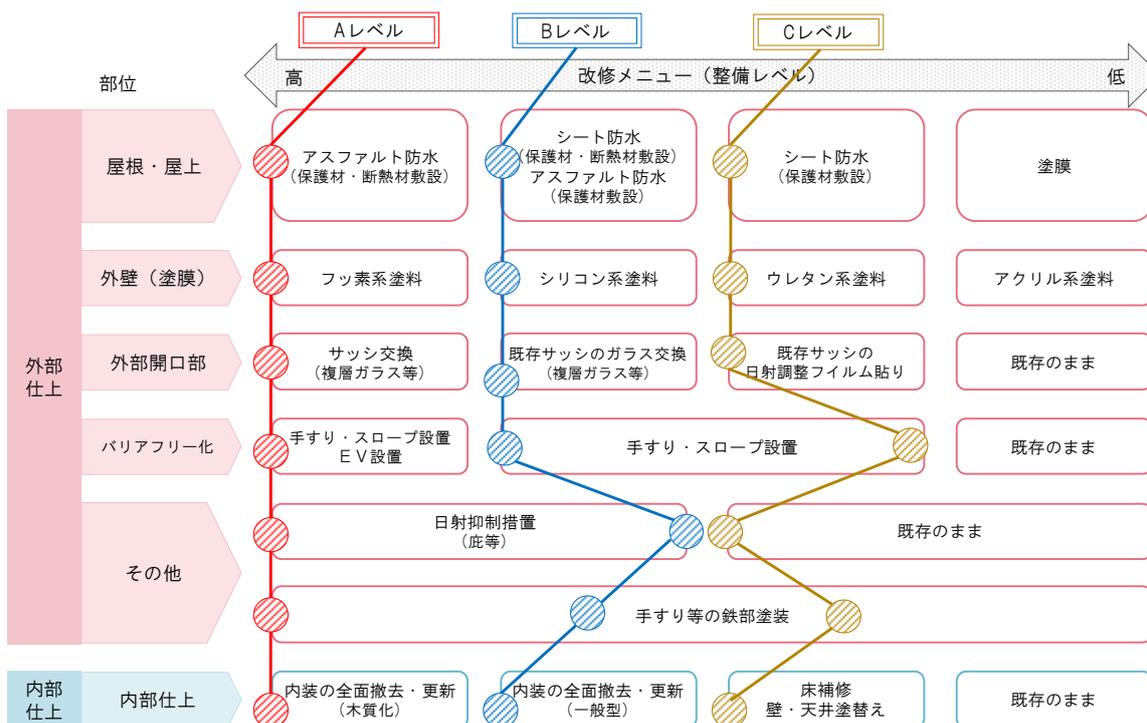


図 4-2：校舎・体育館等の整備水準

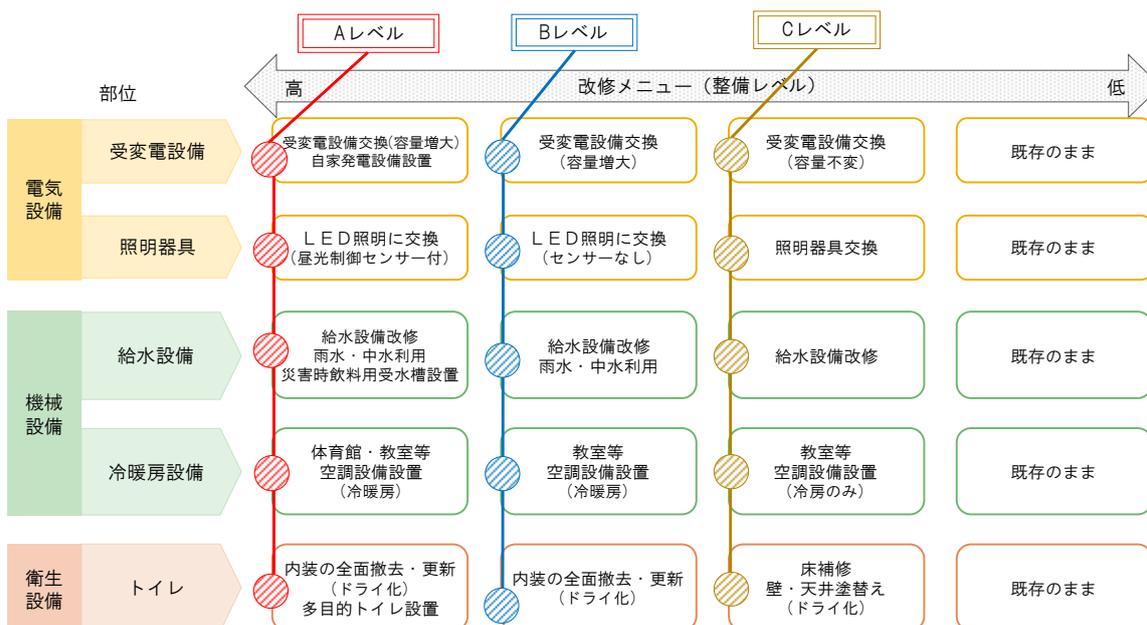


図 4-3：主要な設備の整備水準

2. 維持管理の項目・手法等

(1) 維持管理の必要性

学校施設は、児童・生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には避難所として地域住民の避難生活の拠点としての役割も担うものであるため、平常時だけでなく災害時においても十分な安全性・機能性を有することが求められます。

しかし、建築当初には確保されているこれらの性能も、経年劣化等により必要な性能を満たさなくなっているおそれがあることから、学校施設等の管理者においては、当該施設が常に健全な状態を維持できるよう、法令等（建築基準法、消防法等）に基づいて定期的に点検を行い、必要な修理・修繕等を速やかに実施し、適切に維持管理を行っていくことが必要です。

また、学校施設等を適切に維持管理するためには、施設の管理者と学校の教職員等がそれぞれの立場に応じて点検等を行うことが重要です。

(2) 維持管理の項目

施設の維持管理については、関係者が日常的に点検を行い、建物の劣化状況等を早い段階で把握できるようにするとともに、建築基準法等に基づいて、「定期的な点検の実施」と「点検結果に基づく必要な修繕等」を行うことが義務付けられています。

「定期的な点検の実施」は、建築基準法や消防法に基づき定められた点検項目等について、専門的な知識を持った有資格者により、一定の期間ごとに点検を実施することとなります。

表 4-2：建築基準法に基づく法定点検

| 点検する項目 | | 点検内容 | 点検する項目 | 点検内容 |
|-----------|-----------|---------|--------------|----------|
| A. 敷地及び地盤 | | | D. 建築物の内部 | |
| 地盤 | 不陸、傾斜等 | | 天井 | 劣化・損傷 |
| 敷地 | 排水 | | 防火設備 | 劣化・損傷 |
| 敷地内通路 | 通路の確保、支障物 | | 照明器具、懸垂物等 | 劣化・損傷 |
| 塀 | 劣化・損傷 | | 居室の採光及び換気 | 劣化・損傷、作動 |
| 擁壁 | 劣化・損傷 | | E. 避難施設等 | |
| B. 建築物の外部 | | | 居室から地上への通路 | 基準適合性 |
| 基礎・土台 | 劣化・損傷、沈下 | | 廊下、出入口 | 物品放置 |
| 外壁 | 躯体等 | 劣化・損傷 | 避難上有効なバルコニー | 劣化・損傷 |
| | 外装仕上材 | 劣化・損傷 | 階段 | 劣化・損傷 |
| | 窓サッシ等 | 劣化・損傷 | 排煙設備等 | 防煙壁 |
| C. 屋上及び屋根 | | 排煙設備 | | 作動、排煙口 |
| 屋上面、屋上周り | 劣化・損傷 | 非常時の設備等 | 進入口等 | 維持保全 |
| 機器及び工作物 | 劣化・損傷 | | 照明装置 | 劣化・損傷 |
| D. 建築物の内部 | | | F. その他 | |
| 防火区画 | 劣化・損傷 | | 特殊構造等（免震構造等） | 劣化・損傷 |
| 内壁 | 劣化・損傷 | | 避雷設備 | 劣化・損傷 |
| 床 | 劣化・損傷 | | 煙突 | 劣化・損傷 |

また、日常的に維持管理を行うことで、建物の劣化状況を詳細に把握できるとともに、より早く異常に気付くことができるため、施設の状況に応じた維持、予防保全による改修の内容や時期の検討が早期に可能となります。

表 4-3：維持管理のための点検

| 点検分野 | 項目 | 内 容 | 期間 | 点検者 |
|----------------|------|--|----------------------------|-------|
| 日常的な維持管理のための点検 | 清掃 | ◇ 汚れを除去、汚れを予防することにより仕上材を保護し、快適な環境に保つための作業 | 毎日 | 各学校 |
| | 保守 | ◇ 点検結果に基づき、建築物等の機能の回復又は危険の防止のために行う消耗部品の交換、注油、塗装、その他これらに類する軽微な作業 | 毎日 | 各学校 |
| | 日常点検 | ◇ 目視、聴音、触接等の簡易な方法により、巡回しながら日常的に行う点検 ◇ 機器及び設備について、異常の有無、兆候を発見 | 毎月 | 各学校 |
| 定期的な維持管理のための点検 | 自主点検 | ◇ 機器及び設備の破損、腐食状況を把握し、修理・修繕等の保全計画の作成 | 1年 | 教育委員会 |
| | 法定点検 | ◇ 自主点検では、確認できない箇所や法的に定められた箇所に関して専門業者により点検 ◇ 当該点検を実施するために、必要な資格又は特別な専門知識を有する者が定期的に行う点検 | 建築物 3年 設備等 1年 | 教育委員会 |
| 臨時的な維持管理のための点検 | 臨時点検 | ◇ 日常、定期点検以外に行う臨時的な点検 ◇ 建築物等の部分について、損傷、変形、腐食、異臭、その他の異常の有無を調査し、保守又はその他の措置が必要か否か判断 | 随時 | 各学校 |

(3) 点検・評価結果の蓄積

施設の予防保全管理に日常的に取り組む上で、建物の定期的な点検により老朽化の状況を把握し、改修履歴を含めた施設の情報データベース化して随時更新していくことにより、長寿命化を図るための大規模改修を計画的かつ円滑に行うように努めます。

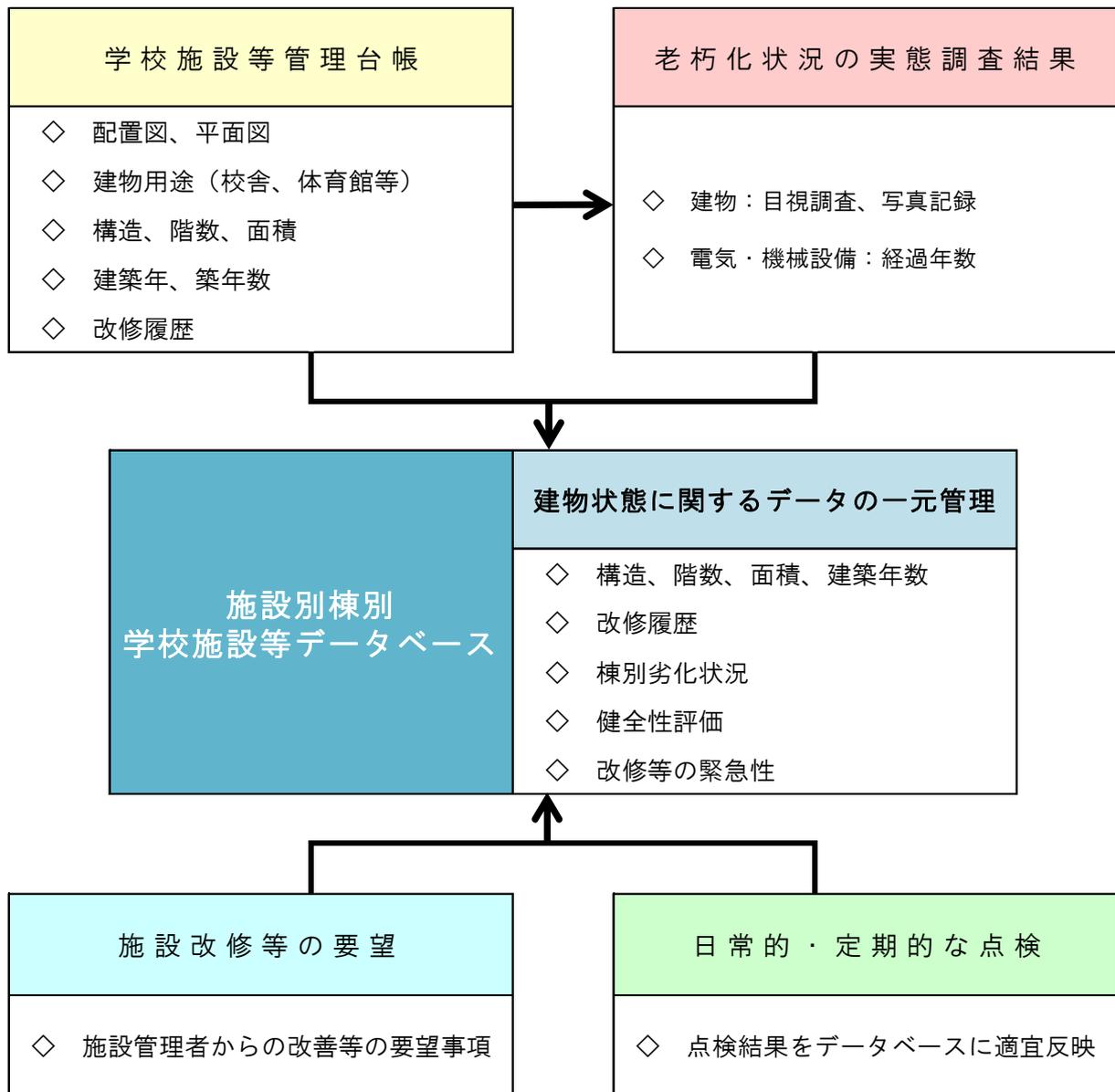


図 4-4：点検・評価結果のデータベース化（イメージ）



第5章 長寿命化の実施計画

1. 施設評価及び優先順位

(1) 施設評価

延床面積 200 m²以上（主施設は 200 m²以下でも対象）の小学校 29 棟、中学校 7 棟、学校給食共同調理場 1 棟の合計 37 棟の建物に対して劣化状況評価を行っています。

劣化等が進み健全度が 50 点未満となっている建物は 9 棟あり、健全度の低い方から並べると次のようになります。

表 5-1：健全度 50 点未満の建物

| 順位 | 施設名 | 建物名 | 棟番号 | 構造 | 階数 | 延床面積 (m ²) | 西暦 | 築年数 | 健全度 (点) |
|----|-----------|----------|-----|----|----|------------------------|------|-----|---------|
| 1 | 荃南小学校 | 教室棟・倉庫 | 1 | RC | 1 | 256 | 1956 | 63 | 36 |
| 2 | 荃南小学校 | 管理教室棟 | 3 | RC | 2 | 509 | 1971 | 48 | 36 |
| 3 | 荃南小学校 | 特別教室棟 | 7 | RC | 1 | 219 | 1975 | 44 | 36 |
| 4 | 大川小学校 | 特別教室棟 | 4 | RC | 1 | 208 | 1965 | 54 | 36 |
| 5 | 花峰小学校 | 教室棟 | 5 | RC | 1 | 265 | 1962 | 57 | 36 |
| 6 | 学校給食共同調理場 | 給食センター | 1 | RC | 2 | 467 | 1979 | 40 | 39 |
| 7 | 島間小学校 | 普通・特別教室棟 | 12 | RC | 2 | 668 | 1973 | 46 | 46 |
| 8 | 平山小学校 | 管理・教室棟 | 4 | RC | 2 | 770 | 1968 | 51 | 49 |
| 9 | 平山小学校 | 特別教室棟 | 7 | RC | 1 | 200 | 1974 | 45 | 49 |

(2) 改修等の優先順位

経過年数が健全度に影響することから、改修等を行う建物は、現段階で健全度の低い建物かつ建築年の古い建物から順次行うことを基本とし、健全度 50 点未満の建物を優先して整備を推進します。

また、健全度が 50 点以上の建物についても、劣化状況調査で部位別に C 評価または D 評価があるものは、今後 10 年以内を目標に部位修繕を計画します。

2. ライフサイクルコストの算定

現在の学校施設等を今後も保有し続け、改修を行いながら耐用年数経過後に現在と同じ規模で改築した場合（事後保全型の維持・管理）と、適切な時期に長寿命化改修を行って計画的に施設の長寿命化を図った場合（予防保全型の維持・管理）について、国のライフサイクルコスト（以下、LCC※）算出の考え方にに基づき算出します。

LCCの算出は、長寿命化改修を実施せず建築後50年で改築する場合と、長寿命化改修を実施し建築後80年で改築する場合のそれぞれについて、当初の建築時点から次回の改築までに要するコストについて比較・検討しています。

学校施設等のコスト試算にあたっては、校舎、体育館・武道場、給食センターについて、下表の単価設定に基づいて行いました。

表 5-2：改築単価の設定根拠

| 分類 | 工事費 (円) | 延床面積 (㎡) | 改築単価 (円/㎡) |
|-----------------|---|----------------------------|---|
| 校舎 | 町実績：2019年度 西野小学校校舎改築工事 | | |
| | 518,000,000 | 1,561 | = 331,839 ≒ 332,000 (円/㎡) |
| 体育館 ・ 武道館 | 参考：国土交通省 「建築着工統計調査：第3表 着工建築物 用途別、構造別（建築物の数、床面積の合計、工事予定額）」 鹿児島県の鉄筋コンクリート造（RC造）の「学校の校舎」平成26年度～平成30年度 | | |
| | （平成26～30年度 予定総額） 25,594,180,000 | （平成26～30年度 面積合計） 96,692 | = 264,698 ≒ 265,000 (円/㎡) |
| 給食 センター | 他自治体における実績事例（西之表市学校給食センター建築工事：H14年3月竣工） | | |
| | 685,623,000 | 1,401 | （消費税率・デフレーター考慮） = 624,747 ≒ 625,000 (円/㎡) |

※ LCCとは、建築物の企画設計段階、建設段階、運用管理段階及び解体再利用段階の各段階のコスト（費用）の総計のこと。

- ◇ 長寿命化型改善を実施しない場合 → コストは小さいが、使用年数は短い
- ◇ 長寿命化型改善を実施した場合 → コストは大きいですが、使用年数は長い

前頁で設定した改築単価を基に、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」（以下、「付属エクセルソフト」という）の割合を使用して、以下のよう
 に各施設の単価を設定しています。また、改築、長寿命化改修、大規模改造などコスト試算
 の条件設定を行っています。

表 5-3：試算のための単価設定

| | 校舎 | | 体育館・武道館 | | 給食センター | | |
|--------|--------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|
| | 割合 | 設定単価 | 割合 | 設定単価 | 割合 | 設定単価 | |
| 改築 | 100.0% | 332,000 円/㎡ | 100.0% | 265,000 円/㎡ | 100.0% | 625,000 円/㎡ | |
| 長寿命化改修 | 60.0% | 199,200 円/㎡ | 60.0% | 159,000 円/㎡ | 60.0% | 375,000 円/㎡ | |
| 大規模改造 | 25.0% | 83,000 円/㎡ | 22.0% | 58,300 円/㎡ | 25.0% | 156,250 円/㎡ | |
| 部位修繕 | 屋根・屋上 | 3.5% | 11,620 円/㎡ | 3.0% | 7,950 円/㎡ | 3.5% | 21,875 円/㎡ |
| | 外壁 | 5.1% | 16,932 円/㎡ | 3.5% | 9,275 円/㎡ | 5.1% | 31,875 円/㎡ |
| | 内部仕上 | 5.6% | 18,592 円/㎡ | 5.6% | 14,840 円/㎡ | 5.6% | 35,000 円/㎡ |
| | 電気設備 | 4.0% | 13,280 円/㎡ | 4.8% | 12,720 円/㎡ | 4.0% | 25,000 円/㎡ |
| | 機械設備 | 3.7% | 12,284 円/㎡ | 1.7% | 4,505 円/㎡ | 3.7% | 23,125 円/㎡ |

表 5-4：コスト試算条件

| | 事後保全型（従来型） | 予防保全型（長寿命化型） |
|--------|----------------------------------|--------------------|
| 基準年度 | 令和 2（2020）年度 試算期間：基準年度の翌年度から40年間 | |
| 改築 | 50年 | 長寿命化80年（50年+30年） |
| 長寿命化改修 | — | 築40年目 |
| 大規模改造 | 20年 | 築20年目 |
| 部位修繕 | — | C評価：10年以内 D評価：5年以内 |

※ コスト試算条件は付属エクセルソフトのプログラムで設定されている

前述の条件に基づき、付属エクセルソフトを使用して、今後40年間の事後保全型(従来型)と予防保全型(長寿命化型)の維持・更新コストを算出しました。

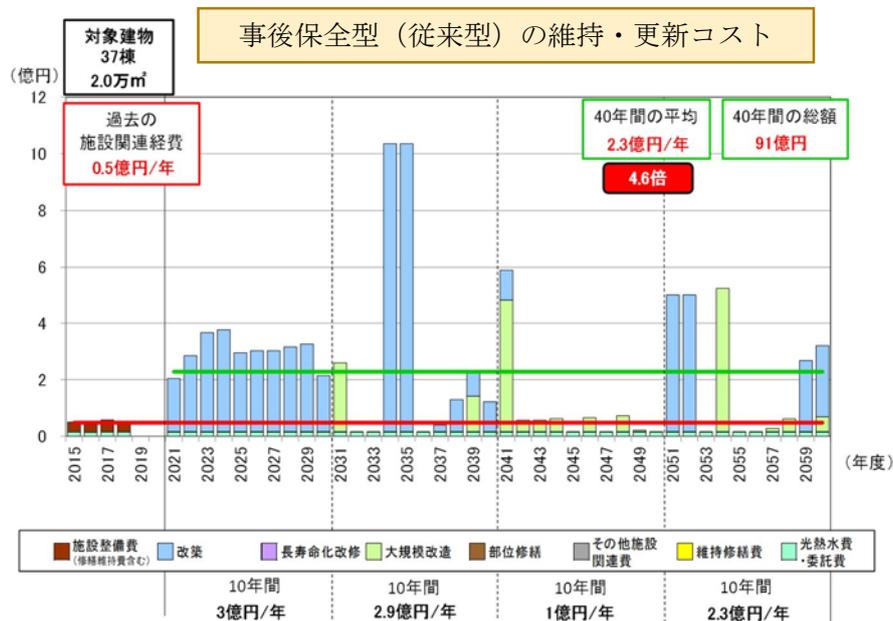


図 5-1：今後の維持・更新コスト（従来型）

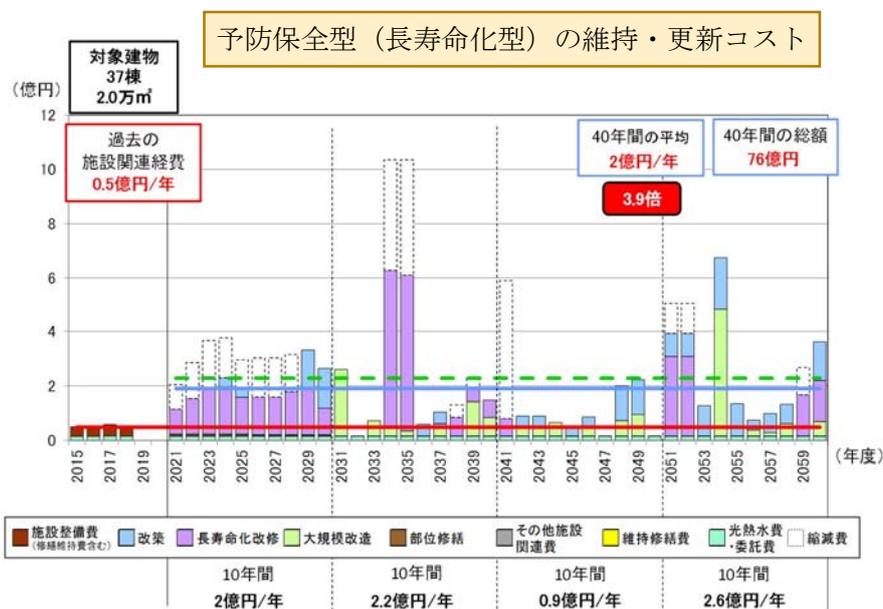


図 5-2：今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

※ 計算上の理由により、10年間の平均コストの合計と40年間の総額は必ずしも一致しない

※ 2021年以降の「その他施設関連費」「維持修繕費」「光熱水費・委託費」は、2015年～2018年の平均額としている

◇ 2021年～2030年までのコスト算出の考え方

| 工種 | 内容 |
|--------|---|
| 改築 | 2021年の時点で改築及び長寿命化改修の実施年数より古い建物は、今後10年以内に改築又は長寿命化を実施するものとし、該当コストの10分の1の金額を10年間計上 |
| 長寿命化改修 | 2021年の時点でC評価の部位：今後10年以内に修繕するものとし、該当コストの10分の1の金額を10年間計上 |
| 部位修繕 | 2021年の時点でD評価の部位：今後5年以内に修繕するものとし、該当コストの5分の1の金額を5年間計上 |

※以上の内容は付属エクセルソフトのプログラムで設定されている

事後保全型（従来型）の維持・更新を行った場合、40年間の累計で91億円の費用が発生し、年平均で約2.3億円が必要となります。

一方、予防保全型（長寿命化型）で維持・更新を行った場合、40年間の累計で76億円の費用が発生し、年平均で約2.0億円が必要となり、事後保全型よりも15億円（年間0.3億円）の費用を縮減することが出来ます。

以上のことにより、事後保全型から予防保全型に移行することで、コストの削減を図ることが出来ます。

表 5-5：維持・更新コストの比較

| | 2021～2030 | 2031～2040 | 2041～2050 | 2051～2060 | 40年間合計 | 40年間平均 |
|------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|----------|
| 事後保全型 （従来型） | 21億円 | 23億円 | 30億円 | 9億円 | 83億円 | 2.1億円/年 |
| 予防保全型 （長寿命化型） | 20億円 | 22億円 | 9億円 | 26億円 | 76億円 | 2.0億円/年 |
| 差 額 | ▲1億円 | ▲ 1億円 | ▲ 21億円 | 17億円 | ▲7億円 | ▲0.1億円/年 |

※ 計算上の理由により、10年間の平均コストの合計と40年間の総額は必ずしも一致しない

3. 事業計画策定

(1) 今後 10 年間の事業計画

本計画では、「第六次 南種子町長期振興計画（令和 2 年 3 月）」や「南種子町公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）」を基本的な方針とし、従来型と長寿命化型とのコスト比較にて長寿命化型の効果があることから、将来にわたり継続活用する学校施設等を対象に長寿命化を施し延命措置を行うことを計画の基本とします。

しかしながら、長寿命化等には多額の費用を要することが想定されることから、2021 年度から 2023 年度にかけて学校適正化委員会（仮称）を発足し、将来の町内小学校の適正規模・あり方等について、外部委員を入れて協議・検討を行うこととします。

これにより、事業計画期間については、2024 年度から 2033 年度の 10 年間とします。

参考として 10 年間の事業計画を次頁に示しますが、これは、築年数や健全度が低く優先度の高い建物から整備内容を計画し、事業費の平準化を図ったうえで、学校施設等ごとに順次整備を行うこととしたもので、10 年間の総事業費は約 18 億円（年平均：約 1.8 億円）となります。

① 予防保全による維持管理および大規模改造の検討

比較的建築年度が新しく建物の状態が良好な学校施設等については、適切な管理を施し、現状の規模や機能の維持管理を行います。また、築 20 年を迎える際には予防保全を目的とした大規模改造を検討します。

② 長寿命化改修による延命措置の実施

長寿命化改修は築年数が 40 年程度で、今後の継続活用が見込まれる学校施設等について実施します。また、築年数が 40 年程度でも劣化状況調査による評価が A および B 判定の建物については、この 10 年間で適切な維持管理を行い、次期計画で検討することとします。

長寿命化改修は、調査・設計・施工と複数年度にわたって費用がかかることから、工事期間を 2 年間で行うこととします。

③ 部位修繕の実施

健全度が 50 点以上であっても各部位の劣化状況評価に C 判定のある建物については、10 年以内に部位修繕を行います。

■ 南種子町学校施設等 10年間事業計画

改築 長寿命化改修 大規模改修 部分修繕

単位：円

| 通し 番号 | 学校 調査 番号 | 施設名 | 建物名 | 棟番号 | 構造 | 延床 面積 (㎡) | 築年数 | 劣化状況評価 | | | | | | 工事種別 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | 10年目 | 備 考 |
|----------|----------------|--------------------|----------------|------|----|-----------------|-----|--------|-------|-------|-------|--------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|-----------------|
| | | | | | | | | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | | 2030 | 2031 | 2032 | 2033 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | | 令和12年度 | 令和13年度 | 令和14年度 | 令和15年度 | | | | | | | |
| 5 | 1535 | 荃南小学校 | 教室棟・倉庫 | 1 | RC | 256 | 64 | C | C | C | C | D | 36 | 長寿命化改修 | ¥25,497,600 | ¥25,497,600 | | | | | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 22 | 1540 | 花峰小学校 | 教室棟 | 5 | RC | 265 | 58 | C | C | C | C | D | 36 | 長寿命化改修 | ¥26,394,000 | ¥26,394,000 | | | | | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 13 | 1537 | 大川小学校 | 特別教室棟 | 4 | RC | 208 | 55 | C | C | C | C | D | 36 | 長寿命化改修 | ¥20,716,800 | ¥20,716,800 | | | | | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 6 | 1535 | 荃南小学校 | 管理教室棟 | 3 | RC | 509 | 49 | C | C | C | C | D | 36 | 長寿命化改修 | | | ¥50,696,400 | ¥50,696,400 | | | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 7 | 1535 | 荃南小学校 | 特別教室棟 | 7 | RC | 219 | 45 | C | C | C | C | D | 36 | 長寿命化改修 | | | ¥21,812,400 | ¥21,812,400 | | | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 37 | K050 | 南種子町立 学校給食共同調理場 | 給食センター | 1 | RC | 467 | 41 | B | C | C | C | D | 39 | 改築 | ¥145,937,500 | ¥145,937,500 | | | | | | | | | 老朽化 |
| 14 | 1537 | 大川小学校 | 屋内運動場 | 8 | RC | 392 | 40 | C | C | C | C | - | 40 | 長寿命化改修 | | | ¥31,164,000 | ¥31,164,000 | | | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 23 | 1540 | 花峰小学校 | 管理・特別教室棟 | 10 | RC | 300 | 40 | A | C | C | C | D | 41 | 長寿命化改修 | ¥28,137,000 | ¥28,137,000 | | | | | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 16 | 1538 | 島間小学校 | 普通・特別教室棟 | 12 | RC | 668 | 47 | C | B | C | C | D | 46 | 長寿命化改修 | | | | | ¥66,532,800 | ¥66,532,800 | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 19 | 1539 | 平山小学校 | 管理・教室棟 | 4 | RC | 770 | 52 | B | B | C | C | D | 49 | 長寿命化改修 | | | | | | | ¥76,692,000 | ¥76,692,000 | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 20 | 1539 | 平山小学校 | 特別教室棟 | 7 | RC | 200 | 46 | B | B | C | C | D | 49 | 改築 | | | ¥33,200,000 | ¥33,200,000 | | | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 26 | 1541 | 長谷小学校 | 管理・特別教室棟 | 11 | RC | 241 | 40 | B | B | C | C | D | 49 | 長寿命化改修 | | | | | | | ¥24,003,600 | ¥24,003,600 | | | |
| 3 | 1534 | 中平小学校 | 屋内運動場 | 14 | RC | 617 | 46 | A | B | C | C | - | 57 | 長寿命化改修 | | | | | | | | | ¥46,598,925 | ¥46,598,925 | |
| 35 | 4914 | 南種子中学校 | 屋内運動場・屋体クラブハウス | 2 | RC | 1,182 | 26 | C | C | B | B | - | 60 | 部分修繕 | | | | | ¥20,359,950 | | | | | | |
| 27 | 1541 | 長谷小学校 | 屋内運動場 | 14 | RC | 490 | 37 | C | C | B | B | B | 62 | 長寿命化改修 | | | | | | | | | ¥38,955,000 | ¥38,955,000 | |
| 21 | 1539 | 平山小学校 | 屋内運動場 | 10 | RC | 550 | 36 | C | C | B | B | B | 62 | 長寿命化改修 | | | | | ¥43,725,000 | ¥43,725,000 | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 17 | 1538 | 島間小学校 | 屋内運動場 | 17 | RC | 593 | 34 | C | C | B | B | B | 62 | 長寿命化改修 | | | | | ¥47,143,500 | ¥47,143,500 | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 18 | 1538 | 島間小学校 | 普通教室棟 | 23 | RC | 634 | 20 | C | C | B | B | B | 62 | 部分修繕 | | | | | ¥18,101,970 | | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 8 | 1536 | 西野小学校 | 屋内運動場 | 7 | RC | 532 | 43 | A | A | C | C | - | 65 | 長寿命化改修 | | | | | | | | | ¥37,712,150 | ¥37,712,150 | H29屋根、R1外壁…改修済み |
| 24 | 1540 | 花峰小学校 | 屋内運動場 | 11 | RC | 490 | 38 | C | B | B | B | - | 72 | 長寿命化改修 | | | ¥38,955,000 | ¥38,955,000 | | | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 36 | 4914 | 南種子中学校 | 部室・格技場 | 3 | RC | 612 | 26 | C | B | B | B | - | 72 | 部分修繕 | | | | | ¥4,865,400 | | | | | | |
| 33 | 4914 | 南種子中学校 | 旧観測 | 1-4 | RC | 25 | 26 | B | B | B | B | - | 75 | 維持 | | | | | | | | | | | |
| 28 | 1541 | 長谷小学校 | 普通・特別教室棟 | 17 | RC | 673 | 32 | B | B | B | B | B | 75 | 長寿命化改修 | | | | | | | ¥67,030,800 | ¥67,030,800 | | | |
| 25 | 1540 | 花峰小学校 | 特別教室棟 | 15 | RC | 63 | 31 | B | B | B | B | B | 75 | 長寿命化改修 | | | ¥6,274,800 | ¥6,274,800 | | | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 4 | 1534 | 中平小学校 | 特別教室棟 | 27-1 | RC | 196 | 26 | A | B | B | B | B | 77 | 維持 | | | | | | | | | | | |
| 30 | 4914 | 南種子中学校 | 管理棟及び教室棟 | 1-1 | RC | 1,317 | 26 | A | B | B | B | B | 77 | 維持 | | | | | | | | | | | |
| 31 | 4914 | 南種子中学校 | 教室棟 | 1-2 | RC | 1,516 | 26 | A | B | B | B | B | 77 | 維持 | | | | | | | | | | | |
| 34 | 4914 | 南種子中学校 | 校舎クラブハウス | 1-5 | RC | 150 | 26 | A | B | B | B | B | 77 | 維持 | | | | | | | | | | | |
| 15 | 1537 | 大川小学校 | 管理教室棟 | 18 | RC | 544 | 22 | A | B | B | B | B | 77 | 維持 | | | | | | | | | | | 土砂災害危険区域に該当 |
| 32 | 4914 | 南種子中学校 | 特別教室棟 | 1-3 | RC | 1,141 | 26 | A | B | B | B | - | 77 | 維持 | | | | | | | | | | | |
| 29 | 1541 | 長谷小学校 | 特別教室棟 | 21 | RC | 140 | 23 | B | A | B | B | B | 82 | 維持 | | | | | | | | | | | |
| 1 | 1534 | 中平小学校 | 普通教室棟 | 1-1 | W | 2,332 | 9 | A | A | A | A | A | 100 | 維持 | | | | | | | | | | | |
| 2 | 1534 | 中平小学校 | 管理教室棟 | 1-2 | W | 598 | 9 | A | A | A | A | A | 100 | 維持 | | | | | | | | | | | |
| 9 | 1536 | 西野小学校 | 管理棟 | 22-1 | W | 457 | 1 | A | A | A | A | A | 100 | 維持 | | | | | | | | | | | R.1.7 新築 |
| 10 | 1536 | 西野小学校 | ホール棟 | 22-2 | RC | 78 | 1 | A | A | A | A | - | 100 | 維持 | | | | | | | | | | | R.1.7 新築 |
| 11 | 1536 | 西野小学校 | 普通・特別教室棟 | 22-3 | W | 823 | 1 | A | A | A | A | A | 100 | 維持 | | | | | | | | | | | R.1.7 新築 |
| 12 | 1536 | 西野小学校 | 特別教室棟 | 22-4 | RC | 155 | 1 | A | A | A | A | A | 100 | 維持 | | | | | | | | | | | R.1.7 新築 |
| 小計 | | | | | | | | | | | | | ¥246,682,900 | ¥246,682,900 | ¥182,102,600 | ¥182,102,600 | ¥153,585,120 | ¥157,401,300 | ¥147,839,100 | ¥167,726,400 | ¥190,296,875 | ¥123,266,075 | | | |

| |
|----------------|
| 10年間合計 |
| ¥1,797,685,870 |

長寿命化改修費 = 延床面積(㎡)×長寿命化改修単価(円/㎡) - 延床面積(㎡)×劣化状況評価Aの部位単価(円/㎡)

■ 単価設定

※ 条件 築40年以上は長寿命化改修(2ヵ年工事)を設定する。
築20年で大規模改修(1ヵ年工事)を設定する。
部位修繕はC判定を10年以内、D判定を5年以内に修繕を行う。

| 工事種別 | 更新周期 (年) | 校舎 | | 体育館 | | 武道場 | | 給食センター | |
|--------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | | 割合 (%) | 単価 (円) | 割合 (%) | 単価 (円) | 割合 (%) | 単価 (円) | 割合 (%) | 単価 (円) |
| 改築 | 80 | 100.0 | 332,000 | 100.0 | 265,000 | 100.0 | 265,000 | 100.0 | 625,000 |
| 長寿命化改修 | 40 | 60.0 | 199,200 | 60.0 | 159,000 | 60.0 | 159,000 | 60.0 | 375,000 |
| 大規模改修 | 20 | 25.0 | 83,000 | 22.0 | 58,300 | 22.0 | 58,300 | 25.0 | 156,250 |
| 屋根・屋上 | - | 3.5 | 11,620 | 3.0 | 7,950 | 3.0 | 7,950 | 3.5 | 21,875 |
| 外壁 | - | 5.1 | 16,932 | 3.5 | 9,275 | 3.5 | 9,275 | 5.1 | 31,875 |
| 内部仕上 | - | 5.6 | 18,592 | 5.6 | 14,840 | 5.6 | 14,840 | 5.6 | 35,000 |
| 電気設備 | - | 4.0 | 13,280 | 4.8 | 12,720 | 4.8 | 12,720 | 4.0 | 25,000 |
| 機械設備 | - | 3.7 | 12,284 | 1.7 | 4,505 | 1.7 | 4,505 | 3.7 | 23,125 |

※改築単価は市の実績値、割合は文部科学省エクセルソフトの比率を使用

(2) 事業推進のための財源

学校施設の改造、改修、改築を支援するため、国では「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律」等に基づき、公立学校施設の整備に関する補助事業を定め、支援を行っています。学校施設等の整備にあたっては、これらの補助事業を活用しながら必要な対応に取り組んでいきます。

表 5-6：国庫補助関係

| 項目 | 大規模改造事業 | 長寿命化改良事業 | 改築事業 |
|----------|---|--|--|
| 事業内容 | ◇ エコ改修や老朽化に伴う補修など、既存の学校建物を建て替えずに改修（老朽改修、統合改修、トイレ改修、空調改修、障害児対策等） | ◇ 構造体の劣化対策を要する建築後40年以上の建物の耐久性を高めるとともに、現代の社会的要請に応じる改修 | ◇ 構造上危険な状態にある建物、耐震力不足の建物、津波浸水想定区域内の移転又は高層化を要する建物等 |
| 交付金算定割合 | 33.3% | 33.3% | 55.0% |
| 地方財政措置 | 15.0% | 40.0% | 27.0% |
| 実質的な地方負担 | 51.7% | 26.7% | 18.0% |
| 上限額 | 2億円 | なし | なし |
| 下限額 | 7,000万円 (小規模校 1,000万円) | 7,000万円 (小規模校 1,000万円) | なし |
| 補助要件 | ◇ 建築後20年以上の建物の外部及び内部の両方を同時に全体的 [※] に改造する工事 ※建物全体の延べ床面積の約70%以上 | ◇ 構造体の劣化対策を要する建築後40年以上経過した建物 | ◇ 危険建物の改築耐力調査の結果、基準点以下となったもの ◇ 不適格建物の改築Is値がおおむね0.3に満たないもの、又は保有水平耐力に係る指標(q)の値がおおむね0.5に満たないもの |

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）



第6章 長寿命化計画の継続的運営方針

1. 情報基盤の整備と活用

(1) 施設カルテ及び建物目視調査票の作成

本計画を策定するにあたって収集した学校施設等の基礎資料や、屋根・屋上、外壁、内部等の建物目視調査結果を以下のような構成で施設カルテとして作成しています。

表 6-1：施設カルテの構成

【学校施設別】

| | |
|-------|---|
| 図面等 | 施設全景写真、位置図、施設配置図 |
| 施設状況 | 学校種別、所管課、所在地、延床面積、校地面積、避難場所指定、避難場所収容可能人員、施設保有状況、土地保有状況、複合施設区分 |
| 運営情報 | 運営方法、学校規模（規模分類、児童・生徒数、学級数） |
| コスト状況 | 年度別経常経費 （施設整備費、光熱水費、修繕費、委託費、年間コスト） |

【棟別】

| | | |
|------|---|---|
| 基本情報 | 施設名、棟名、調査番号・棟番号、学校種別、建物用途、建築年度・築年数、構造、階数、延床面積、耐震基準、耐震診断、耐震補強 | |
| 設備情報 | 生活環境（トイレのドライ化、木質化）、省エネ化（太陽光発電、屋上緑化）、バリアフリー（エレベーター、多目的トイレ、点字ブロック、手すり、スロープ） | |
| 改善履歴 | 年度、種別、工事名称、費用 | |
| 評価表 | 外部 | 劣化状況（屋根・屋上、外壁）、劣化状況部位写真 |
| | 内部 | 劣化状況（床・壁・天井、内部建具、間仕切等、照明器具、エアコン）、劣化状況部位写真 |
| | 電気・機械 | — |

(2) データベース及び簡易マニュアルの作成

施設カルテの情報は、データベース化してパソコン上で閲覧でき、情報の一元化・共有化・継続化を図れるようにし、職員の誰もが簡単に操作できる簡易マニュアルを作成します。

(3) データベースの活用

管理データベースは、今後の維持管理の効率化や最適化を図るとともに、改築や改修計画等の基礎的データとして、長期にわたり活用していきます。

2. 推進体制等の整備

本計画に基づいて、担当部署と各小中学校・給食センターの関係者とは協力・連携を図りながら、必要な改修等を計画的・効率的・継続的に取り組んでいくことが必要です。さらに、他の公共施設の長寿命化計画との関係や財政の状況、改修の検討に必要な技術的支援など、関係各課と協議・協力しながら推進していくことが重要であるため、学校施設等の長寿命化を実行的に推進するための体制を構築して取り組んでいきます。

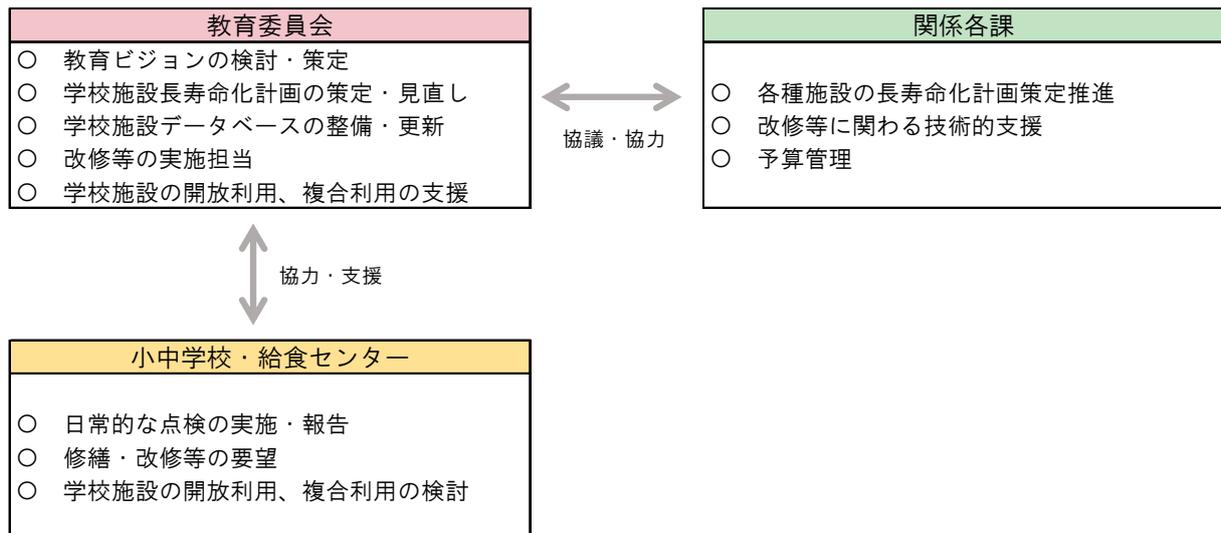


図 6-1：学校施設等長寿命化の推進体制

3. フォローアップ

効率的・効果的な施設整備を進めていくためには、本計画に基づき適切な改修や維持管理を行うだけではなく、常に施設の現状を把握し、問題点を検証・改善するとともに、計画の進捗状況や目標達成状況を正確に把握するという PDCA サイクルを確立し、的確にフォローアップをしていきます。

また、本計画は計画の進捗状況のフォローアップの結果や社会環境の変化等の状況を踏まえ、必要に応じ見直しを行うこととします。

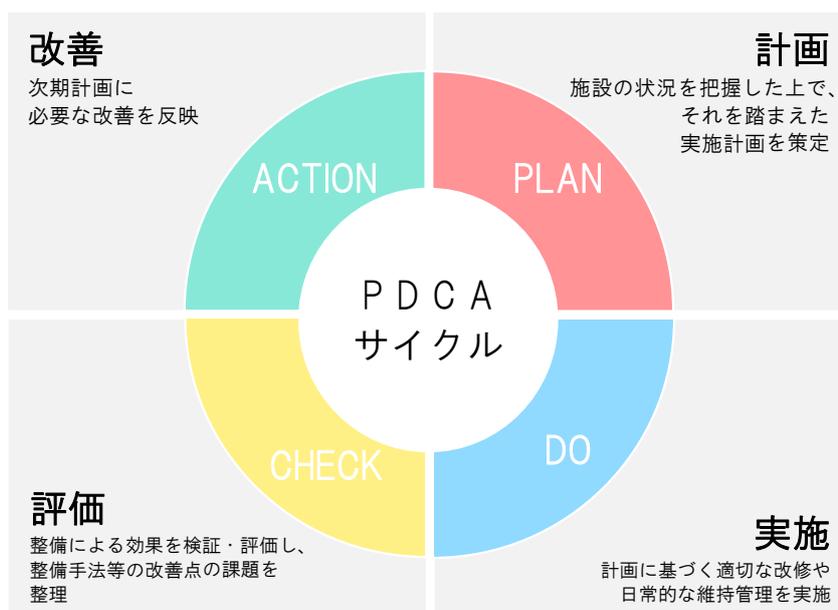


図 6-2 : PDCA サイクルイメージ